

宮陵

NO.66

# Kyuu-Ryuo



## 神大の原点

神奈川県  
発祥の地

●  
横浜市西区  
境之谷公園

神奈川県発祥の地  
神奈川大学

一般社団法人  
神奈川大学宮陵会

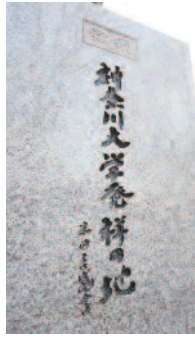
# CONTENTS

- 01 会長あいさつ 一般社団法人神奈川大学宮陵会 会長 大場憲治
- 02 理事長あいさつ 学校法人神奈川大学 理事長 正野幸延
- 03 学長あいさつ 神奈川大学 学長 兼子良夫
- 04 大学ニュース（米田吉盛先生企画展開催）
- 05 神奈川大学宮陵会の変遷
- 06 活躍する卒業生  
Part 1●企業で活躍するOB・OG  
Part 2●行ってみよう! OB・OGの繁盛店
- 18 地域組織の活動報告
- 22 課外活動ニュース
- 26 特別寄稿：準備する力 陸上競技部監督 大後栄治
- 28 神大の歴史
- 30 宮陵会だより
- 35 将来構想と創立100周年に向けた神奈川大学の取り組み
- 36 「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」 寄付者ご芳名
- 40 大学院トライアルコースのご案内 Advertising
- 42 地域組織だより
- 61 平成29年度定時総会の開催について  
事務局よりお願い
- 64 神奈川大学発展の軌跡
- 66 地域組織一覧

## ■ 表紙写真 ■

### 神奈川大学発祥の地

創立者・米田吉盛先生が1928(昭和3)年4月に横浜桜木町に開設した横浜学院は、同年12月西戸部町富士塚に移転、専門学校を設置認可を受けて1929(昭和4)年に神奈川大学の前身である横浜専門学校が誕生しました。富士塚の校舎は翌1930(昭和5)年5月に現在の神奈川区六角橋に移転するまで1年あまりの使用でしたが、この地は現在境之谷公園となり、園内の一角には「神奈川大学発祥の地」記念像が建立されています。遥か海の彼方を指差す青年像のテーマは「雄飛」。横浜を舞台に、世界の懸橋となる有為な人材育成をめざす神奈川大学発祥の地として、後世に語り継がれます。[吉原]



- 33 ●横浜信用金庫
- 43 ●熊本県宮陵会
- 56 ●株式会社ディーエムエス
- 57 ●株式会社千代田
- 58 ●株式会社カレンズ
- 59 ●ベスト資材株式会社
- 60 ●明立工業株式会社
- 63 ●神奈川大学みなどみらいエクステンションセンター
- 69 ●宇久田進治税理士事務所
- 株式会社経営センターグロウ
- 69 ●SKY総合法律事務所
- 裏表紙 ●不二サッシ株式会社
- 裏表紙 ●神奈川大学生生活協同組合

### 横浜専門学校校歌

作詞 土井 晩翠  
作曲 岡野 貞一

一、近代日本の文化の曙光  
初めてまばゆく照し、港  
港に基おく我等の母校  
栄えよ横浜専門学校

二、基は新たな昭和の御代に  
四海の思潮の寄せる時に  
経世実用めあてとなして  
栄えよ横浜専門学校

三、狂と暗とは暫しの悩み  
正義は世界の力の本と  
信じて勉むる健児のやどり  
栄えよ横浜専門学校

四、祖国の誉れと世界の平和  
目指して日に日に希望にみちて  
向上無窮の使命に進む  
栄えよ横浜専門学校

### 神奈川大学校歌

作詞 神保光太郎  
作曲 高田 三朗

一、岩をうち とどろに返す  
真白なる 波のゆくえよ  
あけそめし 日本の未来  
湧きおこる あかつきの歌  
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ  
ひかりはここに  
われら われら 神奈川大学

二、空あおく 涯てなくあおく  
船は航く 遠きわたつみ  
ひとすじの 真理の潮路  
相寄りて今日も究めん  
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ  
ひかりはここに  
われら われら 神奈川大学

三、丘に立ち 祖国を想う  
混沌の 雲のゆきかい  
日に烈し ほのほの決意  
あたらしき 歴史の朝よ  
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ  
ひかりはここに  
われら われら 神奈川大学



# 会長あいさつ

一般社団法人神奈川大学宮陵会 会長 大場憲治

## 会長あいさつ



今年も、キャンパス内の梅が咲き香り漂うこの時期に、多くの卒業生を社会へと送り出し、その卒業生は新たな宮陵会の正会員としてお迎えすることになります。卒業された皆様方の益々のご活躍と、必要とされる人間に成長されることを期待するところです。そして、

桜の開花とともに、夢と希望に満ち溢れた新入生を迎え、キャンパス内は一年で最も賑わいを呈する

季節であります。新入生の皆様方に心からお祝い申し上げます。

新たな会員を迎えて、宮陵会は22万人を超える全国でも有数な同窓会組織となります。

さて、平成28年4月14日・16日に発生した熊本地震から早1年が過ぎようとしております。家屋が崩壊・倒壊などで、自宅での生活が出来なくなった会員がおられました。大きな怪我が無かったこ

とは幸いでした。遅くなりましたが、8月に現地、熊本県宮陵会、大分県宮陵会の皆様方へ、お見舞いに伺い、被災地の惨状の大きさを実感致しました。被災されました皆様方に心よりお見舞い申し上げますとともに、早急の復興をご祈念申し上げます。

お陰様で、宮陵会は前身である横浜専門学校時代の、昭和12年(1937)3月21日の卒業式後に設立総会が開催され「横浜専門学校同窓会」が誕生して以来、戦時下、空襲、戦災、連合軍の接収など、戦後の混乱、新制大学神奈川大学の設立、学園紛争など、幾多の困難な時期があったにもかかわらず歴代の会長はじめ、役員のご私にわたるご努力と会員皆様方のご理解・ご協力によって設立80周年を迎えることになりました。先輩諸氏に厚く感謝申し上げます。

なお、祝賀会を含めた周年事業については、宮陵会館(仮称)完成にからめて実施したいと考えておりますので決まり次第お知らせいたします。また、宮陵会館(仮称)建設については、皆様方に、各地域宮陵会総会や会報を通して、また、いろいろな場でお話ししてお

りますのでご承知のことと思いますが、大学の東門手前の駐輪場として利用されている校地に、今年度着工し、来年夏頃に完成の予定です。会員の皆様方、在学生も含めて利用勝手の良い会館になるよう努めてまいりたいと考えております。

本会の運営については、神奈川大学の維持発展に必要な援助と、本会の目的達成に係わる事項の推進に努めておりますが、特に財政基盤の確立については、冒頭で卒業生が22万人超になると記しましたが、毎年新たに4千人近くの卒業生を正会員として迎えており、長寿・高齢化とともに、会員数は増加の一途をたどり、これに伴う経費も同様に増加してきております。引き続き経費の削減に努めてまいります。引続き増収をはかるための会費納入について会員皆様方のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

今後、長寿・高齢化進行の中、多くの若年会員の皆様方、女性会員の皆様方、準会員である学生の皆様方に、宮陵会活動に参加していただき、特に卒業後の地域宮陵会活動に積極的に参加して、地域

活性化の中心として活躍していただきたいと願っております。どうぞよろしく願い申し上げます。

本会は、地域宮陵会活性化のためにブロック会を設営しており、各地域で毎年盛大に開催されております。新たに27年から、神奈川大学(横浜・湘南ひらつかキャンパス)のお膝元の神奈川県に、会員総数47,000人余が在住する神奈川県ブロック会を開催することが出来ました。また、地域宮陵会として、「埼玉県宮陵会」がこの3月に誕生しました。今後の活躍に期待しています。

さて、平成27年度から始まりました地域宮陵会のホームページ開設支援で、41地域の宮陵会ホームページが新設されましたが、28年度は皆様方にご不便をおかけしていることをお詫び申し上げます。現在、再開すべく対策を講じておりますのでもう少しお待ちいただければ幸いです。

会員皆様方の日頃からのご協力に感謝申し上げますとともに宮陵会発展のために、さらなるご支援をお願い申し上げます。皆様方のご健勝と、公私共々のご活躍をご祈念申し上げます。

## 神奈川大学 近況のご報告

神奈川大学宮陵会のみなさまにおかれましては、お元気にお過ごしのことと存じます。

そして、日頃より本学並びに学生への変らぬご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は、世界同時株安やイギリスのEU離脱、そしてアメリカ大統領選挙におけるトランプ氏の勝利など、予想していなかったことが起き



た一年だったように思います。国内では、熊本地震や東北地方・北海道を襲った台風など、大きな災害の起こった年でもありました。ご当地のご校友、ご親族のみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

一方で、本学学生の活躍による明るいニュースもありました。テレビでご覧になっていた方もいらっしゃるかもしれませんが、プロ野球ドラ

フト会議で硬式野球部の濱口遙大君が横浜DeNAベイスターズから1位指名を受けての入団であり、今後の活躍が期待されます。そして今年の正月2日・3日の箱根駅伝です。皆さんも応援に力がこもったことと

思います。選手達の力走、快走によって、12年振りにシード権を獲得することができました。特に花の2区には各校のエースが走る中、本学の鈴木健吾君が区間賞を取ったことが

良い流れとなり最終順位である5位につながったものと思います。シード権を取れたということは、上位で戦える実力があるということであり、優勝の二文字に向けて更なる努力を期待したいと思います。また鈴木君においては、日本学生ハーフマ

ラン選手権兼ユニバーシアード日本代表選考会において大会新記録で圧勝し、8月の台湾・台北ユニバーシアードの日本代表に内定しています。今後、日本の長距離界において活躍する存在になると信じています。

さて、本学の近況について、ご報告させていただきます。

本学園は、創立80周年を機に策定した「学校法人神奈川大学将来構想」を実現するため、平成22年度から「将来構想第一期中期実行計画」に

基づき推進し、昨年からは次の6か年の計画となる「第二期中期実行計画」がスタートしました。学園の中期目標を「競争力を強化し、社会的ポジショニングを高め、魅力ある学園を構築する。」と定め、大学、附属学校、基盤整備の各部門で各施策を進めています。その中でも最重要課題は「新学部・新キャンパス構想」です。学長のもとで検討している新

学部構想は、日本文化の発信など、グローバル化に対応する学部です。その開設場所について、新学部にふさわしい場所として、「横浜」でブランド力の高いところにその用地を求める予定です。平成40年の創立100周年に向け努めてまいります。

横浜キャンパスマスタープランについては、現在、優先順位を定め推進しています。優先順位のトップとして、新国際寮の建設を進めています。設計は最終案がまとまり、「まちのような学生寮」をコンセプトに、入寮者の半数を留学生とし、交流が生まれる生活空間を目指しております。また、10号館のすべてのフロアを食堂とするプランも進めています。学生にとって食事のみならず憩いの場となるような設計にする予定です。そして、東門のプロムナードには卒業生を含めた校友が交流でき

る(仮称)宮陵会館の設計を進めています。その他、体育館や図書館なども含め、整備計画を進めていきます。

平成29年度入試から、新しい奨学金制度として、地方出身学生に対し、入学後の奨学金を約束する給付型の予約型奨学金制度を設置しました。給付金額は文系学部で年額40万円、理系学部で年額50万円を原則として4年間給付することとしております。

一昨年、私は「神奈川大学を元気にしたい」という思いをもって理事長に就任しました。まず大学が元気でなければ始まらないという思いからです。そしてもうひとつ、「風通しを良くしたい」という思いもありました。宮陵会をはじめ、卒業生有志の会であるフロンティアクラブ、在校生父母の団体である後援会など、みなさまに、動いている神奈川大学をお示ししてきました。今年は、動いてきたことを具体的なかたちにしたいと思っています。

大学を取り巻く環境は一層厳しさを増します。宮陵会の皆様、引き続きご支援、ご協力をいただければ幸いです。

宮陵会の発展と卒業生のみなさまのご健勝を心からお祈り申し上げます。

# 学長あいさつ

神奈川大学 学長 兼子良夫

## ご挨拶



宮陵会の創設80周年おめでとうございます。宮陵会の皆様には、奨学金はじめ本学の様々な運営について、日頃より格別なご高配をいただいております。神奈川大学の教職員を代表して、厚く御礼申し上げます。同時に、宮陵会のみならずのご発展を心より祈念申し上げます。

さて、2017年の正月は、駅伝チームの大活躍により、神大一家としての感動の時間を宮陵会の皆さまとともに共有できたものと思います。選手たちは、強い心で思いを貫く質実剛健、

そして積極進取の神大精神で、最後まで気持ちが入った走りを見せてくれました。選手たちの普段の地道な努力の積み重ねと、箱根の本戦でのまさに正々堂々たる戦いを、心から讃えたいと思います。あらためて、宮陵会の皆様の多大なご支援と関係者のご尽力に心より感謝申し上げます。

このような新年のスタートを心から喜ぶとともに、今年には本学創設以来の大きな節目の年となり得るものであり、本学の希望ある未来に向けて正野理事長はじめ法人側と連携した教学改

革を検討しております。横浜学院として生まれ、横浜とともに育んできた本学の長い伝統と歴史を踏まえたいうえで、100周年とその後の本学を見据えた高等教育機関としての責務を念頭に、人類の生存条件を軽減する先進的な研究・教育拠点とすべく、一定の制約条件下とはいえ、可能な限りの攻勢に出るべくさまざまな改革を進めてまいります。

建学精神に基づく本学の独自性と卓越性をどのように継続的に発展させるかが大切になります。大変難しいことですが、教職員の叡智を結集することのできれば、新しい環境下においても本学の希望ある未来を実現することは可能だと確信しております。

私は、学長就任時の職員向けの挨拶で、本学の「教育は人をつくるにあり」とする教育理念と、その責務を担う本学職員として、「誇りと自負」を持っていたいただきたいと申し述べました。教

信を持って学生生活を過ごすようにと、式辞を締めくくっております。本学の教育は、卓越した研究の叡智に基づく「人類の発展に貢献する人材を育成する」という高い理想と伝統に根ざしたものであるとした共通理解が改めて必要だと感じております。

いずれにしても、本学は、創立者の米田吉盛先生が建学の精神に基づいた「教育は人をつくるにあり」と説いて以来、卓越した研究に基づく「教育重視の方針を堅持して、今日まで有意な人材を輩出し続けてまいりました。今後の教学運営においても、卓越した研究に裏付けされた教育を実践することにより、どこよりも「人をつくる大学」、神奈川大学こそが「人をつくる大学」でありたいと考えております。

さて、本学の入試の現状についてお知らせいたします。2017年度入学試験において、歴代学長が本欄でしばしば話題にしてきた志願者3万人超えを実現することができました。首都圏の競合大学等が、軒並み各学部の新入生定員増を行うなかで実施された変則的な2017年度入試でしたが、関係各位のご尽力をいただきまして、順調に志願者数を確保することができました。これも、本学が、神奈川大学高大連携協議会を創設して高校と双方の様々な事業を展開して90校を超える首都圏高校とのゆるぎない信頼関係を築いていることをはじめとして、入試センターはじめそれぞれの部局の普段からの地道な努力の積み重ねによるものと思われま

次に、本学の研究の現状についても少しご説明いたします。研究業績に対する評価の一つとされる自然科学分野における論文出版数は、一定のデータと比較すると、医学部を持つ大学を除くと、本学は私学数百校の中で第5位です。また、全学で採択された科学研究費補助金も、医学部を持つ大学を除くと私学で第18位です。また、毎年のノーベル賞候補として取り上げられる教員もおられます。本学の研究については、今後、積極的に発信する準備を進めてまいります。

なお、この欄をお借りして宮陵会の皆様に、地元就職に関する学生支援のお願いがございます。国土の均衡ある発展という国策のなかで、決定的に欠如した視点が、ふるさと発展のための人材育成の視点です。この地方人材の育成に、本学が先鞭をつけようと考えております。学内就職事務局の改組に合わせて、宮陵会の皆様のご協力を得て、オール神大で「世界に飛躍するもよし、ふるさとに貢献するもよし」とする、学生の進路選択幅を拡大するように取り組んでいきたいと考えております。ご賛同いただければ幸いです。最後になりますが、建学の精神に基づく「人をつくる」という高尚な使命を担う本学の教職員としての誇りを持ってさまざまな改革を進めてまいります。本学の希望ある未来の実現に向けて教職員一同全力を尽くす所存です。で、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます、挨拶いたします。

# 人との絆、街との絆

## 神奈川大学創立者 米田吉盛先生企画展開催

神奈川大学の歩みは、1928年、29歳の米田吉盛先生が横浜市中区に発足させた横浜学院から始まります。1987年に88歳で永眠されるまで、「人間は生きて世の中に尽くせる限り奉仕を忘れてはならない」の想いから、終生大学のあるべき姿を探求し続け、有為な人材の育成を实践されました。本年は没後30年にあたり、3月には故郷愛媛県内子町の生家跡地の近くに生誕の地の石碑が建立され、また11月には内子町で企画展が開催される予定です。

2017年は、神奈川大学の創立者であり、生誕の地である愛媛県喜多郡内子町の名誉町民でもある米田吉盛先生（1898（明治31）年11月10日生～1987（昭和62）年5月17日没）の没後30年と、内子町東自治センター内にある「さずな公園」設置10周年（2007（平成19）年11月17日設置）の年にあたります。

「さずな公園」は、米田吉盛先生の偉業を末永く記憶にとどめていただくとともに、神奈川大学と内子町との絆を



▲米田家の墓地（吉盛先生のお骨は横浜市の日野公園墓地に納骨）

深める目的で、神奈川大学創立80周年記念事業の一環として、神奈川大学が内子町に寄贈したものです。「さずな」の名前は地元民対象の公募で、当時小学生だった女の子が名づけました。（内子町のHPを参照のこと。）

今から2年前の2015年5月末に、内子町東自治センター館長はじめ町の関係者が神奈川大学を訪問され、「米田先生の生誕の地で米田先生の企画展を行いたい」旨のお申し出がありました。同年11月に（学）神奈川大学の吉井蒼生夫常務理事と大学の職員が内子町へ調査に出掛け、内子町の「米田吉盛先生企画展実行委員会」に参加した際に、神奈川大学も企画展の開催に協力するということが確認されました。

その後、2016年9月初めに東自治センター館長が再度来学されて以降、企画展への動きが具体化し、現時

点での計画では、企画展は2017（平成29）年11月12日（日）から11月19日（日）の間に内子町東自治センター内での開催とし、神奈川大学が企画展示用資料の提供や講演の講師派遣等について協力する予定となっています。

また、写真は、内子町内の論田（ろんでん）地区にある米田家の菩提寺「正覚寺」（論田2-1-97）近隣の丘陵地帯の中腹にある米田先生の生家跡地に隣接する米田家の墓地（米田良吉氏は吉盛先生の実父）です。以前は一带に樹木が繁茂し足を踏み入れることが困難でした。そこで、2017（平成29）年3月、米田先生に関わる記念の年に論田自治会が町おこしの一環の記念事業として、通路の確保や墓石一帯の伐採・整備を行ってくださいました。さらに、墓地の近くに「米田吉盛先生生誕の地」の石碑も建立いただきましたので、校友の皆様も米田先生の企画展をご覧いただく際に、少し足を延ばされてはいかがでしょうか。

なお、内子町の論田地区へは、松山空港（バス15分）～JR松山駅（JR予讃線の特急25分）～内子駅（車20分）～論田地区となっています。

（文責／佐藤）



▲生誕の地石碑

### ■米田吉盛先生プロフィール

- 1898(明治31)年 愛媛県喜多郡満穂村(現・内子町)に生まれる
- 1926(大正15)年 中央大学専門部法学科卒業
- 1928(昭和3)年 横浜学院創立
- 1942(昭和17)年 衆議院議員(愛媛第一区)当選
- 1949(昭和24)年 神奈川大学学長に就任
- 1951(昭和26)年 学校法人神奈川大学理事長に就任
- 1978(昭和53)年 神奈川大学名誉理事長に就任
- 1979(昭和54)年 内子町名誉町民となる
- 1987(昭和62)年 永眠(88歳)



# 神奈川大学宮陵会の変遷

今年3月に設立80周年を迎えた宮陵会の動きを会報・会誌から捉えてみた。

## 【設立と活動停止】

神奈川大学の同窓会は昭和12（1937）年3月21日の卒業式後に設立され、「横浜専門学校同窓会」として誕生した。初代会長には、校長先生の林頼三郎氏が就任している。設立当初は、同窓会の今後の成長と発展が期待されていた。しかし、昭和12年には日中戦争、昭和16年には太平洋戦争に突入。また、昭和16年12月には繰り上げ卒業が始まり、学徒動員で多くの学生、卒業生が戦地に応召され、同窓会活動は中断せざるを得なくなった。

同窓会の活動が再開されたのは、神奈川大学が誕生した昭和24年、「社団法人宮陵会」として5月に設立発起人会が開かれ、11月に文部大臣の認可を受け、正式に再スタートした。「宮陵会報」創刊号が4ページもので発刊されたが、3号（昭和25年3月1日）をもって休刊となった。戦後の日本経済はインフレ風が吹きまくり大混乱しており、同窓会の財政も困窮し、運営が停止してしまっただ。

神奈川大学の第1回卒業生を送り出した昭和27年、学内で勤務している卒業生が中心となり10数年ぶりに同窓会名簿が完成した。翌昭和28年、宮陵会

総会が開催され、その後毎年開催されている。昭和36年には、休刊になっていた「宮陵会報」第4号が復刊し、この名称では6号まで続いたが、昭和44年新たに「同窓会報」として創刊された。

## 【再建・一本化・飛躍・一般社団法人化】

昭和43年大学紛争が突発、同窓会活動は再び停滞した。昭和44年12月「社団法人宮陵会」を存続させつつ、新たに「神奈川大学同窓会」が作られ、再建と強化が推し進められていった。紛争が長期化するなかにおいても、会報は発刊されていた。昭和50年には本部と緊密な連絡をはかるため、初めての全国支部長会議が開催されている。

昭和59年、大学紛争も鎮まり、正常化が進み紛争初期の昭和44年制定の会則を改正、「神奈川大学校友会」が発足した。①同窓会から校友会 ②全卒業生を校友会とする ③年会費を設ける ④理事長から会長制 等を改正し、「神奈川大学校友会」と称した。校友会事業を推進するため、総務、財政、組織、広報、準会員、婦人部、体育振興の7常任委員会と会館委員会の

特別委員会が設置され、ここに同窓会館についての委員会が出来た。

かねてから懸案の「社団法人宮陵会」と「神奈川大学校友会」の一本化について、昭和63年11月に双方の臨時代議員会、臨時総会が開かれ、一本化が承認された。平成元年4月、文部大臣より定款変更が認可され、校友会活動は「社団法人宮陵会」として新たなスタートを切った。初めての総会は5月に新キャンパスの平塚で開催されている。また、会報も「宮陵会報」として発行している。

全国支部長会議はすでに定期的に開催されていたが、平成3年7月、本会の歴史上初めての全国実務担当者会議が開催され、10月の全国支部長会議は横浜キャンパスを離れ、初めての地方開催が大阪市で開催された。翌年の総会は横浜キャンパスを離れ東京都内で開かれている。これら初めてづくしの多い時期であった。

「ホームカミングデー」が平成6年11月に大学が主催、宮陵会が協賛して第1回が開催され、今日まで続いている。平成10年3月には「定款第42条問題」で代議員会・臨時総会が開かれた。代議員会・臨時総会はその後も数年続いた。

会費の改定が平成18年度総会にて審議、承認され、翌平成19年から適用され今日まで来ている。これは、平成13年度から理事会内で財政検討特別委員

会が設置されて検討されてきたもので、昭和59年以来29年ぶりの改定であった。ただし、会員からの会費納入は依然として低調で、卒業生22万人を超え郵送費等の増大ははじめ経費は増加の一途をたどっており、会費納入へのご協力を願うところである。

この総会において定款等検討委員会から「公益法人制度の改革法案成立に伴い、平成20年度からの移行期間5年以内に、公益社団法人または一般社団法人への移行、もしくは解散のいずれとするか検討する」旨の提言があった。

その後、法人格等検討特別委員会を設置、定時総会において「一般社団法人」に移行することが承認され、平成25年4月1日「一般社団法人神奈川大学宮陵会」として登記申請し、現在に至っている。

卒業生悲願の同窓会館は本年夏より建設が始まり、1年後には完成、供用開始は平成31年を予定している。ぜひとも、卒業生にとって使い勝手の良い宮陵会館（仮称）にしていきたい。（文責／春原）

## ●参考資料

神奈川大学五十年小史・神奈川大学校友会報（縮刷版）校友会設立50周年記念出版・校友会五十年小史・宮陵会報（神奈川大学校友会）（縮刷版）宮陵会（神奈川大学校友会）設立60周年記念出版・宮陵会報（縮刷版）宮陵会（神奈川大学校友会）設立70周年記念出版・宮陵会誌No.57～65

# 活躍する卒業生

## Part 1

### 企業で活躍する OB・OG



上海ベスト広告有限公司  
新井田朗子さん



一般社団法人日本定置漁業協会  
阿部 滋さん



イマジン株式会社  
野崎小五郎さん



旅館 黒潮  
塚 健さん



柳沼プレス工業株式会社  
柳沼 裕子さん



東海ランド株式会社  
栗林 由幸さん



株式会社テムザック  
高本 陽一さん



クマムシ研究所  
堀川 大樹さん



漫画家  
岡本 倫さん

## Part 2

### 行ってみよう！ OB・OGの繁盛店



串カツ しろたや  
白田 信幸さん



創作和食四季結び 松永茶寮  
藤井 啓之さん



# 上海ベスト広告有限公司

総経理（社長） 新井田朗子さん

Akiko Araida

## ●経歴

- 昭和48年10月 千葉県八千代市生まれ
- 平成9年 外国語学部中国語学科卒業
- 平成11年 (株)三景を経て(株)JALビジネス入社後JAL大連支店に赴任
- 平成16年 JAL杭州支店開設、営業マネージャーに昇格
- 平成23年 上海ベスト広告有限公司を設立し独立、総経理(社長)に就任

## ●会社紹介

広告・宣伝業務だけでなく日中ビジネス20年のキャリアを生かしたコンサルティングやマーケティングを行う会社です。資本金100万円(約1600万円)、平成28年東京に子会社を設立。



## ●起業までの道のり

私は高校時代から海外で仕事をすることに憧れていました。大学2年の時、初めて訪れた活気あふれる中国の魅力に取りつかれ、中国で仕事をしたいと思うようになりました。卒業後は日本で服飾専門商社に就職し中国赴任の機会を伺っていましたが、機会は一向にもらえそうにないため、満を持して転職しました。日本航空では様々な訓練を受け中国の大連に赴任後、空港に勤務しました。中国で日本のサービスを徹底させることは非常に難しく、想像以上に文化の違いが弊害となり仕事は厳しく辛いものでした。それでも3年目には、中国民航局に製作協力した日本語のアナウンスが中国各空港で採用され、またお客様から多くの感謝状が本社に届くようになり成果が形になり始めた頃、それらが社内でも評価されJALグループの中からその年の「サービスの達人」に選ばれ、社長褒賞を受けました。米国の9・11事件から航空会社の情勢が変化し、中国の高度経済成長が追い風となって仕事は忙しくなりました。入社して5年目、希望していた支店開設のメンバーに選ばれ杭州へ赴任し、全てがゼロからの立上げで非常にやりがいのあるものでし

た。その頃中国の主要都市で日本の観光ビザが取得できるようになり、日中の訪日観光プロジェクトに多く関わるようになりました。同時に航空会社では自分のキャリアが限られていることで悩み始め、中国と日本をつなぐ仕事での起業を目指し、結婚を機にデザイナーの勉強を始めました。ある日本企業の社長に自分でデザインした名刺を見せたところ大いに気に入られ、会社のロゴや名刺等デザイン一式を制作するチャンスを得られました。続いてグループ全体の仕事の依頼を受け、本社のコンペに採用されたことが大きな自信となり、独立する決意をしました。

## ●会社設立後

組織的に仕事を取っていく必要性を感じ法人化しました。ところがそれまでとは違って情熱だけでは解決できず、経営の難しさに直面しました。多くの失敗と挫折を繰り返しましたが、仕事のやり方や考え方を変え、一時は従業員も3名まで減らし少数精鋭で効率化を図りました。現在5年目に突入したところですが、昨年から中国EC事業なども始め、やっと会社が軌道に乗りはじめました。新たな挑戦は始まったばかりですが、中国市場に向け仕事の範囲を拡大しています。これまで何度も仕事上で転機を経験してきましたが、その都度自分からアクションを起こし、幸いにもチャンスを得た方に巡り合い助けていただきました。ピッチはチャンス！これからも、上海・東京を拠点に活動の範囲を広げ、企業

人として、また日本人として、チャレンジし続けていきたいと思っています。

## ●学生へのアドバイス

ここ数年、就職は非常に恵まれた環境になりました。超氷河期時代の私たちが、この10年で世界状況も大きく変わりました。国や組織のボーダーラインはなくなり世界は透明でフラットです。例えば日本でよい就職をしたとしても、そこは決してゴールではなく、自分がその与えられたステージでどのような戦い方ができるのか、何を自分の武器にしたら世界に出て行けるのかな、今は自分自身の力で切り拓いて行けなければ勝者にはなれません。近年、ものすごい勢いでグローバル化が進み、アジアの国々が力をつけている現実を、学生のうちにぜひ自分の目で見ていただきたい。そこで感じたことが社会に出て必ず生きるはずで

## ●若い卒業生へのアドバイス

職場での人間関係に悩んだり、理不尽に思うことも沢山あるのですが、会社や上司が個人を守ってくれる時代ではありません。仮に自分に自信が持てない時でも「やれるか、やれないか」ではなく、自分はこの仕事「やりたいのか、やりたくないのか」と悩む時こそ、自分の気持ちに素直になりシンプルに決めて良いと思うのです。好きなことを追求している人は輝いていますが、輝いている人を世の中は放っておきません。

(取材・文責／内藤)

一般社団法人日本定置漁業協会 会長  
紋別漁業協同組合 代表理事 組合長

阿部 滋さん

Shigeru Abe

●経歴

- 昭和13年4月 北海道紋別市生まれ
- 昭和36年 経済学部経済学科卒業
- 昭和36年 父親から引継いだ漁師をしながら  
二・定置漁の協同事業化、紋別漁業協同組合冷凍加工部門の工場立上げ・運営支援、大手水産会社と組んだホタテ事業の拡大等で指導的な役割を果たす
- 平成12年 紋別漁業協同組合長就任
- 平成16年 (一社) 日本定置漁業協会会長理事、紋別冷凍事業協会会長就任
- 平成22年 北海道ほたて漁業振興協会会長就任



そのほか漁業に関連する多くの組織の会長、理事、委員等を兼務

●赤字続きの漁業を変える

親から10t未満の船1隻と7魚種の漁業権を引継ぎましたが、1隻で7つの漁業をするのは効率が悪く、定置網・ホタテ・カニの漁業権だけ残して、後は漁業組合の指示通り他の組合員に権利を譲りました。経営は赤字続きでしたが、親から引継いだものを簡単に投げ出すことはできないという思いで、どうしたら黒字経営ができるのかを考えていました。その当時、ホタテ漁は組合員が協同で経営し、うまくいっていましたが、漁獲量が減って減船をせざるを得なくなった毛ガニ漁を皆でまとまってやろうということになりました。これが定置網漁の協同経営を始める原点になりました。漁業者は個性がありなかなかまとまりません。規模に関係なく全員が独立した親方なので、一つの団体にまとめるのは大変でした。私も定置網漁の団体をまとめる時の一員でしたが、先輩の後に続いて勉強させてもらいました。組織がまだ不安定な時期に7代目の組合長を引き受けてやってこられたのは、良い先輩や仲間を支えられ、恵まれてい

たからだと思います。紋別は早い時期に定置網漁の協同経営を始めたため、魚の価格低迷時にはサケの輸出に目を向けて北海道の輸出商材に育てたり、ホタテの玉冷(ホタテ貝の貝柱の部分だけを冷凍加工したもの)の加工工場を建設し、大手水産会社のマルハニチロと組んで事業を進めたりすることができました。ホタテは今でも日本一の出荷量を誇っています。工場は紋別漁業協同組合の直営で約250名のパートを雇っており、地域の雇用も担っています。今では、協同事業の利益を配当金として組合員に還元していますので、生活は安定してきています。

●学生時代に培われたもの

大学時代は4年間大学自治会で活動しました。入ったきっかけは、1年生の時、なかなか決まらないのでなんとなく手を挙げてしまいました。3年生の時副委員長になり、4年生でも執行委員として残りました。大学自治会では、大学が集めた課外活動費を各クラブに配分していました(現在は学生課)。各クラブにお金を配分し管理する権限を持っていましたので、各クラブを掌握していました。当時は昭和35年安保闘争の真っ盛りで、各大学が次々に全学連に加入している時代でしたが、学生から突き上げられたりしたり、学生から突き上げられたりしましたが、大学の学生部と連携しながら、体育系のクラブを使ってデモに参加しないよう頼んで回ったりしまし

た。結局、私がいる時にはデモに参加しませんでした。大学4年間で人との付き合い方や交渉術を勉強したように思います。私は昭和36年に卒業しましたが、その後すぐに神大の学生自治会は全学連に加入し、課外活動費は学生運動に利用されてしまいました。ご存じのように神大は学生運動の拠点になってしまい、卒業の次の年に大学を訪ねた時には、学生自治会室に入ることできませんでした。

●私の生き方

「人にはうそは言わない。約束は守る。」を基本にして生きてきました。私は、仲間の話を聞く機会を増やすために飲めない酒を飲むように訓練したりして仲間の話を聞きながら「これは良いアイデアだな。」「これはやってみよう。」ということを決めてきました。自分で考えるより仲間が考えたもので、良いと思うものを実行に移していくということが得意のようです。仲間内で約束したことで何十年もできていないことがあります。今でも気にかかっています。また、私はどちらかというとしん物好きなのでどんどんやりたいのですが、ただ恐ろしい。自分一人ではできません。ですから誰かを巻き込んでやってきました。丁度適任者がいたり、仲間の応援等もあり、うまく時流にも乗って良い結果が出ただけだと思います。ともかく運が良かっただけだと思います。 (取材・文責/内藤)

## イマジン株式会社

## 代表取締役社長 野崎小五郎さん

Kogoro Nozaki

## ●経歴

- 昭和55年11月 青森県弘前市生まれ
- 平成14年3月 経営学部国際経営学科卒業

- 平成21年5月 イマジン(株)入社
- 平成28年10月 イマジン(株)代表取締役社長就任

## ●会社の紹介と会社を引継ぐ覚悟

函館市、青森県全域、大館市、東京（事務所）、沖縄（事務所）でホテルと不動産事業を行っています。創業は1971年（昭和46年）。創業者は父の野崎嵩で、グループ総売上高は90億円 of 会社です。会社を若くして受け継ぐには、大変な覚悟が必要でした。企業の社会的責任を果たす使命や3000名を超える従業員の幸せを担う大きな



責任を伴う訳ですので、その覚悟は並大抵のものではありませんし、大きなプレッシャーを感じました。しかし、今まで会社を支えてくれた従業員に恩返しをしたい、という一念から会社を引き継ぎました。

## ●生きていくうえでのモットー

## 「本質 努力 行動」

物事は本質から考えるようにしています。そして毎日床に就いてから、今日一日できる限りの努力をしたかを考えるようにしています。本質から考え、努力して身に付けた知恵を行動に移す。そして何か形になるものを作り上げる、をモットーにしています。せっかく身に付けた知恵も形にしなければ無駄になります。ともかく「周知の物とするまでは、ひたすら前へ進む。」を、経営と生きる指針にして日々努力しています。

## ●大学時代の思い出

大学時代は親元から離れて、初めて一人暮らしをしました。思い出すのは、秦野に住んでいたころよく通ったおばあちゃんのコロッケ屋さんです。おたまですくったロードを溶かしてじ

つくり揚げるアツアツのコロッケ。1個60円だったと思います。コロッケができる時間になるといい匂いが店頭に広がり、みんな列をつくってコロッケができるのを待っていました。いつも2つ買うと、おばあちゃんが油を通さない紙に包み、輪ゴムで巻いてコロッケを小さなビニール袋の中に入れてくれました。家まで歩いて10分位でしたが、ビニール袋から手に、温かさと心の温もりが伝わってきました。コロッケは、一人暮らしのささやかなぜいたくでした。また、平塚キャンパスのり弁当とフライドポテトも懐かしい思い出です。学生からの評判が良く売っていましたので、いつも作り立てでした。のり弁当は、温かいご飯の上に揚げたての自身魚とちくわのフライ。旨味のきいた揚げ油が海苔にしみこんでいき、醤油をかけると音がしそうなくらい熱いものでした。フライドポテトはカップ一杯に入っていて、長さも揃いでした。晴れた日に友人たちと外で食べたあの時のことを思い出すと、友人たちの笑い声や足音が今も耳に残っています。今はマクドナルドになっていると聞いていますので、時代の流れを感じます。あの弁当を食べられなれと思うと残念ですが、学生時代の楽しい思い出として心の奥にしまっておきたいと思っています。

## ●若い卒業生や学生へのメッセージ

JJルソーの言葉ですが、「私たちは2度生まれる。1度目は存在するために。2度目は生きるために」。生きていくために私たちは日々努力しています。知恵・勇気・節制・正義を抱き、強く生きてください。誠実でない方法で得たものは真の利益になりません。私たちが胸を張って永く生きていくためには、知恵を求め、勇気を持ち、節度を保ち、正義をかがけて行動しなければなりません。報酬は良いことをした代償として与えられるものだと感じる事が大切だと思います。

大学は社会人になるための準備期間です。この貴重な期間に旅をすることをお勧めします。旅は目的地へ到達することだけではなく、その過程で起こる様々なできごととも旅だと思えます。神奈川大学で大いに学び楽しみ、良き社会人のスタートを切ってもらいたいと願っています。

## ●母校と宮陵会に望むこと

私は神奈川大学へ入学して学び、卒業したことを誇りに思っています。同じような思いを抱く学生が一人でも多くなればと切に願っています。大学も宮陵会も様々な学生の望みを叶えるよう、ソフト・ハードの両面をさらに整えてもらいたいと思います。

(取材・文責/永田)

# 旅館 黒潮 (有限会社旅館黒潮)

## 代表取締役 堺 健さん

Masaru Sakai

### ●経歴

- 昭和25年7月14日生まれ  
宮城県気仙沼市大島出身
- 昭和48年  
経済学部経済学科卒業
- 昭和48年  
(株)ビジネスコンサルタント入社
- 昭和52年  
旅館黒潮の経営を父より継ぐ

平成11年から東京海洋大学や宮城大  
学、世界的力キ学者などと「おいし  
い力づくり」を研究。環境コミュ  
ニティ・ビジネスの6次産業化に取  
り組む

平成24年から東北福祉大学非常勤講  
師

「地域活性化マネジメント論」を  
担当

### ●会社の紹介と学生時代

旅館黒潮は、父が昭和49年に創業。



昭和の離島ブームを背景に宿泊数は順  
調に拡大しました。東日本大震災後  
は、復興ボランティアを支える「ボラ  
ンツリズム」活動や滞在型観光を推  
進しています。

私は大島で育ちましたので、港町に  
憧れがあり、学費が安い神奈川大学を  
選びました。当時は、豊かではありま  
せんが向学心旺盛な地方出身者が沢山  
いました。私も姉と妹と3人で東京に  
住んでいました。

大学では鈴木芳徳先生のゼミに入  
り、銀行論を学びました。先生は金融  
の知識だけではなく、人の生き方につ  
いても説かれましたので、しっかり私  
の生き方に組み込まれております。ご  
恩は一生忘れることはありません。

### ●就職そして旅館業へ

卒業後(株)ビジネスコンサルタント  
という、企業の人材育成とソフトウエ  
アー開発の会社に就職しました。上司  
に恵まれ朝7時30分から早朝学習で鍛  
えてもらいました。第二の恩人です。  
今私があるのは、鈴木先生とこの上司  
のおかげです。最初の勤務地は大阪で  
1年半、その後は広島でしたが、2年  
半後に父親が亡くなり、26歳で旅館を  
継ぎました。当時は離島ブームと社員  
旅行等の団体旅行が盛んで、今よりず  
っと宿泊者が多かった時代でした。平

成になってから個人旅行になりました  
ので、最盛期は大島で旅館・民宿が60  
軒ほどあったのが、今稼働しているの  
は精々12〜13軒になってしまいました  
た。

### ●東日本大震災で復興作業を担う

2011年3月11日大地震が起こ  
り、幸い旅館黒潮は海から離れた高い  
ところにありますので、津波の被害か  
らは免れました。3月末だったでしょ  
うか、神奈川大学日本常民文化研究所  
の佐野所長(当時)から連絡があり、  
昔調査でお世話になった方々をお見舞  
いしたいとのことでした。当時はまだ  
ガレキが残っていて、どこが道路か分  
からない状態で道案内が必要でしたか  
ら、その役を私が引き受けました。そ  
の初めて常民研が神大にあるのが分  
かり、母校の変貌と発展に驚きまし  
た。神大の皆様が大島に来られた折  
に、大島漁業協同組合時代に勤務して  
いた水上忠夫さんや郷土史家の千葉勝  
衛先生(元小学校教員)から、津波で  
被害を被ってしまった漁協の資料を救  
済してもらいたい、と常民研に依頼が  
あり、資料の救出プロジェクトが始ま  
りました。

2011年5月13日から31日までの  
間、常民研所員・職員、歴史民俗資料  
学研究科院生が入替わり立ち替わり  
6班集体で救出作業を行い、関係者の  
宿泊は全て当館が引き受けました。

後に資料の保管庫が必要になり、重  
村力教授からどうしようかと相談され  
ましたので、三井物産に環境助成制度  
があることをお伝えしたところ、さす

がに重村教授、すぐに申請され、採択  
されました。そして昨年、書庫が完成  
しました。

震災前に決まっていたトヨタ財団の  
2か年の助成事業は、財団と話し合  
い、「食とエネルギーの半自給化」と  
いうプロジェクトに変更されました。

この事業で20年間放置された休耕地を  
「みんなの畑」として開墾・再生しま  
したが、ボランティアを一番やってい  
ただいたのは、常民研の皆様でした。

平成25年、田上繁現所長のご協力で、  
復興に役立つ地域の歴史「はやわかり  
気仙沼・大島漁村誌」を刊行しまし  
た。そして本年4月には「減災教育の  
教科書」地域再生の歴史学」を刊行し  
ます。常民研の皆様には心から感謝し  
ております。

### ●学生へのメッセージ

震災後、なぜか大学関係者が多く泊  
まられるようになりました。慶應大  
学、東北大学、神戸大学、関西学院大  
学、そして今年も立教大学や大東文化  
大学などです。私は大学でも講義をし  
ていますが、宿泊した学生にも、人か  
ら信頼され、世間で通用する人材にな  
るにはどうするか、をよく話します。

「学生のうちからボランティアに参加  
して人とのつながりを体験すること。  
地域、現場で汗や知恵を出すことで、  
授業だけでは学べない、世間と自分の  
関係が分かるのではないか」と。最近  
学生との合言葉は「人生は旅だ！冒険  
だ！チャレンジだ！」です。皆様の活  
躍を祈念しております。

(取材・文責／越智)

# 柳沼プレス工業株式会社 代表取締役社長 柳沼 裕子さん

Yuko Yaginuma

## ●経歴

- 昭和46年10月14日生まれ  
福島県二本松市出身
- 平成2年3月  
経営学部国際経営学科卒業

- 平成2年  
加藤発条株(現…株)パイオラックス)入社
- 平成4年  
柳沼プレス工業株)入社
- 平成18年  
柳沼プレス工業株)常務取締役就任
- 平成22年〜現在  
柳沼プレス工業株)代表取締役社長

## ●会社の紹介

自動車、産業機器部品などの金属プレスの金型設計製作から量産加工、表面処理までを、グループ会社一貫生産で行っています。特に金属塑性加工の絞り技術、メッキやカチオン電着塗装を得意としており、事業は祖父が昭和21年に個人創業し、私で3代目となり



ます。現在はリーマンショック、東日本大震災を経て、中小企業ながら光り輝くオンリーワン企業を目指し、日々技術向上に取り組んでいます。

## ●大学時代から今まで

実家が金属プレスをしており、私は、女のみ姉妹の長女で、小さなころから跡取りだと言われて育ちました。大学を選ぶころには、自分の意思でこの道歩きたいと思うようになり、ちょうど日本の海外進出がさかんな時期でもあったため、外国語学部も考えましたが、神大の経営学部に決めました。それは、将来のために、自由な校風の中で伸び伸びと経営を学びたいという強い意思があったからです。

当時、海外語学研修でアメリカのノースダコタ州で夏季休暇約2週間ホームステイをしたこと、大学で英語を勉強したこと、平塚キャンパスのゴルフサークルで、今では考えられない鉄の塊のように重いクラブを全部自分で背負いながら過酷なコースで練習をしたこと、そして軽音サークルでは女子5人でバンドを組み、夜、泣きながら、指先が切れそうになるまでギターの練習をして学園祭や横浜でライブをしたこと、アルバイトでは塾で英語を教えたり、読売新聞社で高校野球夏の神奈川県大会のスコア付けをしたことな

ど、学業以外にも色々なことに挑戦しました。失敗も多くありましたが、最後には学部の仲間と平塚の海を見ながら、いつも笑っていたことが人生最高の思い出です。

卒業後の進路は自動車部品業の中小企業と決めていました。成長中の素晴らしい会社に入ることができ、社会人としての基礎や株式公開準備などを、業務を通して多くの方々から学びました。

ある日、あまりにも充実した生活を送っていたため、このまま帰ってこないのではないかと心配した両親から、そろそろ結婚して福島に戻るよう、通達が来しました。そこで、神大の同級生と結婚して帰省、現在の事業に携わることになり、総務、営業、製造と各部門で、一担当者から責任者となるまで、勉強と経験を積んでいきました。

しかし、出会ってから18年後に突然離婚を言い渡され、絆とは何なのか、紙一枚でつながったり消えたり、信じていたものがいとも簡単にこわれてしまう無情、はかなさを知りました。3人のまだ幼い子供を抱え、強烈な孤独と不安の中、家族や友人、会社の仲間達など、多くの方々を支えられて、女性経営者、シングルマザーとして事業と家庭を守り生きてきました。現在進行形ではありませんが、これからもまわりの方々への感謝を忘れず、さまざま課題に真つすぐに向き合っって乗り越えていきたいです。

## ●モットーは

「人は乗り越えられない課題はな

い、乗り越えられるから今の課題がある」で幾多の困難を精神力で乗り越えてきました。またダーウィンの進化論「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残るのは、変化する環境に適応できる者である」を信念に、常に、固定観念にとらわれず、新しい時代に適応するための変革に果敢に挑戦することを事業運営のモットーとしています。

## ●後輩たちへ

神奈川大学は産業界の最前線で活躍されている先輩方が多くいらっしゃいます。ビジネスで知り合ったある会社の社長とも、実は、神大の大先輩と後輩ということが分かった途端、意気投合。男女年齢を問わず、事業や海外展開などの相談事も快く聞いていただけると素晴らしい絆が生まれました。世界経済も先が見えず不安な時代ではありますが、社会の最前線で思いきり活躍されることを期待しています。

私は国際経営学科の2期生でした。実際に社会へ出ると、非常に優秀な先生方に教えていただいた学生時代、講義をきちんと聞いていれば…あの資格を取っていれば…と、とても悔やまれます。学生のうちにしか出来ないゼミ活動や学友との絆を深め、失敗を恐れずさまざまなことに挑戦してください。学生時代の苦楽の経験は社会の荒波にもまれた時、必ずあなたの心の支えとなり、立ち上がるための力になってくれます。応援しています。

(取材・文責/鈴木)

# 東海ランド株式会社 代表取締役社長 栗林 由幸さん

Yoshiyuki Kuribayashi

## ●経歴

- 昭和38年5月 愛知県名古屋生まれ
- 昭和62年3月 経済学部経済学科卒業
- 昭和62年4月 (株)船場に入社
- 平成9年 東海ランド(株)に入社
- 平成16年6月 東海ランド(株)社長に就任

## ●会社紹介

昭和46年百貨店の屋上遊園地の遊具メンテナンス・運営を行う会社としてスタートし、現在は商業施設の室内遊園地を核としたファミリーアミューズメントを主業態として27店舗を運営。本社は三重県鈴鹿市。東京と大阪に事務所を設置。従業員411名・売上高30億369万円(平成28年5月期)子会社2社



## ●なぜ商業施設の内装会社に就職したのか

私は大学時代の3年間高級ステーキ店でアルバイトをしていました。ここは裕福なお客様が沢山いらつしやいましたが、真の富裕層は謙虚で、身近で人格者のありようを勉強させてもらいました。そして、ハード面で雰囲気の良い飲食店を作りたいと思うようになりました。神大の図書館で商店建築という雑誌を見ているときに、商業施設の内装を専門にやっている会社があることを知り、就職しました。ゼミの間は銀行や公務員、証券会社に就職しましたので、私のような内装屋は異端児でした。

## ●内装屋で育てられた

(株)船場は商業施設の企画・設計・監理・施工を行っている大手の会社で、就職して2年間は現場で監理や施工の仕事を黙々とやっていました。就職した時期がバブル期の少し前でしたので毎日ものすごい勢いで店舗を作っており、早朝勤務・深夜勤務と体力的にはきつい仕事でしたが、楽しくてあまり苦になりませんでした。3年目に入った頃仕事のうで急に視界が開けてきて、このような考え方や企画が出るな、と思い付くようになりました。その後DCブランドの専門店やシ

ョッピングセンターの企画営業、横浜のランドマークタワーの商業地区の取りまとめなど大変難しくて厳しい仕事をさせてもらい、多くのことを吸収しました。当初は父と叔父が作った東海ランド(株)を継ぐつもりはありませんでした。周りから強力な懐柔工作を受けて、商業施設を作っていく業界にまだまだ未練はありましたが、10年間お世話になった(株)船場を退職することにしました。

## ●仕事をを行ううえでのモットー

「うそをつかない。決めたらすぐやる」ということを徹底しています。当社は関東・東海・関西の3ブロックに分けて店舗を展開していますので、月・金の週2回インターネット回線を使ったウェブ会議をしています。使い始めて5年ほど経ち、運営方針の徹底や迅速に店舗責任者と情報を共有し、お客様のニーズを的確に捉えられるようになりました。また、会議は30分と決めていきますので、会議での集中力が上がりました。

もう一つ、「失敗を恐れずにチャレンジする」ことにしています。私はアミューズメントの業界人ではないので一切縛りがなく、いろいろな挑戦して多くの失敗も体験してきました。「やらない恐怖より、やった恐怖の方がまだまし」と考えていますので、何でも挑戦してみることにしています。ただし、ダメならすぐ手を引くことにしています。数々の失敗を経験してきたおかげで、例えば、同業のM&Aを行い2年目から黒字化させたり、段ボール

を使った遊具を企画からタッチして導入し、今では経営の安定に貢献している等、大きな成功に結びついています。現在、コンピューターを使ったイーラーニング学習塾事業にも挑戦しています。

## ●若い卒業生へのアドバイス

30代までに会社で付加価値の高い仕事を体験し身に付けていないと、後の人生で非常に苦しい立場に追い込まれるのではないかと考えています。とにかくAIやロボテックスがものすごい勢いで進歩しており、10年もすれば定常的な業務の過半がロボットやコンピューターに置き換わってしまいます。

今、ブラック企業の酷い勤務実態が報道され、社会の風潮がライフ重視に流れています。30代までに人間にしかできない付加価値の高い仕事を体験するか、そのような環境に自ら飛び込んで自分を追い込んでいくような、良い意味での就業環境にしないと、将来そのつげが来るのではないかと心配しています。社員には、企画・おもてなし・コーチング等、人間にしかできないことを今から磨いておくように話しています。

## ●学生へのアドバイス

まず自分から出かけて行っている経験をしてほしい。バーチャルで見ても仕方がないので、リアルな現場を見てそこで頑張っている人と話をして、いろいろな感じてほしいと思います。長い期間出かけられるのは学生時代だけです。

(取材・文責/内藤)

# 株式会社テムザック 代表取締役CEO 高本 陽一さん

Yo-ichi Takamoto

## ●経歴

- 昭和31年2月  
福岡県北九州市生まれ
- 昭和53年  
法学部法律学科卒業
- 昭和53年  
相母が創業した高本商會に入社、  
3代目社長に就任
- 平成12年  
新たに出資者を募って(株)テムザックを創立、社長に就任(現任)

## ●会社の紹介

福岡県宗像市に本社を構える日本で唯一の民生用ロボットメーカー。実際の生活に使われるロボットを専門に手掛ける企業は、世界でも数社しかない。「人に役立つロボットを作る」を会社の設立趣旨とし、開発・製造・販売を行っている。多くの企業・大学・各種団体等と産学官共同開発を行っている。



## 陽一さん

いる。資本金11億円、従業員20名

## ●AI(人工知能)とロボット

囲碁の世界でコンピュータがプロ棋士に勝ったと話題になりましたが、実際は、コンピュータにインプットされたAIが人間を打ち負かしたということ。AIはものすごい勢いで高度化しており、例えば、囲碁の次の一手を少し前なら過去のデータを1億回パターンマッチングしていたところが、100回ぐらいで傾向が分かるというようなレベルに達しています。AIはまるで人間と同じように考えているように感じますが、実は何も考えていないのです。このAIをどんどん使えば、あたかも考えているように反応するロボットや感情みたいなパターンを入れたロボットが作れるわけです。今、世の中に出回っているロボットは、このようなロボットですので、人間のコントロール下にあるといえます。人間が言ったことをベストな方法でやるという、例えば囲碁や将棋のようにルールがある世界では、大いに役立つロボットが近い将来必ず出てくると思います。

## ●ロボットの脅威

人間のコントロール下にあるロボットだけなら良いのですが、一部では

「自我」を持つロボットが開発されています。すでに、鏡に映った自分を理解するまでのレベルに達しています。米国ではこの研究がどんどん進んでいます。当社でも人や動物の真似をするのではなく、人ができないことをする、人に役立つロボットを目指して大学等と共同研究・開発を行っています。

## ●ロボットとの出会いと新会社設立

神大を卒業して入った会社では、大手水産会社のトロール船内のコンベアラインの製造を手掛けたのがきっかけで、陸上の冷凍食品のライン制御も含めた製造ラインを作るようになり、AGV(無人搬送車)程度は製造できる会社になりました。順調に利益が出せるようになったため、北九州市の門司に新社屋を建て、その受付ホールの床に磁気テープを引いてAGVに頭と手を付けたような接客ロボットを作りました。このロボットが非常に評判になり、福岡県のバックアップや出資者の応援で新しい会社を設立しました。設立した翌年に遠隔操作ロボットIV号機を、買い手のロボット技術と引き換えに原価の500万円(当時の価値で2000万円)で売り出し、1週間で製造した15台を売り切りました。おかげでその当時のロボットの最高技術と仲間(人脈)を手に入れることができました。現在、日本のロボットのレベルは、日本の生産技術が秀でていることもあり、プログラムで動かすのであればピカイチだと思います。

## ●神大は丁度良い

神大はプライドがないのが良いと思います。仕事柄有名大学の人達と仕事をやる機会がありますが、卒業大学のプライドが邪魔して伸びない方がいます。自分の知識に左右されて新しいことを受け入れなかったり、自分の論文を書くことだけで本来の目的が分からなくなったり、自分の名誉と地位を守るだけの人がいます。その点、神大は拘束されなくて良いし、神大だからこうしなければいけないということもありません。まったくのフリーなので。神大生は、入学した時が決して人生のピークではありませんので、後は上がるしかないと思います。当社では、固定概念に囚われず明るくて楽しいリーダーになれる人材を募集しています。このような人材になるには、学生時代や若い時に冒険と人が認めてくれるような体験をし、本当のワクワク感を体験することだと思います。今は漫画やゲームのようなバーチャルな冒険物で満足している若者が多いようですが、実体験をしないとダメです。

## ●私の生き方

母親が下関出身ということから高杉晋作のファンで、辞世「おもしろきこともなき世をおもしろく」を子供の時から聞かされて育ちました。どうせ一回しかない人生です。この面白くない世の中でどれだけ面白く生きられるか、をとことん追求していきたいと思っています。

(取材・文責/内藤)

# クマムシ研究所 堀川 大樹さん

Daiki Horikawa

## ●経歴

- 昭和53年 東京都出身
- 平成14年 理学部応用生物科学科卒業
- 平成19年 北海道大学大学院 地球環境科学研究科 博士課程修了
- 平成20年 東京大学大学院 理学系研究科 客員共同研究員
- 平成22年 NASAエイムズ研究所 NASA 博士研究員フェロー
- 平成23年 パリ第五大学/AxA研究財団 博士研究員フェロー
- 平成27年 慶應義塾大学 先端生命科学研究所 上席所員



## ●現在

慶應義塾大学 先端生命科学研究所 特任講師

## ●現在

クマムシは、「ムシ」という名がついていますが、昆虫ではなく緩歩（かんぽ）動物の仲間です。乾燥、超低温、高圧、そして高線量の放射線にも耐えうる体長1ミリにも満たない「地球上最強」の生物なのです。

私、堀川大樹はそんなクマムシの持つタフな生命力の謎の解明に取り組んでいます。私は神大理学部を卒業し、北海道大学大学院へ進み、博士号を取得したあとはアメリカのNASA、フランスのパリ第五大学などで、クマムシの研究を続けました。現在慶應大学で特任講師を務め、研究や学生の指導を行っています。その他、研究に関するメールマガジンの配信、オンラインサロンでクマムシ研究のコミュニティも運営しています。クマムシのキャラクター「クマムシさん」のグッズ販売もネットや博物館等で行っています。本年2月には新たに『クマムシ博士のクマムシへんてこ最強伝説』も出版しました。大学だけでなく様々なフィールドで活動を行っています。

## ●モットー

「人のやらない事をやる」をモットーにしています。生物学に興味があ

り、専攻できる神大に進学しました。研究のスタートは、神大の恩師との出会いです。神大経済学部卒でクマムシの研究を一時されていた先生に出会い指導を受け、研究を始めました。「どの研究分野でも、3ヶ月一生涯命研究すれば、世界のトップに立てる」の言葉で奮起し、クマムシの研究にとりかかり、一気にはまってしまいました。

## ●後輩達へのメッセージ

自分の得意な、好きな事とことん突き詰めて進んで欲しい。そうすれば、必ず幸せになれると思います。また、大学時代に海外に行つて欲しい。留学でなくても旅で良いのです。如何に日本の常識が海外では通用しないかが分かり、世界の常識を知る事ができます。世界観が変わり新たな発見があるはずです。感性がある学生時代に経験する事が重要だと思います。

## ●神大時代の思い出

やはり、神大で尊敬できるユニークで素晴らしい先生に出会い、影響を受け、クマムシ研究の扉を開いてくれたことに尽きます。出会わなかったら、今の自分も存在しません。クマムシの研究もしていなかったと思います。他の大学だったらこんな出会いはありませんでした。クマムシが好きだから、勉強も研究も苦になりませんでした。

大学受験の英語の勉強は、嫌でなかなか進みませんでした。好きなクマムシの論文の為なら、英語の勉強も苦勞と感じないのです。クマムシの研究を始め、クマムシが私を、アメリカやフランスへと連れていってくれた学生時代。そんなきっかけをつかめた学生時

代、大学に大いに感謝しています。

## ●今後の夢

クマムシの研究で世界を変えたい。クマムシが持つ生命力の謎を解明していき、食料や医療などの応用につながればと思っています。ただ、クマムシのような基礎研究には政府からの研究予算がつきにくい。そこで現在、ネットで支援を募るクラウドファンディングを「academic」というウェブサイトで実施中です。ご支援いただいた方にはお礼として私のサイン付き著書やクマムシグッズをお送りします。神大OBの皆様、クラウドファンディングを通して、一緒にクマムシの研究を進めて世界を変えてみませんか？

## ●母校に期待する事

若手のユニークで個性のある尖った教員の採用を望みます。私が大学時代に味わった感動と出会いを、ぜひ後輩達に味わってほしいと思っています。

## ●取材を終えて

クマムシの研究において、世界の第一線で研究をしている堀川さん。ご自身はうまく隙間を狙って研究し続けた結果だと謙遜されていますが、クマムシの持つ生命力に目を付け、初心を忘れず突き進んでいる情熱は素晴らしい、感動しました。また神大時代の恩師の話をする時の熱い眼差しが印象的でした。充実した学生時代を送られた事が感じられます。また、クマムシグッズの話をする時の、明るく柔らかな表情のギャップがほほえましい。今後のご活躍を大いに期待したいと思います。

(取材:文責/永田)



# 漫画家 岡本 倫さん

Lynn Okamoto

## 経歴

・昭和46年1月6日生まれ  
和歌山県和歌山市出身  
・平成2年3月  
法学部法律学科卒業

## 代表作

『エルフェンリート』（アニメ化）  
『フノノ』  
『極黒のブリュンヒルデ』（アニメ化）  
『パラレルパラダイス』ほか

## デビューまで

子供の頃から漫画家になりたいと思っていました。自分が影響を受けたのは藤子・F・不二雄先生や手塚治虫先生など子供の頃に読んでいた漫画家さんたちです。大学でもマンガ研究会に所属して『六角橋コミック』という会誌



にイラストなどを発表していました。

漫画家になるためには読み切りの漫画を出版社に持ち込みをしなくては行けないのですが、読み切り30ページの漫画を描くのはとても大変な作業で当時怠っていた自分は漫画家になりたいと思いつつも漫画を描くことはありませんでした。それでもなにかエンターテイメントの仕事がしたいとは思っていたので、テレビゲーム業界を中心に就職活動をして株式会社バンダイに入社しました。

当時バンダイは社内ゲームを作らずに、実際のゲームの製作はすべて外注の下請けメーカーに発注し、バンダイでの仕事はゲームのプロデュースをすることでした。面白いものを作りたいと思ってもゲームは一人で作れるものではないので、商品として形にするためには常に誰かに頼ったり説得する必要がある、自分だけでは何も出来ないことにずっともどかしさを感じていました。そこで漫画であれば自分一人の力でも商品として作品を完成させることが出来る利点を感じて、結局また漫画家を目指すことを決心し、28歳のときに思い切ってバンダイを退職しました。

その後、漫画家のアシスタントをしながら原稿を描き、出版社に持ち込みをして平成12年『ヤングジャンプ増刊』に『エルフェンリート』が掲載さ

れ漫画家としてデビューしました。

大学時代の思い出といえば漫画の部屋での出来事です。今は23号館になってしまった場所に当時はサークルボックスがあり、部屋に行けば必ず誰かがいたので授業が終わるといつも部屋でゲームをしていました。今振り返ると大学生時代はやりたいことをやりたいように出来たとても自由で貴重な時間でした。以前大学生が主人公の漫画を描きましたが、その舞台は神奈川大学にしました。今年は箱根駅伝も5位と大健闘してくれたので、とても嬉しく思います。

## ●現在

漫画を描く上での苦労は、結果がすべてだということです。人気は本の売り上げとして数字ではつきりと出ます。それでも上手くいかないときは全て自分の責任だと思えるので、会社勤めの時のように上司がダメだからだとか、自分の不幸を誰かの責任だと思ってしまうことがないのでそれほどストレスは溜まりません。

また、いつも自分が面白いと思う漫画を描ければいいのですが、面白いストーリーが浮かばなくても締め切りは毎週来るので、時間がないうちは面白くないと思いつつも間に合わせるために原稿を描かなくてはいけないのが辛いです。

嬉しい思い出は自分の漫画作品が初めてアニメ化されたことです。知り合いの漫画家さんから、その方のアニメ化の話がけっこう進んでいたのに途中で流れてしまったと言う話を聞いていたので、自分の漫画がアニメ化されるという話があったときも、どう

せ流れてしまうのではないかと、ずっと疑心暗鬼にとらわれていました。それが数ヶ月経ち、掲載誌にアニメ化決定の告知をすると言われたときに、初めて、本当にアニメになるんだと信じることが出来て、とても嬉しかったことを覚えています。

現在出版業界は不況で本自体が売れない時代ですが、漫画は、紙の本から電子書籍などへ形を変えても、ずっと存在していくと思いますので、そんなに悲観はしていません。これからも人の心に残るような漫画、人の感情を揺さぶるような漫画を描いていきたいと思えます。

## ●後輩の皆さんへ

大学生にはたくさん時間があるのでその間に自分がやりたいことに色々チャレンジしてください。就職したい業界があるのならその業界でアルバイトをしたり、その業界で働くため勉強をした方がいいと思います。そうしないと就職活動の時にその他大勢の就活生の中に紛れてしまいます。企業から他の就活生とは違う、と思われる経験を積んでください。私は在学中にテレビゲームを作る会社で2年ほどアルバイトをしていましたので、それがバンダイに就職するためにとても有利になったと思います。

在学中は在学中で時間がないような気がしているかもしれませんが、就職したらそんな風に思っていた大学生の自分を説教したいと思うくらい忙しくなります。今の自由な時間を無駄遣いせず、ぜひ将来の自分のために使ってもらえればと思います。

(取材・文責/鈴木)

●大阪市中央区  
串カツ しろたや  
(株式会社PAION代表取締役)

白田信幸さん  
平成14年理学部化学科卒業



ご自身の大学在学中に、ジャイアント白田の愛称で親生まれ、タレントとして一世を風靡した白田信幸さん。2009年7月に、「30歳までに自分の店を持つ」という中学生時代からの夢を叶えて、株式会社PAIONを創業。タレント当時の自分を知っている人にも分かりやすく、親しみやすい店名にしたいと思い、屋号を「串カツしろたや」に決めたいと思います。

お店は、大阪道頓堀商店会のほぼ真ん中にある中座くだおれビル3階に位置しており、内装は串カツ専門店の中では珍しいテーブル席がメインのつくり。白田さんが高身長

(195cm)ということもあり、お店の中はゆったりとスペースが広く、お子様連れや女性の方で賑わっています。オスズのメニューを聞くと「野菜の串カツは特に力を入れています。たこ唐揚げは明石のたこを使用していて、素材には気を使っていますよ。あとは、季節限定のメニューは、コストパフォーマンスも高く、とても美味しいので、ぜひ召し上がってください」と話してくれました。



▲レンコンとアスパラの串揚げが白田さんのオスズメ

お客様に言われて嬉しかった言葉は、「しろたやに来て良かった。ありがとう」、「大阪に来た時は必ず来ます」など数知れず。時には、神大卒業生がお店に訪れてくれて、声をかけてくれることもあるのだとか。「一度だけ、『後輩が頑張っ

くれて嬉しい」と、二回り年上の先輩から、突然のご祝儀をいただいたことがあります」と驚きのエピソードを語ってくれました。

そんな白田さんは、必ず成功すると信じて疑わない、を信念としていると語る。「一度だけ、お店が潰れかけたことがありましたが、信念を見失わずに巻き返すビジョンを見つけました。私は、志」という言葉が仕事する上でとても重要なことだと思っていて、大切にしているのですが、今はお客様に喜んでいただくことを志としています」

学生時代の思い出を聞くと、「在学中にタレント活動をしていたこともあり、卒業研究では大変苦労しました。当時の教員の方、研究室の友人には感謝しています。タレント活動がないときは、ほとんど泊まり込みで研究に没頭していたので、根性がつきましたね」。現在の白田さんのバイタリティの原点は、学生時代にあるのかもしれませんが。

白田さんの今後の目標は「人生の半分以上の時間は仕事に費やします。どうせなら、楽しくやりがいいあるものにしていきたいですね。今よりも、もっと仕事を楽しくする環境作りや人材教育をめざします」という。白田さんの仕事への情熱と人情味あふれる人柄に触れました。

(取材・文責/林)

【お店情報】

- 場 所 / 大阪市中央区道頓堀1-7-21 中座くだおれビル3F
- 営業時間 / 昼：11:00～16:00 (ラストオーダー15:30)  
夜：17:00～23:00 (ラストオーダー22:30)
- 定 休 日 / 無休
- 客 席 数 / 42席
- 予 算 / 2,500円～
- 連 絡 先 / 06-6213-1360

▼店内の内装



▲料理一例

● 広島県福山市

創作和食

四季結び 松永茶寮

藤井 啓之さん

昭和63年経済学部経済学科卒業

藤井さんのご実家は、昭和47年に割烹料理と仕出し料理の店として「かねと」を開業。2016年3月には、福山市南松永町に和食店『四季結び 松永茶寮』をブランドオープンしたばかり。現在、本店と和食店の2店舗を経営している。新店舗の名前の由来について聞くと「人・食・時（四季）の結び目と人と人、人と食、食と四季、四季と結び目のコンセプトを基に、福山市松永地区の皆様に愛されるような名前を考えました」と語ってくれました。

お店は、地域の方々に愛されたいという言葉の通り、住宅地と工場が入り交ざった一角に位置する。「松永地区は、日本遺産にも認定されている尾道市に隣接していることから、尾道同様、自然豊かで情緒あふれる場所です。まさに風光明媚ですね」。お店の中は個室が中心で、庭園を眺めながら、ゆっくり語らい、食事を楽しめます。オススメのメニューは

「すべてです」と藤井さん。「四季折々のお食事を楽しんでもらうために、年4回献立を替えています」とこだわりを教えてくださいました。



▲茶寮御膳。その他にも季節ごとのお膳を楽しめる。

仕事のやりがいについて尋ねると「会社の代表としてやるべきことを一つひとつ丁寧に、確実にこなしていただけたら」と控えめに答えてくれました。そんな藤井さんの座右の銘は『今日を生きる』。理由は、過ぎ去った過去を悔やみ、まだ来ない未来を心配して、心をすり減らすのは馬鹿げているという意味の『明日よ、あらん限りの悪をなせ、われ、すでに今日を生きたれば』（紀元前ローマ詩人ホラティウス）という言葉

葉に感銘を受けたから。

学生時代の思い出話を聞くと、「北は青森、南は鹿児島まで、さまざまな県の出身者の友人がいました。一番の思い出は、1984年の秋、横浜スタジアムで広島カープ優勝の瞬間に立ち会えたことは、今でもよく覚えています。当時から私はカープファンで、友人を無理やり連れて行って野球観戦をしていましたね（笑）」。

藤井さんは、宮陵会の広島県総会に、何度か参加しているという、社会的で優しい人柄に触れました。

（取材・文責／林）

【お店情報】

- 場所／広島県福山市南松永町2-17-13
- 営業時間／昼：11:00～15:00  
(ラストオーダー14:30)  
夜：17:00～22:00  
(ラストオーダー21:30)
- 定休日／不定休
- 収容人数／4～60名
- 予算／昼の部 1,200円～  
夜の部／3,000円～(夜の部は予約のみ)
- 連絡先／084-939-6565

▼外観



▲内観



▲お庭を眺めながら、ステキな時間をお過ごしください。

# 神奈川県 ブロック会

## 第2回(平成28年度)

### 神奈川県ブロック会について

#### (記念講演会を中心に)

平成28年10月29日(土)に横浜キャンパスにおいて神奈川県ブロック会が開催されました。

ご承知のとおり「神奈川県ブロック」

は、平成27年度に新たに「神奈川県大学宮陵会ブロック会要領」が制定されたことを契機として、未整備であった神奈川県内の18の地域組織をブロック化し、同年10月31日(土)に第1回が横浜キャンパスで開催され、平成28年度は2回目の開催となりました。

神奈川県ブロック会は18の組織の当番制をとることとし、横浜市内の3組織と横浜市以外の2組織の計5組織が当番(幹事)となり、そのうちの1組織の会長がその年のブロック

会会長となることを申し合わせています。

第1回目

は、横浜市内の「神奈川県宮陵会」・「神奈川県ブロック会」・「磯子区」と横浜市内以外の「藤沢、



相模原」の5つが幹事組織となり、第2回目の今回は、横浜市内の「南区、保土ヶ谷・旭区、戸塚・栄区」と横浜市以外の「箱根町、平塚市」の5つが幹事組織となりました。

ブロック会の構成は、ブロック会議、

記念講演会及び懇親会の3部構成となっています。ブロック会議では、学校法人神奈川県大学と一般社団法人神奈川県宮陵会からご来賓をお招きし、大学並びに宮陵会本部の近況等をうかがった後に、自由闊達な意見交換がなされるとともに、県内地域組織が抱える諸課題についてご来賓ご臨席のもとで議論できる場となっています。「大学のお膝元」のブロック会ということもあり、議論が白熱して予定時間を超過する場面もみられるほごです。

第2回目の今回の記念講演会では、神奈川県大学名誉教授で近世近代俳論史がご専門の復本一郎先生をお迎えし、ご著書にもある「俳句と川柳」をテーマとしてご講演をいただきました。

復本一郎先生(俳号・復本鬼ヶ城)

は、神奈川県大学が1989(平成元年)年に神奈川県平塚市に湘南ひらつかキャンパスの経営学部開設と同時に教授としてご就任後、2009(平成21)年3月にご退職されるまで、経営学部の教養教育担当の重鎮として、神奈川県大学の発展にご尽力されました。特に、1998(平

成10)年の神奈川県大学創立70周年を機に創設した神奈川県独自の「全国高校生俳句大賞」の選考委員・コーディネーターとして、同じ選考委員で日本を代表する俳人である金子兜太氏、宇多喜代子氏らとともに日本の伝統的な短詩型文学「俳句」を通じて高校生・受験生に独自の感性で表現する機会を提供することにより、高校生文化の発信への寄与に多大なご貢献をいただいております。

また、復本先生は本学創立者の米田吉盛先生と同郷の愛媛県(宇和島市)のお生まれですが、幼少の頃から横浜市内で過ごされており、神奈川県近くの青木小学校、栗田谷中学校、そして県立翠嵐高等学校をご卒業後、早稲田大学、同大学院に進学され、本学ご就任以前の静岡大学文学部教授時代に文学博士の学位を取得されています。現在、産経新聞川柳選者、神奈川県新聞俳句選者のほか、実験的超結社俳句集団「鬼」の会代表をつとめるかたわら精力的に執筆活動に取り組み、最近では本年の記念講演のテーマであるご著書「俳句と川柳」(講談社学術文庫2014年)を上梓されています。

さて、復本先生の記念講演会では、平成28年が夏目漱石の没後100年にあたり、漱石が俳人であったことから、漱石絡みで川柳についてもご教示いただきました。

復本先生のお話のなかで個人的に関心があった部分は、「もともと俳句というのは、俳諧という江戸時代の芭蕉とか蕪村とか一茶とか、そういう人たちがやった文芸なのですが、『俳』も『諧』も滑

稽という意味なのです。ですから、『俳諧』は、もともと滑稽の文学なのです。皆さんは俳句というと、芭蕉の『わび』とか『さび』とかいう印象が強いと思いますが、漱石は、それを非常によく理解していて、自分の作品を滑稽趣味でつくると言います。「や、漱石のことはを用いて『俳諧の趣味ですか、西洋には有りません。川柳というようなものは西洋の詩のなかにもありませんが、俳句趣味のものは詩の中にもない。これが俳句と川柳との大きな違いです。俳句というのは『情』の文学、『心』の文学で、どんなに滑稽なことを詠んでも、そこに情、心というものが見え隠れします」。また「川柳というのは『知』の文学。頭の中で作り上げるのが川柳ですから、つくるのは川柳の方が難しい。もっとも、俳句の誕生時には知の文学。俳句を情の文学にしたのが芭蕉。」とおっしゃっておられた点です。

最後に、「俳句と川柳の違いを一口で申し上げると、季語の有る無しではなく、やゝやゝかな、けり」といった『切れ字』の有無によって俳句と川柳の違いが読者に伝わってくる。俳句をおつくりの方は、ご自分のつくっている俳句にプライドを持っていただきたいし、川柳をおつくりの方は川柳という文芸にプライドを持っていただきたい。」として、ご講演を締めくくられました。

ご講演後、会場からいただいた多くの質問に対し、復本先生には一つひとつ丁寧におこたえいただいたこともあり、会場の皆様も一同に満足された様子でした。(文責/佐藤)

# 神奈川大学埼玉宮陵会設立成る

埼玉宮陵会事務局長 石田博英

平成29年（2017年）3月11日。誰もが忘れぬ日です。深く瞑目しつつ、奇しくもこの日宮面ヶ丘にて新しい絆が誕生しました。神奈川大学埼玉宮陵会が力強い産声を上げたのです。平均年齢60代後半、老人たちの仲良しクラブと呼ばれる。これから何かを得ようとする。震災を記念日とすることには反対ですが、本日、やや小柄に生まれた埼玉宮陵会の設立記念日とすることには心から賛成です。3000名への呼びかけに呼応して、いざ六角橋と馳せ参じた埼玉雄姿は30名に達しました。キラリと光る1%。この先ずっと一緒に繋がっていくという嬉しい予感を感じました。

さて設立に至るいきさつは……。神奈川大学名誉教授海老澤栄一氏が一般社団法人神奈川大学宮陵会の後援のもと平塚

## 埼玉県 宮陵会

キャンパスでシンポジウムを開催されていることに発します。「先生のお住まいは埼玉なんですか。そうですね。埼玉には

まだ宮陵会がないんです。3000人も卒業生がいるんです。先生ひと肌脱いでいただけませんか」この通りの言葉つきではないにせよ、先生はあとで「うまく乗せられた」と苦笑いでした。そこに、神奈川大学宮陵会代議員の中野正一氏と河崎泰秀氏が合流し、発起人の核ができました。次に実力者を想定しようということ、埼玉県内でのビジネス界の重鎮にお声をかけました。佐藤保雄氏と池田好正・彰子ご夫妻でした。これで大方の人材はそろったのですが、発起人会の時期を同じくして、稲浦巖氏と石田（筆者）が大泉ゼミナール同門の集まりで、「埼玉に宮陵会がないのは、埼玉の活性化への損失だ。石田君何とかしようよ」との稲浦氏の熱い一言で、無邪気な筆者は「そうだそうだ」と見事尻馬に乗ったのでした。ゼミナールの仲間に元神奈川大学職員で平塚キャンパスの管財部長を務めた中河原氏がこの話を聞きつけて、それなら宮陵会にきちんと紹介しますよとありがたい（？）助言をいただき、瞬くうちに宮陵会の春原専務理事、平能専務理事、佐藤専務理事との面会が成立し、あれよ！という間に埼玉宮陵会の

母体が出来あがりしました。

下打合せ会合を何回か繰り返して、宮陵会主導のもと3月11日を迎えるに至りました。文面には現れない多くの方々のご協力や助言のもとに、明るく元氣よく埼玉宮陵会設立総会が横浜キャンパスの3号館207講堂にて開催されました。主題は埼玉宮陵会設立の宣言と会則の承認、運営役員を選出と承認でした。そしてこの会が未永く持続可能な会であるための今後の開催日程や、親睦が深まるような企画案の概要が提示されました。和やかに粛々と議事は運び、満場一致ですべて採択されました。記念撮影の後、19号館ラックスホールにて顔合わせ懇親会が開催されました。参加者はみな生き生きとした表情で、互いをよく知り合おうと話の輪がいくつもできていました。自己紹介の場面では、いわゆる長老から始まり若手にリレーするという型通りの進行を採りました。お住まいの地名とお名前を紹介しながらの小一時間でした。所沢の海老澤さん、日高の稲浦さんとまるで競輪選手を呼び上げるような様相でしたが誰からも文句は出ませんでした。中締めは全員で「校歌」斉唱を披露しました。50年ぶりの校歌という方もおられ、懐かしく歌い上げました。中野氏による閉会あいさつで散会となりました。なごやか、意気軒高、また会おうが各所で感じられる盛会でした。今回は設

立総会のため回数には含みません。今年の秋に第一回総会が開催予定されます。今回の参加者を上回る人数になれば、継続の証となるでしょう。

3月11日当日には、同じキャンパス内で神奈川大学主催全国高校生俳句大賞授賞式と日本を代表する俳人のシンポジウムが開催されました。埼玉宮陵会総会に先立ち参加者の多くがシンポジウムを聴講して、俳句の達人の深奥に触れる機会に恵まれました。それはそれで感銘しましたが、ここに集う高校生を何とか確保できないものかと、将来の埼玉宮陵会のメンバーとして迎えたいとの衝動に駆られました。若い卒業生でビジネス界で現役の方々は勿論、本日神大で表彰された高校生の何割かは埼玉宮陵人で、うまくすると神大に入ってくれて、私たちの仲間になってくれるのでは、と期待と妄想が入り混じっています。今後の活動の在り方を含め、若い人たちが抵抗なく加入してもらえることが最大の課題とされます。我々スタッフ一同の努力もさることながら、多くの会員の知恵と発想力と行動力が必要とされるでしょう。えらそうに言っていますが、同じ会員です。共に意識を同じくして会を盛り立てていければおのずと参加者は増えると思ひ、目出度く埼玉宮陵会設立のお慶びといたします。

（文責／石田）

# 福岡宮陵会

## 学生&OBの連合チームで 「ハマこい2016」に 参加!

神奈川大学知名度の

向上、宮陵会活動の活性化、平成卒者の宮陵会行事参加向上を目的として、「よさこい」踊りを取り入れたチーム「神奈川大学福岡宮陵会応援隊」を2013年に結成しました。

これまでに、母校の「ホームカミングデー」や福岡市の「ふくこいアジア祭り」さらに「九州ブロック会」等に出演することにより、地域を越えた同窓生間での交流も生まれ、卒年を異にする同窓生



間の情報交換や相互扶助が行われております。

ただし、平成卒者については、宮陵会存在自体の認識不足もあり参加向上は成し遂げられずにいます。今後、宮陵会活動への積極的参加を誘うには、現役のうちから学生との接点を設けることが重要であると考えます。

今、全国では若者が積極的に参加を促す催しの一つとして「よさこい」を取り入れた祭りやイベントが流行っています。高知で誕生した「よさこい」はエネルギー溢る踊りと華やかな衣装が特徴で、各地で大学のチームが活躍しています。

この度、横浜市で開催している「よさこい」を取り入れたイベントである「ハマこい」へ「学生&OB」の連合チームで参加を行うことにより、神奈川大学の知名度の向上及び宮陵会活動の活性化にも弾みをつける可能性が拓かれると信じ、「ハマこい2016」へ参加致しました。

「ハマこい」は、横浜市の観光創出や市民の次世代育成につながる下地づくりとなり、横浜市と市民の協働により集客や参加意欲喚起につながる様々な取り組み

を展開し、更なる飛躍を目指すイベントで、今回は2016年9月10日(土)に、みなとみらいエリアにて3会場、39団体、約1500名が参加する開催となりました。

私たちは、チーム名を「神奈川大学宮陵会応援隊」とし、楽曲は校歌をそのまま利用、振付は人間科学部前学部長の山下先生、助教の太田先生にご指導を頂き、衣装は宮陵会からの補助及びOBの皆さまから頂いた寄付によりオリジナルの法被を制作、さらに北九州宮陵会より寄贈頂いた大旗2本を携え、学生7名・OB8名・職員3名の18名で参加致しました。

開催当日は天候にも恵まれ、各地から集まった熱気溢れる参加チームに囲まれる中、始めは緊張と不安で一杯の演奏でしたが、山下先生、太田先生の励ましを受け、観客の皆さまより温かい声援を感じ、さらにOBの皆さんもかけつけてくださり、神奈川大学の幟を掲げながら応援してくださる姿に元気を頂きました。

今回は3会場で演奏を披露しましたが、2会場目の横浜美術館前では司会の方より、「いろんなチームが参加しますが、大学の校歌を演奏曲とするチームは今まで初めて見ました」とコメントを頂き注目を集めたことがとても印象に残っています。さらに、最後の演奏の後、20代くらいの男性から「感動しました!」と声を掛けられたことは、何よりのご褒美に思えました。ただ残念だったのは、彼が神奈川大学の卒業生ではなかつたことです。

演奏を終え、表彰式までの間に、港横浜の爽やかな風が吹き抜けるパシフィコ横浜の公園横でベイブリッジを背景に撮影した集合写真には、世代を超えた絆に満ちた笑顔の面々が収まっていました。短い期間ではありましたが、この機会に紡いだ絆は今後も大事にして行きたいと思えます。また、今回は入賞には至りませんでした。この度の日かこの場所で神奈川大学の有志と共に受賞の喜びを感じることが出来るものと信じております。

この度の「ハマこい2016」への参加は、初めての企画でほとんど告知がされていない中、開催日が夏休み期間中である学生の参加メンバーを集めることや、福岡から参加するOBと学生との合同練習が前日の数時間しかとれないこと、さらに衣装制作等にかかる資金集めなどには苦労しましたが、大学と学生と宮陵会が志を一つにして新たなことに取り組むことが出来たことは、今後の活動の大きな弾みとなると感じています。

最後になりますが、この度の「ハマこい」参加にご尽力頂きました大学の先生方、校友課の皆さま、宮陵会の皆さま、そして陰日向になってご協力頂きました各地の先輩方、本当にありがとうございました。この活動を通じて、大学及び宮陵会の発展に寄与して参りたいと思っておりますので、今後もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

神奈川大学福岡宮陵会

平成七年法律卒 酒匂 彰

# 講演・おしゃべり・美味しい料理と 有意義で楽しい時間を大満喫！

去る2016年11月23日に「女性会員のつどい（YOKOHAMA）」が開催されました。会場の英一番館はイチョウの黄葉も美しい山下公園前の神奈川県民ホール6階にあり、窓からは横浜港が一望できます。

折よく出航する豪華客船の汽笛も鳴って、華やかでにぎやかな会になりました。

会は、会長の大場憲治氏のごあいさつによって幕を開けました。神奈川大学の現在や、宮陵会館が2018年にキャンパス東門付近に竣工することなどに言及され、ますます発展する神奈川大学と宮陵会へのエールに、会場からはさかんな拍手が送られていました。

続いて、本学OGであり防災士の庄子さち子氏による「女性目線による、身を守る『防災講習』」と題した講演が行われました。災害時に必要な備蓄品、自宅の耐震や避難所について、また、地震が

起きたときどのように身を守ればよいのか、

どのように連絡を取ればよいかということや、いざというとき

には地域との連携が非常に大事になる

ので、日頃から人とのつながりを作るこ  
とが大切であることなど、防災の要点を  
身振り手振りや冗談もまじえて、わかり  
やすくお話しいただきました。

続くブッフエランチは明るく楽しいもの  
になりました。会場である英一番館  
は、團伊玖磨氏も愛した老舗フレンチレ  
ストランです。いろいろな種類のお料理  
はどれも大変おいしく、芳醇な飲み物も  
あり、秋の柔らかな日差しとの差し込む店  
内は、ほろ酔いの楽しい気分にも包まれま  
した。神奈川大学で学んだ仲間という共  
通点は、魔法のように皆の心を打ち解け  
させるようで、今回が初対面という方も  
多くいらっしやいましたが、学生生活の  
思い出や卒業後の人生、近況などのお話  
で、会場はすぐにはいたいへんな盛り上がり  
を見せました。

参加者の皆さんは、「大学を卒業して  
30年以上が過ぎましたが、こうして昔の  
友達に会って、昨日別れたばかりのよう  
に話ができるのは、神奈川大学が引き合  
わせてくれたご縁です。これからもこの  
ご縁を大切にしていきたいです」、「人  
生で一番楽しい時期を神奈川大学で過ご  
しました。勉強も人間関係の大切さも神  
奈川大学で学びました。女子学生の少な  
い大学でしたが、神奈川大学で出会った  
女友達とは生涯のつき合いになりそうで

す」、  
「大学時  
代は人生  
最後の楽  
園ともい  
える時期  
です。そ  
の年ごろ  
を、神奈  
川大学と  
いう、素  
晴らしい  
大学で過  
ごせたこ  
とを、誇  
りに思います」などと話していらっしや  
いました。



会もたけなわのころ、マスターのご厚  
意でピアノの生演奏とスイーツが提供さ  
れると、ユーミンの懐かしい曲に学生時  
代がよみがえり、ほろりとされる方もあ  
りました。今では建て替えられてきれい  
になりました、かつての時代を感じさせる建  
物もなくなりましたが、神奈川大学で学  
び、サークル活動をし、泣いたり笑った  
り精一杯青春を謳歌したことは、卒業生  
の誰にとっても忘れがたい思い出です。  
今年も新一年生を迎え、大学の歴史にま  
た新しい一ページが加わりましたが、現  
役の学生さんの誰もが、この場に集った  
皆のように、生涯の思い出になるような  
すばらしい学生時代を過ごしてほしいと  
願わずにいられません。

記念撮影が済めばいよいよ散会です。  
皆、「また会いましょう!」「来年もぜ  
ひ横浜で!」などの言葉を交わされた  
り、メールアドレスを交換されたりと、  
なごりの尽きない会になりました。

ただ一つ残念なことは、参加者が二十  
三名と決して多くはなかったこと、卒業  
後年数の浅い参加者が皆無であったこと  
です。もともと、女子学生の少ない大学  
ではありますが、もう少し多くの方々の  
ご参加があれば、さらに楽しく、さらに  
充実した会になったことでしょう。今  
後、女性会員のつどいをどのように盛り  
上げ発展させていくかは重要な課題で  
す。より多くの、神奈川大学を懐かしむ  
OGの方々の目にとまるような広報を考  
える必要もありそうです。

これからはますます女性が輝く時代で  
す。OG会に参加することは、さまざま  
な業種で、女性活躍の先駆けとして頑張  
ってこられた方々の、貴重なお話をうか  
がったり、新たな人脈を開発する絶好の  
機会でもあります。ただ懐かしいだけの  
会にとどまらない、女性会員のつどい  
に、今回は、大先輩も、若い方も、多く  
の皆様のご参加をお待ちいたしております。  
(文責/鈴木)



▲防災講習

# バスケットボール部

## 神大男子バスケットボール部 オールジャパン出場!!



神奈川大学男子バスケットボール部は、2017年1月3日から開催された、第92回天皇杯全日本総合バスケットボール選手権大会（オールジャパン）に初出場しました。

神大バスケットボール部の歴史は、昭和4（1929）年横浜専門学校設立と同時に、当時の白田清四郎先輩（昭和8年専貿易卒）等が172円（大卒初任給75円の時代）の部費を投じて「籠球部」を創部したことに始まります。太平洋戦争末期の昭和18年に廃部になるまで、専門学校対抗戦等で活動しました。

戦後いち早く、昭和21（1946）年には「バスケットボール部」として再開し、昭和24年の学制改革で神奈川大学となっても継続し、大学の歴史と同様に今年で89年目となります。

最近では、平成12（2000）年に男女ともに大学選手権大会（インカレ）出場、平成13（2003）年にも男子が2度目のインカレ出場を果たしました。以降関東2、3部リーグを行き来しましたが、本年、男女ともに2部復帰を果たすこととなりました。

こうして部歴を見ま

すと、オールジャパンに関しては、県の予選会には大学代表として出場していませんが、関東大会や、ましてオールジャパンへの出場となるとその機会はなかったように思います。

それもそのはずで、この大会出場までには、神奈川県学生リーグ2016年春季大会で3位迄に入り（神大は1位突破）、学生代表として県予選会の出場権を得、10月30日・11月3日に開催された県総合B・B選手権大会（県予選会）で優勝し、関東ブロック予選会の出場権を得、11月26日・27日に開催された関東総合B・B選手権大会（関東ブロック予選会）で優勝して出場が決定したのです。まさに快挙と言えるでしょう。

オールジャパンには昨秋発足したプロのBリーグ上位チーム、学生・高校生代表、神大など地域ブロック代表など32チームが出場しました。

神大の初戦は1月3日14時から国立代々木競技場第一体育館で、東海ブロック代表で2回目出場のクラブチーム「SWOPUS」と対戦、最後まで力を緩めることなく戦い切った神大が75対39の大差で勝利しました。

神大の2回戦は1月4日14時から大田区総合体育館で、関東1部リーグ・インカレ準優勝の東海大と対戦、神大は第一ピリオドから善戦しましたが84対61の23点差で惜敗しました。

試合初日には兼子良夫学長等、大学関係者、多くのOB・OG、ご父母の



皆様が箱根駅伝のゴールを見届けて応援に駆け付けてくださいました。また2日目にも古川勝彦宮陵会副会長等、多くの皆様の応援を頂きました。

学生にとって、皆様の応援が励みとなり、予選会から1戦1戦、強くなっていく様子が見て取れました。熱い応援を有難うございました。

今年は男女ともにレベルの高いステージでの戦いになります。我々OB・OGもワクワクしながら応援をしていきますので、今後ともご支援を宜しくお願い致します。

（神大バスケットボール部

OB会事務局長 塩塚定雄）



## 女子サッカー一部

## 次こそは…必ず優勝を!!



相手になかなか自分達のペースで試合を進めることが出来ず、失点を重ねて

試合もありましたが3連勝し、無事に年明けの準決勝に駒を進めることが出来ました。迎えた東京ラウンド一戦目、準決勝の相手は関東第一代表の日本体育大学でした。強豪

私たち女子サッカー部は、第25回全日本大学女子サッカー選手権大会（インカレ）に出場しました。昨年第24回大会では準優勝という成績を残すことが出来ましたが、その結果に甘んじることなく、今年もしっかりトレーニングを積んで大会に挑みました。まずは晩夏から続く関東大学女子サッカーリーグを戦い抜き、インカレへの出場権を得ました。そして12月末、いよいよインカレ神戸ラウンドの開幕です。世間はクリスマスモードですが、私たちにとつての12月24日は大事な初戦の日。チーム全員が一つになって戦いました。負ければ終わりのトーナメント戦で、PK戦など苦しい試合もありましたが3連勝し、無事に年明けの準決勝に駒を進めることが出来ました。迎えた東京ラウンド一戦目、準決勝の相手は関東第一代表の日本体育大学で

しまいましたが、選手たちは下を向くのではなく、ゲームキャプテン梅津美絵（3年）を中心にその都度話し合い、前向きな表情で相手に何度でも向かっていく姿が印象的でした。試合終了時のスコアは0-4。昨年悔し涙を飲んだ決勝の舞台に、今年は立つことが出来ませんでした。その翌々日、気持ちを切り替えて挑んだ3位決定戦の相手は武蔵丘短期大学でした。前半9分、神奈川大学が待望の先取点！昨年の決勝の舞台でも得点を挙げた小森碧伊（2年）が今年も決めてくれました。その後さらに、瀧澤莉央（2年）のゴールで追加点を挙げ勢いにのるイレブン。後半残り6分で失点するも、その後は相手に追加点を与えることなく、2-1で勝利しました。



この試合ではDFの要である浅利育（2年）が体調不良のため欠場となりましたが、チームの主将である矢野江理佳（4年）が見事にその穴を埋める活躍してくれました。60人を超える部員数の中で、選手層の厚さを感じると共に、与えられたチャンスで力を発揮できることが今後の人生にも繋がっていくと感じました。3位という結果ではありますが、勝利で大会を終え、メダルを持ち帰ることが出来ました。ただ、3位決定戦と決勝戦の注目度の差は歴然。自分達が出場出来なかった決勝戦を悔しい気持ちで見つめている選手も多くいました。『次こそは…』昨年、今年と大会を経験した選手たちが、次年度もメンバーの中心選手となります。選手スタッフとも次年度にかけられる想いは今まで以上に強くなっています。

● 今回のインカレ神戸ラウンド・東京ラウンド共に、本当にたくさんの方の神奈川大学OB・OGの方が会場に足を運んでくださり、応援のお言葉をいただきました。女子サッカー部はたくさんの方々に支えられ、応援して頂き本当に幸せだと感じています。2018年1月には最高のご報告が出来よう、チーム一丸となって練習に取り組んでいきますので、今後とも熱いご指導ご声援をよろしくお願致します。

（2009年経営学部国際経営学科卒業  
女子サッカー部トレーナー

出川 幸

# アメリカンフットボール部



## アメリカンフットボール部の坂本選手 2部リーグ所属選手の中で唯一U19代表に選出

第9回TOMODACHI BOWLが、3月12日調布市のアミノバイタルフィールドで開催されました。この大会は2011年3月の東日本大震災での在日米軍の献身的な救援作業に感謝する主旨で開催され、今年で6回目となっています。対戦カードは、関東選抜で構成された日本チーム「Team Rising Sun」と調布及び関東近郊、沖縄、韓国、グアムの基地内からの選抜で構成された米国チーム「Team USA」（共に19歳以下）で、結果は日本チームが昨年の雪辱を晴らし、27対14で勝利を納めました。実はこの試合に、関東1部リーグの選手が多くいる中、神奈川県から2部リーグ唯一の選出として、事前のトライアウトで選抜チームのコーチ陣の目に留まった坂本・アントニー・マウネディ選手が選出され、試合でも勝利に貢献する活躍を見せていました。その坂本選手と輪島監督にお話を伺いましたので紹介します。

### 1・選手の経歴

神奈川県立横浜立野高校でアメフトを始め、高校2年生のときには、神奈川県選抜に選出され地区選抜対抗戦の「STICK BOWL」関東選抜対関西選抜の「New Year Bowl」に出場。

### 2・今回代表に選ばれた経緯・試合後の感想

昨シーズン1年生ながらチームの大黒柱として数々の窮地をその見事なキッキングで救い、チームのベストオフェンスとして表彰されたことから、監督よりトライアウト派遣の打診を受けました。トライアウトでは30名ほどいた同じポジション

の選手がいる中、安定したキッキングなどが評価され選出されました。

実際にゲームに出場した感想としては、周りが1部の選手ばかりで、その中で事前の強化練習・試合ができたのとても刺激的な毎日であり、良い経験となりました。また様々なチームの選手とながりを持つことができて非常に嬉しかったです。試合内容としてはもともとできたと考えることもあり、今後の課題として取り組んでいきたいと思っています。

### 3・何故神大アメフト部を選んだのか？

高校三年時の春大会で悔しい敗戦をし、大学でも本気でアメフトに向き合いたいと思う中、1部への復帰に向け真剣に取り組んでいる練習を見学させて頂きました。そしてここでは非アメフトに真摯に取り組むたいという思いが強くなり門を叩きました。

### 4・現在のチームの雰囲気・練習内容

新チームは2月より始動しました。実際には早く実践に近い練習に進みたいという気持ちでチーム内でも出ていますが、やはり本番は秋でありそこで爆發できるように、現在の練習はそのための身体作りに重点を置きシーズンに向けて動いています。

### 5・リーグ戦に向けての抱負

個人的には昨年以上の活躍ができればベストですが、そのためにもそこに至るまでの準備がとても重要で、身体を大きくスキルの上を回り、1部復帰を達成するよう良い状態でリーグ戦を迎えたいです。

### 6・アメフトで勝つために必要な事・

### アメフトの魅力

アメフトは試合前の準備が勝敗を大きく左右します。準備には個人でもチームでも対戦相手の分析とその対策を考えること、また体調も試合にピークをもって行けるように調整することも含んでいます。その準備以外にも相手に屈しない熱い気持ち、アメフトに対する情熱が必要と信じています。

またアメフトは仲間を信頼することで成り立つスポーツだと思っており、先述の準備を含めた活動において人と人のつながりが強くなるのが、この競技の魅力と想っています。

### 7・今後の夢・大学・宮陵会に期待する事

国内アメフトの最高峰であるX Leagueでプレーするのが夢ですが、その前に就職など様々な出来事にしっかり対応し、徐々に今後やりたいことを固めていきたいと考えています。

そういった夢に向かって日々活動していますが、その活動を設備や施設などの環境面でサポート頂いている大学及び宮陵会の関係者にはとても感謝しています。アメフト部の指針として掲げられている「Atoms Way」の中でも、関係者をリスペクトすることはとても大事なことを教えられています。より一層厚いサポートをして頂けるとともに、私たちの活動を学内及び卒業生の方々によりアピールしていただけると嬉しいです。

そのようなご支援に対し、必ず予想を上回る結果を残し応えていきます。応援よろしくお願ひします。（文責／永田）

## 管弦楽団

学生だからこそその音楽を追究  
他団体や地域とのコラボも活発に!!

今年の3月に、地域の方々と神奈川大学の学生との交流事業である「まち×学生プロジェクト」の一環として、「スプリング・コンサート」を開催した神奈川大学管弦楽団をご紹介します。このスプリング・コンサートは、六角橋地域ケアプラザ、六角橋自治会連合会、六角橋商店街連合会の皆様、神奈川大学ボランティアサークル「Global×Yen×Leap」「学生UD(University Development)委員会」「KRAS放送研究会」等、地域や学内の皆さんと力を合わせ開催しました。「ジュラシックパーク」やドラマ「篤姫」のテーマなど親しみやすい曲を中心に、指揮者体験ができるお楽しみコーナーなども盛り込んで、最後は「ふるさと」の大合唱で大変盛り上がりました。当日は、用意した席は満席となり、急遽椅子を追加、約五百名の皆さんで大盛況となりました。準備段階では、何度も打合せを行いました。企画を作り上げたそうです。地域の役員の方々にいろいろと教えていただくことができ、他団体の学生との交流も刺激があつて、とてもいい経験だったそうです。特に地域の皆さんがとても暖かい目で神大生を見てくださったということを知って、大変嬉しかったという感想も聞きました。

神奈川大学管弦楽団は、1975年に創立された神奈川大学弦楽合奏団を前身とし、現在では約80名余りの団員がいます。「アマチュアであるからこそ、学生であるからこそ表現できる音楽というものを追求しよう」と、団員一丸となって励んでおり、6月頃と12月頃の年2回行う定期演奏会でその成果を発表しています。

また、冒頭にご紹介したように、大学内はもとより近隣の小学校や外部団体からの依頼演奏も行っています。もちろん、大学祭「神大フェスタ」でも定期演奏会とは違う趣の曲に取り組み、発表しています。昨年は、大学図書館の初の試みであるライブライリーコンサートに出演しました。企画した図書館の若手職員の皆さんは、静粛が原則の図書館で成功するかどうか不安だったそうですが、アンケートでは「図書館の雰囲気、楽器の音色がとても合っていてよかった」「またやってほしい」と大好評。図書館長や先生方、上司にも褒められ、新年度4月の開催もすぐに決まったそうです。更に、今年10月には神奈川区制90周年式典での演奏が決まっています。

さて、活動のメインである定期演奏会には、クラシック好きの先生方や、地元の方々など、常連の観客も年々増え、近年、来場者数は毎回千人を超えています。常連の方々によると、松岡先生を常任指揮者に迎えてから、奏でる音が伸び伸びとし、表情豊かな演奏になってきたそうです。松岡先生は、指揮を小林研一郎氏、ヨルマ・パヌラ氏、ランベルト・ガルテッリ氏に師事され、1991

年文化庁在外派遣研究生としてハンガリーに留学、帰国後は、数々のオペラの日本初演を指揮。2004年11月から2007年10月にはベルリンで研修。現在は、東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団常任指揮者として活躍されています。他にも、弦楽器、木管楽器に各4名、金管楽器3名、打楽器1名のプロの演奏家にご指導いただいているそうです。

少し変わった活動では、箱根駅伝の応援があります。もちろん弦楽器は参加できませんが、管楽器の有志がいつも張り切って応援に駆け付けていたそうです。去年、今年は応援指導部が存続しなかったため手伝いできず残念だったと語ってくれました。

機会があればぜひ管弦楽団の演奏会にも足をお運びください。

【第69回定期演奏会のご案内】  
日 時：2017年6月18日(日)  
会 場：みなとみらいホール 大ホール(みなとみらい駅より徒歩約3分)  
指 揮：松岡 究  
演奏曲目：フェリックス・メンデルスゾーン 序曲「ルイ・プラス」  
ヨハネス・ブラームス 「ハンガリー舞曲」より抜粋  
ロベルト・シューマン 交響曲第2番 八長調  
詳しくは、ホームページ <http://kuo.soc.or.jp/> をご覧ください。



# 大後栄治

Eiji Daigo

神奈川大学陸上競技部監督

[特別寄稿]

## 「準備する力」

### 箱根駅伝、12年ぶりのシード権

第93回東京箱根間往復大学駅伝競走で、神奈川大学は総合5位という好成績で、シード権を獲得した。苦節12年、やっとスタートラインに立てたという、大後栄治監督にその心境を綴っていただいた。

『大レースで勝つのは、必ずしもその時に最高の実力をもった選手ではない。そのレースのために、やるべきことをちゃんとやってきた選手。すなわち、その日にベストコンディションを作れた選手こそ、大レースを制することができるのである』。これは世界に広まっている中長距離走のトレーニング理論「リディアード方式」を考案したニュージールランドの指導者、アーサー・リディアード氏の言葉である。

◆ ◆ ◆  
今から7年前、第86回箱根駅伝の予選会に向けて最終調整を行っていた10月上旬、チーム内に衝撃が走った。学内にて爆発的にインフルエンザ患者が発症したのである。その晩、陸上競技部の合宿所内でも高熱に苦しむ選手が2人。次の日には3人と連鎖が始まる。なにせ合宿所は寝食を共にする集団生活。伝染しない方が不思議である。箱根駅伝の予選会を2週間後に控える大事な時期である。発症した選手は隔離し、他全員に1時間毎の検温を課し対応しても後の祭り。結局選手は授業以外合宿所から外出することは禁止になった。勿論、練習も大々的に？は出来ない。生きた心地がしなかった。2週間後の

予選会では案の定ボロボロ。第68回大会から連続出場していた櫛も85回大会で途切れてしまう。どん底に突き落とされた状況だった。

73回、74回大会と連覇を達成し、その後は何とかシード権内で踏み止まっていた。しかしながら選手たちの懸命なる走りとは裏腹に、徐々に順位を落とし81回大会を最後にシード権から遠ざかることになる。そんな状況での箱根不出場。落胆の色は隠せなかった。

敗戦から数日過ぎた10月の下旬、当時の中島学長、伊藤理事長から、駅伝競技再建の為に強化策定案を提示する様、誠に勇気付けられる命を頂いた。箱根駅伝の高速化に伴い、レース展開に対応できる人材確保、エース選手の育成、練習計画の細分化等、多くの課題を解消しなければならなかった。当時、「神大チームはまるで金太郎飴のようだ」と揶揄されていた。いい意味でどこを切っても安定





大後 栄治 (だごい えいじ)

1964年生まれ。東京都出身。神奈川大学人間科学部教授。同大学陸上競技部監督。日体大在原高等学校から日本体育大学に入学。箱根駅伝を夢見るも、故障によりマネージャーに転向。大学院に進学。1989年、神奈川大学陸上競技部コーチに就任。1997年・1998年と同部を箱根駅伝連続優勝に導く。

感のある同じような選手を揃えてくるということだが、裏を返せば特徴が無いということでもある。特徴のないチームは通用しない時代に突入していたと言える。レースの高速化に対応する対策が遅れていたことは間違いないかった。

手をこまねいている時間が長引くほどギリ貧に陥り、復調するのに大変な時間を要する。

そういった意味でも、学長、理事長、両トップのご判断は本当に有難かった。

早速、選手スカウト、育成、マネジメント、コンディショニング等、強化要素の分業体制を明確化し、配置させていただいたのが、現行の部長、副部长、コーチングスタッフ体制である。



あれから数年。シード権獲得はそう簡単ではなかった。強化策を遂行すれども、なかなか選手層は厚くならず、エース選手育成も容易ではない。やっと転機が廻ってきたのは7年目の今年、93回大会。相変わらず選手層は乏しい状況であったが、待望のエースが育ってきている感覚があった。3年生の鈴木健吾である。鈴木に釣られる様に2年生の山藤も徐々にスタミナを獲得していった。近年、お決まりの様に前半で遅れをとり、苦しく厳しいレース展開を余儀なくされる状況。これを打破するには前半区間で上位に位置づけ、東神奈川から横浜付近では5番手辺りで通過し、勢いのある流

れを呼び込むしかない。いよいよその布陣が整いつつあった。

ひとつ懸念材料であったのは、やはり選手層が厚くない部分。誰一人として怪我をさせることは出来なかったし、体調を崩すことなどは問題外。ありとあらゆる対策を講じ、コンディショニングに関しては強化予算をつぎ込み準備を怠らなかつた。選手たちには「走力で引けをとるのは仕方ない。しかしながらコンディショニングで負けてはならない」と諭していた。それは自己管理能力、チーム力、ひいては人間力の負けを意味するからである。

結果は総合5位。12年ぶりのシード権獲得である。7年前の悪夢をやっと払拭することが出来たと感じた。やっとスタートラインに立てた。ようやくゼロに戻る事が出来た。そんな心境である。まさに「準備する力」である。

勝負の女神は、日常生活の中でやるべきことを積み上げる者だけに微笑む。神奈川大学に力量が備わったと勘違いしてはならない。他チームが崩れた結果の順位である。これからも謙虚に準備力を磨き、進んでいきたい。



最後に。準備力には多大なる労力と支援が必要。宮陵会の毎年のご声援とご支援のお蔭で、準備を整え、選手たちをスタートラインに立たせることが出来る。本当に有難い。感謝致すとともに、今後も末長いご支援をお願いしたい。

# 神大の歴史 44

## 横浜専門学校と『横浜貿易新報』

【写真①】は本学の前身校である横浜学院最初の学生募集広告である。

この新聞は、一八九〇（明治二十三年）、『横浜貿易新聞』と題し、横浜貿易商組合の機関紙として創刊された。一九〇四（明治三十七）年、実業紙から一般紙へ転換し、一九〇六（明治三十九）年十二月三日、二千号を機会に『横浜貿易新報』と改題した。この当日の紙面は四〇頁の大冊であったという。全盛期の『横浜貿易新報』の神奈川県下占有率は七十五%を占め、地方紙では『福岡日日新聞（のち西日本新聞）』と並ぶ最有力紙であった。与謝野晶子が展開した婦人問題を軸とする多彩な評論記事は、世論のリードを地域から形づくったものとして評価された。また、「横浜文壇三羽鳥」による「日曜文壇」や文芸欄でふるわれていた様々な健筆は、横浜文化の育成に大きな役割を果たしたといわれている。



▲写真①横浜学院最初の学生募集広告（1928年3月28日付）

る。

本学はじめての学生募集広告は、こうした新聞にひっそりと掲載された。「入学資格」を見ると、女子の修学機会が限定されていたこのころ、「男、女共」に進路を開いていたことは興味深い。ただ、実際に女子が入学したのかは不明である。横浜学院は各種学校であったが、「正科」の入学資格が「中等学校卒業者」とされていたのは、専門学校への移行が予定されていたからである。横浜学院開設の翌一九二九（昭和四）年、横浜学院は専門学校令に基づく横浜専門学校となった。周知の通り、戦前の横浜専門学校は、男子に「高等ノ學術技芸ヲ教授スル学校」であったから、女子への教育はまぼろしとなった。しかしこの資料は学校設立にあたった様々な想いを伝えているのかもしれない。

『横浜貿易新報』には数多くの横浜専門学校に係わる記事が掲載されている。横浜学院と同じように横浜専門学校として最初の学生募集広告が掲載されたのももちろん、その四ヶ月後には、「横浜夏季大学」（一九二九年七月三十一日付）開催の記事がおどった。これは横浜専門学校主催で、夏の一週間、横浜貿易新報社講堂にて開かれた公開講座である。本学はじめての社会教育・生涯学習活動といえるであろう。本誌第61・62号（神大の歴史34・36）で紹介した横専祭や運動

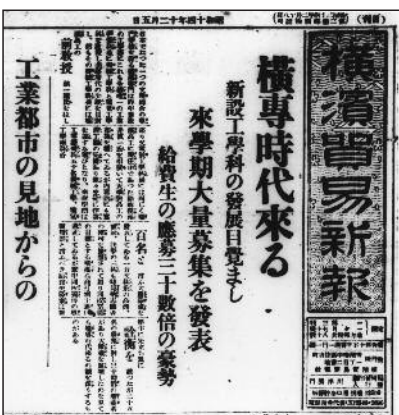
会といった催しも、新聞を通して市民の関心を引いた。横専祭の目玉行事である

仮装提灯行列は、六角橋から伊勢佐木町まで行進し「蜿蜒たる火龍は市民を喜ばす」と伝えている（一九三一年五月十五日付）。「ハマの早慶戦」といえば、横浜高等商業学校と横浜高等工業学校（ともに現横浜国立大学）の野球定期戦であったが、これに対抗するのが横浜専門学校とY専（横浜商業専門学校・現横浜国立大学）のものであったという（一九三四年四月二十七日付）。横浜の高等教育機関としては新興であった両校の野球定期戦は、「浜の野球ファンを興奮の坩堝へ」誘い、「高商、高工の定期戦とともにハマの人気を二分」と市民の熱狂ぶりを伝えている（一九三四年五月八日付）。ところで、先に述べた「日曜文壇」は横浜貿易新報社長に転じた三宅磐の企画画であった。東京日日新聞経済部長などを歴任した三宅は、社長兼主筆に就任し社業の隆盛に貢献した。その三宅は、本誌第57号（神大の歴史26）で紹介した本学給費生制度の創設期、その給費母体となった「横浜専門学校奨学会」のメンバーをつとめている。奨学会は横浜専門学校の後援会的な組織であり、横浜専門学校と『横浜貿易新報』のつながりは紙上だけではなかったのである。

一九三九（昭和十四）年十二月五日、この日の『横浜貿易新報』で驚くことが

起きた。小さな学生募集広告からはじまった本学の記事が一面を飾ることになったのである【写真②】。「横専時代来る」との見出しで綴られたその記事は、工業技術者の養成が急務だった時代、同年に開設した工学系の三学科（機械工学科・電気工学科・工業経営科）を紹介し、「文理」が整った横浜専門学校の状況と給費生募集に多くの応募があったことを伝えている。本学の給費生はこの当時に大変珍しいもので、卒業後などに特別な服務義務を課されないことから「特給費学校」として唯一、知られていた（『全国上級学校大観』欧文社、一九三八年）。記事からは、工業教育に寄せる期待と、給費生募集が受験生の注目を集めるものであったことが分かる。

横浜専門学校のあゆみとともに掲載される記事も多彩となった。『横浜貿易新報』は横浜専門学校の歴史を知る貴重な資料である。（也）



▲写真②横浜貿易新報一面に掲載される本学の記事

# 神大の歴史 45

## 「森キャン」と商工研究会

現在本学では、正課科目としての国内インターシップ、また二〇〇八（平成二十）年度からスタートした海外インターシップの機会を設け、多くの学生が企業や自治体で職業体験をしている。

実際の職場で多くを学ぶことができる職業体験は、神奈川大学の前身・横浜専門学校においても、市内の百貨店などで行われていた。その中でも、学生たちが特に積極的に関わった「森永キャンデーストア」と商工研究会の事例をみてみよう。

森永キャンデーストアは、森永製菓株式会社がかつて展開したレストラン・菓子店である。一九二二（大正十二）年に東京の丸ビルで開店したのが始まりで、翌年には直営チェーン店を横浜の伊勢佐木町一丁目目を開店、以後各地に展開していった。

横浜専門学校生にとって森永キャンデーストアは、「森キャン」という通称で親しみ、同じ伊勢佐木町の「不二家」などと並んで利用する店であった。一九四〇（昭和十五）年の卒業生によると、不二家や森キャンは「定食（今の帝国ホテル並み）にビールでのクラス会が一円から一円五十銭くらい」（喫茶店のコーヒーは一杯五銭から十銭）だったという（上羽勝夫「横専の思い出」『宮陵』第二九号、一九八〇年三月）。普段使いではなく、ちょっと特別な会食に使う店だ

ったようである。しかしそれに留まらず、より深い関係を築いた学生たちもいた。

一九三一（昭和六）年の夏、横浜専門学校校友会の一つである商工研究会は、森永と特約を結んで、千葉県北条海岸の海水浴場で菓子の販売や喫茶部の営業をする「森永キャンデー学生売店」（のち「森永キヤム（ン）プストア」）を出店。設置・経営・調理・サービスも全て会員の学生たちの手でおこなった（『横浜専門学校学報』第六号、一九三一年七月十日付）。こうした成果を活かしてか、同会は翌一九三二年五月の横専祭では学内で「森キャン出張所」を開き、「オールバックヒゲ面のウエイトレスの親切さ、愛嬌の好さよ」と評された（『横専学報』第十三号、一九三二年五月二十五日付）。当時学校には男子学生しかいなかったから、愛嬌のよい「ウエイトレス」も実際はもちろん全員「ウエイター」である。

商工研究会の中心となったのは高等商業科と貿易科の学生で、新入会員の歓迎会は伊勢佐木町の「森キャン」で行なわれ、夏の売店経営に備えて、六月頃には同店で実習を積んだ。売店の打ち上げ会場もまた、「森キャン」であった。（商工研究会会誌「新況」第四号、一九三八年十二月）。

商工研究会の売店経営はその後も続

き、一九三五（昭和十）年の夏は都合により中止となったが、翌年には場所を神奈川県葉山の森戸海岸に移して再開された。ここでは同研究会会員が設計装飾した二十四坪の「殿堂」を建て、「浜の人氣を独占しよう」と意気込んでいたという（『横専学報』五四号、一九三六年七月十五日付）。

その人気や経営内容は実のところ上々だったようで、一九三九（昭和十四）年の秋には、森永本社から商工研究会に成果を認める賞状が贈られている。また、翌一九四〇年時点には森永の「キヤムプストア」経営は横浜専門学校だけでなく大学・専門学校十数校の参加があったようだが、この年森永本社で開催された講習審査で横浜専門学校は慶應大学産業界研究会に次ぐ二位を獲得した。これを受け

て会員は、来年こそは一位を二期していた（『横専学報』第九五号、一九四〇年九月三〇日付）。

しかし既に戦時体制下であり、売店経営に必要な米や砂糖、木炭などの不足はもちろん、販売する菓子など商品の調達も困難になりつつあり、開催趣旨や報告にも、当初はなかった「身体の鍛錬」を掲げるようになっていた。研究会のOBも幾人かは戦線にあった（同前他）。

一九四一（昭和十六）年、「学園翼賛新体制」として校友会が「報国団」に改編され、商工研究会は広告研究会と合併して「商学研究班」となった。その年のスケジュールに葉山での売店経営も挙がっているが、これ以降の記録は見つかっておらず、活動を継続できたのかどうかは不明である。（J）



### 海の人気者

### 葉山・森永學生

### キャンプストアー

お嬢様はキャンプストアがお好き  
森永學生キャンプストアは？  
毎夏灼熱の海濱の砂上に涼風を呼んで避暑客を遊ばせる喫茶店、遠くたる近代感に浸潤たる新鮮さと青春のエッセンスを加へた。カ、ツチヤンがサービスする。と云ふので何處の海岸でも素晴らしい人氣の中心地である。  
さて上の寫眞の如く我が商工研究会は葉山森戸海岸にキャンプストアを建設七月十四日より八月廿八日まで、要配人員コック兼ボーイ兼何々の多忙な四十餘日を過ぎ平素流石な極のつゝある學理を實地に應用研究、専ら機軸スピリットを發揮して素晴らしい好成績を収めた……と一寸お知らせまで。

▲『横専学報』第65号（1937年9月25日付）

# 平成29年度正味財産増減予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目           | 29年度予算額      | 28年度予算額      | 増減           |
|---------------|--------------|--------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部  |              |              |              |
| 1.経常増減の部      |              |              |              |
| (1)経常収益       |              |              |              |
| ①財産運用益        | 3,000        | 6,000        | △ 3,000      |
| 基本財産受取利息      | 1,000        | 1,000        | 0            |
| 特定資産受取利息      | 2,000        | 5,000        | △ 3,000      |
| ②受取会費         | 116,090,000  | 116,090,000  | 0            |
| 正会員会費         | 6,090,000    | 6,090,000    | 0            |
| 準会員会費         | 110,000,000  | 110,000,000  | 0            |
| ③雑収益          | 350,000      | 405,000      | △ 55,000     |
| 受取利息          | 10,000       | 45,000       | △ 35,000     |
| 雑収益           | 340,000      | 360,000      | △ 20,000     |
| 経常収益計         | 116,443,000  | 116,501,000  | △ 58,000     |
| (2)経常費用       |              |              |              |
| ①事業費          |              |              |              |
| 給料手当          | 7,740,000    | 5,880,000    | 1,860,000    |
| 福利厚生費         | 1,400,000    | 1,100,000    | 300,000      |
| 会議費           | 1,387,000    | 942,000      | 445,000      |
| 旅交通費          | 9,500,000    | 6,480,000    | 3,020,000    |
| 通信運搬費         | 35,054,000   | 41,204,000   | △ 6,150,000  |
| 消耗品費          | 1,682,000    | 1,847,000    | △ 165,000    |
| 印刷製本費         | 8,138,000    | 9,437,000    | △ 1,299,000  |
| 慶弔交際費         | 2,120,000    | 2,120,000    | 0            |
| 賃借料           | 246,000      | 246,000      | 0            |
| 諸謝金           | 510,000      | 710,000      | △ 200,000    |
| 支払負担金         | 6,400,000    | 7,500,000    | △ 1,100,000  |
| 支払助成金         | 12,350,000   | 13,050,000   | △ 700,000    |
| 支払寄付金         | 21,000,000   | 29,000,000   | △ 8,000,000  |
| 給付奨学金         | 20,000,000   | 20,000,000   | 0            |
| 委託費           | 2,200,000    | 2,700,000    | △ 500,000    |
| 雑費            | 140,000      | 100,000      | 40,000       |
| 事業費計          | 129,867,000  | 142,316,000  | △ 12,449,000 |
| ②管理費          |              |              |              |
| 給料手当          | 7,740,000    | 5,880,000    | 1,860,000    |
| 臨時雇用賃金        | 200,000      | 3,000,000    | △ 2,800,000  |
| 福利厚生費         | 1,400,000    | 1,100,000    | 300,000      |
| 会議費           | 2,360,000    | 2,360,000    | 0            |
| 旅交通費          | 3,850,000    | 3,500,000    | 350,000      |
| 通信運搬費         | 1,275,000    | 1,290,000    | △ 15,000     |
| 消耗什器備品費       | 200,000      | 200,000      | 0            |
| 消耗品費          | 670,000      | 740,000      | △ 70,000     |
| 印刷製本費         | 1,430,000    | 1,130,000    | 300,000      |
| 慶弔交際費         | 1,800,000    | 1,300,000    | 500,000      |
| 賃借料           | 246,000      | 246,000      | 0            |
| 保険料           | 300,000      | 0            | 300,000      |
| 諸謝金           | 0            | 35,000       | △ 35,000     |
| 委託費           | 3,642,000    | 3,642,000    | 0            |
| 雑費            | 830,000      | 400,000      | 430,000      |
| 管理費計          | 25,943,000   | 24,823,000   | 1,120,000    |
| 経常費用計         | 155,810,000  | 167,139,000  | △ 11,329,000 |
| 当期経常増減額       | △ 39,367,000 | △ 50,638,000 | 11,271,000   |
| 2.経常外増減の部     |              |              |              |
| (1)経常外収益      |              |              |              |
| 経常外収益計        |              |              |              |
| (2)経常外費用      |              |              |              |
| 経常外費用計        |              |              |              |
| 当期経常外増減額      |              |              |              |
| 当期一般正味財産増減額   | △ 39,367,000 | △ 50,638,000 | 11,271,000   |
| 一般正味財産期首残高    | 296,138,466  | 346,776,466  | △ 50,638,000 |
| 一般正味財産期末残高    | 256,771,466  | 296,138,466  | △ 39,367,000 |
| II 指定正味財産増減の部 |              |              |              |
| ①受取寄付金        |              |              |              |
| 受取寄付金         |              |              |              |
| 当期指定正味財産増減額   |              |              |              |
| 指定正味財産期首残高    |              |              |              |
| 指定正味財産期末残高    |              |              |              |
| III 正味財産期末残高  | 256,771,466  | 296,138,466  | △ 39,367,000 |

# 宮陵会だより

平成29年度事業計画  
正味財産増減予算書  
収支予算書  
理事会開催状況  
定時総会  
監査

女性会員のつどい  
各種委員会開催状況  
地域組織総会等開催状況  
その他卒業生の集い  
新規設立地域組織  
設置承認取り消し地域組織

新地域組織代表者  
表彰者  
叙勲  
計報  
本部理事会開催予定  
教育研究奨励助成金採用者  
給付奨学生採用者

## 平成29年度 事業計画・予算書

- 平成29年度事業計画
- I. 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事業
1. 会員相互の情報共有のための事業
    - (1) 会誌「宮陵」第66号の発行。「宮陵会報」第104号・第105号の発行、他広報事業
    - 会誌は正会員のみ、会報は住所判明者へ送付予定
    - 会員相互の連携を深めるための事業
  2. 平成29年10月7日(土) 全国地域組織代表者会議の開催
  - (2) 地域組織の活動に対する支援、助成
  - ①イ. 地域組織総会出席
- II. 事業費
1. 出張者交通費
  - ハ. 資料発送等通信費
  - ②イ. 地域組織総会通信費助成(職域、同期・同好を除く)
  - ロ. 地域組織設立周年行事経費の助成
  - ハ. 女性会員地域組織総会参加費助成(職域、同期・同好を除く)
  - ニ. 準会員地域組織総会参加費助成(職域を除く)
  - ③地域組織のホームページ新設支援と情報ネットワークの構築推進
  - 業務委託業者の見直し、並びに新規立上げの追加募集及び運営のバックアップ
  - (3) ブロック会への支援
- III. 経常外増減の部
1. ブロック会開催時の案内発送等の支援
  - ② ブロック会開催地域組織の経費助成
  - ③ ブロック内参加地域組織の旅交通費の助成
  3. 組織の設立・再建等の支援
    - (1) 新たな地域組織の設立や休眠状態にある組織の再建を支援するとともに、実情に即した設置承認取消しの可能性を検討
    4. 準会員(在学生)に対する宮陵会広報活動の強化
    - (1) 就職ガイダンス等の大学主催の事業において準会員(在学生)の宮陵会認知度向上を図るための説明会の実施
    - (2) 大学の共通教養科目の授業のなかで(社)神奈川大学宮陵会の歴史等について講義
  5. 新入生(準会員)への記念品贈呈
  6. その他目的達成に必要な事業
    - I. 神奈川大学の進展と維持に必要な事業
    1. 神奈川大学教育振興事業
    - (1) 神奈川大学事業協賛寄付等
    - ① ホームカミングデーへの協賛等
    - ② 卒業祝賀行事の共催
    - (2) 神奈川大学在学生課外活動等支援事業
      - ① 学生課外活動助成金
      - ② 学生課外活動助成金
      - ③ 学生課外活動助成金
      - ④ 学生課外活動助成金
      - ⑤ 学生課外活動助成金
      - ⑥ 学生課外活動助成金
      - ⑦ 学生課外活動助成金
    - ⑧ 学生課外活動助成金
    - ⑨ 学生課外活動助成金
    - ⑩ 学生課外活動助成金
    - ⑪ 学生課外活動助成金
    - ⑫ 学生課外活動助成金
    - ⑬ 学生課外活動助成金
    - ⑭ 学生課外活動助成金
    - ⑮ 学生課外活動助成金
    - ⑯ 学生課外活動助成金
    - ⑰ 学生課外活動助成金
    - ⑱ 学生課外活動助成金
    - ⑲ 学生課外活動助成金
    - ⑳ 学生課外活動助成金
    - ㉑ 学生課外活動助成金
    - ㉒ 学生課外活動助成金
    - ㉓ 学生課外活動助成金
    - ㉔ 学生課外活動助成金
    - ㉕ 学生課外活動助成金
    - ㉖ 学生課外活動助成金
    - ㉗ 学生課外活動助成金
    - ㉘ 学生課外活動助成金
    - ㉙ 学生課外活動助成金
    - ㉚ 学生課外活動助成金
    - ㉛ 学生課外活動助成金
    - ㉜ 学生課外活動助成金
    - ㉝ 学生課外活動助成金
    - ㉞ 学生課外活動助成金
    - ㉟ 学生課外活動助成金
    - ㊱ 学生課外活動助成金
    - ㊲ 学生課外活動助成金
    - ㊳ 学生課外活動助成金
    - ㊴ 学生課外活動助成金
    - ㊵ 学生課外活動助成金
    - ㊶ 学生課外活動助成金
    - ㊷ 学生課外活動助成金
    - ㊸ 学生課外活動助成金
    - ㊹ 学生課外活動助成金
    - ㊺ 学生課外活動助成金
  - II. 神奈川大学の進歩と維持に必要な事業
    - ① 給付奨学金
    - ② 課外活動援助金
    - (4) 学校法人神奈川大学「米田吉盛教育奨学金」募金への指定寄付
    - (5) 神奈川大学教育研究奨励助成事業
    - (6) 神奈川大学「神大スポーツ・文化振興奨励助成金」募金への指定寄付
    - (7) 学校法人神奈川大学総務部校友課との連携
    - (8) 学校法人神奈川大学「経済的困窮者対象 大学院生 学業成績優秀者対象 特別給付奨学金(課外活動支援特別給付金)」



# 平成29年度収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目               | 29年度予算額       | 28年度予算額       | 増減           |
|-------------------|---------------|---------------|--------------|
| I 事業活動収支の部        |               |               |              |
| 1.事業活動収入          |               |               |              |
| ①財産運用収入           | 3,000         | 6,000         | △ 3,000      |
| ②会費収入             | 116,090,000   | 116,090,000   | 0            |
| 正会員会費収入           | 6,090,000     | 6,090,000     | 0            |
| 準会員会費収入           | 110,000,000   | 110,000,000   | 0            |
| ③奨学金貸付金回収収入       | 3,000,000     | 4,000,000     | △ 1,000,000  |
| ④雑収入              | 350,000       | 405,000       | △ 55,000     |
| 事業活動収入計           | 119,443,000   | 120,501,000   | △ 1,058,000  |
| 2.事業活動支出          |               |               |              |
| ①事業費支出            | 129,867,000   | 142,316,000   | △ 12,449,000 |
| 給 料 手 当 支 出       | 7,740,000     | 5,880,000     | 1,860,000    |
| 福 利 厚 生 費 支 出     | 1,400,000     | 1,100,000     | 300,000      |
| 会 議 費 支 出         | 1,387,000     | 942,000       | 445,000      |
| 旅 費 交 通 費 支 出     | 9,500,000     | 6,480,000     | 3,020,000    |
| 通 信 運 搬 費 支 出     | 35,054,000    | 41,204,000    | △ 6,150,000  |
| 消 耗 品 費 支 出       | 1,682,000     | 1,847,000     | △ 165,000    |
| 印 刷 製 本 費 支 出     | 8,138,000     | 9,437,000     | △ 1,299,000  |
| 慶 弔 費 支 出         | 2,120,000     | 2,120,000     | 0            |
| 賃 借 料 支 出         | 246,000       | 246,000       | 0            |
| 諸 謝 金             | 510,000       | 710,000       | △ 200,000    |
| 支 払 負 担 金         | 6,400,000     | 7,500,000     | △ 1,100,000  |
| 支 払 助 成 金         | 12,350,000    | 13,050,000    | △ 700,000    |
| 支 払 寄 付 金         | 21,000,000    | 29,000,000    | △ 8,000,000  |
| 給 付 奨 学 金         | 20,000,000    | 20,000,000    | 0            |
| 委 託 費 支 出         | 2,200,000     | 2,700,000     | △ 500,000    |
| 雑 支 出             | 140,000       | 100,000       | 40,000       |
| ②奨学金貸付金支出         | 0             | 10,000,000    | △ 10,000,000 |
| ③管 理 費 支 出        | 25,943,000    | 24,823,000    | 1,120,000    |
| 給 料 手 当 支 出       | 7,740,000     | 5,880,000     | 1,860,000    |
| 臨 時 雇 用 賃 金 支 出   | 200,000       | 3,000,000     | △ 2,800,000  |
| 福 利 厚 生 費 支 出     | 1,400,000     | 1,100,000     | 300,000      |
| 会 議 費 支 出         | 2,360,000     | 2,360,000     | 0            |
| 旅 費 交 通 費 支 出     | 3,850,000     | 3,500,000     | 350,000      |
| 通 信 運 搬 費 支 出     | 1,275,000     | 1,290,000     | △ 15,000     |
| 消 耗 什 器 備 品 費 支 出 | 200,000       | 200,000       | 0            |
| 消 耗 品 費 支 出       | 670,000       | 740,000       | △ 70,000     |
| 印 刷 製 本 費 支 出     | 1,430,000     | 1,130,000     | 300,000      |
| 慶 弔 費 支 出         | 1,800,000     | 1,300,000     | 500,000      |
| 賃 借 料 支 出         | 246,000       | 246,000       | 0            |
| 保 険 料             | 300,000       | 0             | 300,000      |
| 諸 謝 金             | 0             | 35,000        | △ 35,000     |
| 委 託 費 支 出         | 3,642,000     | 3,642,000     | 0            |
| 雑 支 出             | 830,000       | 400,000       | 430,000      |
| 事業活動支出計           | 155,810,000   | 177,139,000   | △ 21,329,000 |
| 事業活動収支差額          | △ 36,367,000  | △ 56,638,000  | 20,271,000   |
| II 投資活動収支の部       |               |               |              |
| 1.投資活動収入          |               |               |              |
| ①特定資産取崩収入         | 0             | 30,781,000    | △ 30,781,000 |
| ②貸付金増加額           | 0             | 6,000,000     | △ 6,000,000  |
| 投資活動収入計           | 0             | 36,781,000    | △ 36,781,000 |
| 2.投資活動支出          |               |               |              |
| ①貸付金減少額           | 3,000,000     | 0             | 3,000,000    |
| 投資活動支出計           | 3,000,000     | 0             | 3,000,000    |
| 投資活動収支差額          | △ 3,000,000   | 36,781,000    | △ 39,781,000 |
| III 予備費支出         |               |               |              |
| 予備費支出             | 246,761,242   | 286,128,242   | △ 39,367,000 |
| 当期収支差額            | △ 286,128,242 | △ 305,985,242 | 19,857,000   |
| 前期繰越収支差額          | 286,128,242   | 305,985,242   | △ 19,857,000 |
| 次期繰越収支差額          |               |               |              |

## 3. 貸与奨学金 貸与の停止

大学制定の給付型奨学金制度が充実してきたことにより、平成29年4月1日より貸与奨学金の貸与を停止（貸付金回収業務は継続）

## III 本部関係 法人会議

(1)平成29年度定時総会の開催

平成29年6月10日(土)

(2)理事会の開催  
年6回以上(5月、6月、7月、9月、11月、2月、3月を予定)

(3)各種常任委員会の開催  
(総務財政、組織、広報、事業、女性)

(4)特別委員会の開催  
イ. 会館建設特別委員会  
〔平成27年度からの継続〕

ロ. 設立80周年記念事業

## 特別委員会〔平成28年度からの継続〕

(5)その他委員会の開催  
代議員・役員選挙管理委員会  
役員候補者推薦委員会

## 2. 役員選挙の実施

平成29・30年度役員選出の選挙実施

## 3. 財政基盤の確立

(1)会費納入の促進  
(2)貸与奨学金回収業務の強化(大学との連携)〔平成28年度から継続〕

## 4. 事務局体制の強化

(1)嘱託職員1名増員  
(2)学校法人神奈川大学総務部校友課との協力

その他  
(1)「神奈川大学校友VISAカード」新規募集の一時停止

・平成29年4月1日より

## 員募集を一時停止

・本会との契約(カード利用手数料、代金収納事務委託契約)及び現会員に対する現行サービスは継続(提携サービスの利用、カードの更新等)

## 理事会開催状況

●平成28年5月13日(金) 議案

1. 平成27年度事業報告及び決算に関する件  
2. 平成28年度補正予算に関する件

●平成28年12月9日(金) 議案

1. 役員の数に関する件  
2. 地域組織設置の承認に関する件

●平成28年7月15日(金) 議案

1. 代議員候補者推薦委員会委員の任命に関する件

## 1. 平成28年度教育研究奨励助成金募集要領に関する件

2. 委員会委員の交代に関する件

●平成28年9月9日(金) 議案

1. 公益目的支出計画 特定寄附における使途内容変更に関する件  
2. 平成28年度教育研究奨励助成金採用者に関する件

●平成28年10月14日(金) 議案

1. 「神奈川大学校友VISAカード」新規募集停止に関する件

●平成28年12月9日(金) 議案

1. 役員の数に関する件  
2. 地域組織設置の承認に関する件

●平成29年2月4日(土) 議案

1. 代議員候補者推薦委員会委員の任命に関する件

## 1. 役員候補者推薦委員会委員の任命に関する件

2. 表彰委員会委員の交代に関する件

●平成29年3月4日(土) 議案

1. 平成29年度定時総会の開催に関する件  
2. 貸与奨学金の貸与停止に関する件

●平成29年3月4日(土) 議案

1. 平成29年度定時総会の開催に関する件  
2. 貸与奨学金の貸与停止に関する件

●平成29年3月4日(土) 議案

1. 平成29年度定時総会の開催に関する件  
2. 貸与奨学金の貸与停止に関する件

●平成29年3月25日(土) 議案

1. 平成29年度定時総会の開催に関する件

## 6. 設立80周年記念事業に関する件

7. 職員の採用に関する件

●平成29年3月25日(土) 議案

8. 平成29年度事業計画及び収支予算に関する件  
9. 「一般社団法人神奈川大学宮陵会地域組織の設置等に関する取扱規程」の制定に関する件

●平成29年3月25日(土) 議案

9. 「一般社団法人神奈川大学宮陵会地域組織の設置等に関する取扱規程」の制定に関する件  
10. 「一般社団法人神奈川大学宮陵会地域組織の設置等に関する取扱規程第7条第2項に関する取扱要領」の制定に関する件

●平成29年3月25日(土) 議案

10. 「一般社団法人神奈川大学宮陵会地域組織活動助成金取扱規程」の改正に関する件  
11. 「一般社団法人神奈川大学宮陵会吊慰規程」の改正に関する件

●平成29年3月25日(土) 議案

11. 「一般社団法人神奈川大学宮陵会吊慰規程」の改正に関する件

1. 「一般社団法人神奈川大学 宮陵会地域組織活動助成金取扱規程」の改正に関する件
2. 事務長取扱の業務委託契約満了に関する件
3. 「一般社団法人神奈川大学 宮陵会地域組織の設置等に関する取扱規程」に基づく地域組織承認取り消しに関する件
4. 「一般社団法人神奈川大学 宮陵会会員規程」の改正に関する件

**定時総会**

- 平成28年6月4日(土) 議案
- 1. 平成27年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の決算承認の件

**監査**

- 平成28年4月22日(金) 平成28年4月25日(月) 平成27年度監査

**女性会員のつどい**

- 平成28年8月20日(土) フレンチを楽しむランチ交流会(東海地区・静岡東部宮陵会)
- 平成28年11月23日(水・祝日) 女性目線による、身を守る防災講習&フレンチランチ交流会(京浜地区)

**各種委員会開催状況**

- 平成28年 4月8日 広報委員会 19日 表彰委員会 事業委員会

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 20日   | 総務財政委員会                      |
| 21日   | 女性委員会                        |
| 5月6日  | 会館建設特別委員会                    |
| 13日   | 広報委員会                        |
| 25日   | 女性委員会(教育事業委員会(教育研究奨励助成金報告会)) |
| 6月7日  | 女性委員会                        |
| 21日   | 代議員選挙管理委員会                   |
| 22日   | 組織委員会                        |
| 27日   | 事業委員会                        |
| 28日   | 広報委員会                        |
| 7月1日  | 代議員選挙管理委員会                   |
| 8日    | 会館建設特別委員会                    |
| 15日   | 組織委員会                        |
| 19日   | 代議員候補者推薦委員会                  |
| 20日   | 女性委員会                        |
| 8月24日 | 代議員候補者推薦委員会                  |
| 25日   | 組織委員会                        |
| 31日   | 事業委員会                        |
| 9月9日  | 組織委員会                        |
| 12日   | 広報委員会                        |
| 21日   | 代議員候補者推薦委員会                  |
| 30日   | 事業委員会(教育研究奨励助成金採用証交付式)       |
| 10月4日 | 組織委員会                        |
| 6日    | 代議員選挙管理委員会                   |
| 14日   | 組織委員会                        |
| 19日   | 広報委員会 代議員候補者推薦委員会            |

**地域組織総会等開催状況**

- 平成28年 4月16日 戸塚・栄区総会 港南区総会 ラグビー部OB会
- 5月14日 横浜北総会 津久井総会 札幌総会 秋田県総会 秦野市総会 苫小牧総会 陸上競技部OB会
- 6月4日 栃木県総会 神奈川大学学内総会
- 11日 岡山県総会 南足柄総会 写真研究部OB会

|     |                                   |
|-----|-----------------------------------|
| 18日 | 総会 大阪府総会 和歌山県総会 保土ヶ谷・旭区総会         |
| 19日 | 愛媛県宇和島地区会 京滋総会 三浦半島総会 箱根町総会       |
| 20日 | 愛知みやも会総会 空手部OB会総会 秋田県鹿角地区会        |
| 25日 | 学土山岳会総会 中国ブロック会 鳥取伯耆総会            |
| 26日 | 群馬県総会 群馬東毛総会 茨城県総会 会計人会総会         |
| 3日  | 北見総会                              |
| 5日  | バスケットボール部OB会総会 男子ラクロス部OB会総会       |
| 9日  | B会総会 福岡総会 三重県総会 山形県置賜地区会 山形県庄内地区会 |
| 16日 | 佐賀県総会 鳥取因幡総会 大分県総会                |
| 18日 | ヨット部OB会総会                         |
| 22日 | 北海道ブロック会 旭川総会 四国ブロック会 高知県総会       |
| 23日 | 静岡西部総会 奈良県総会 愛媛県大洲・喜多・八西地区会       |
| 24日 | 同学会大連総会 北海道ブロック会                  |
| 27日 | 北見総会                              |

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 2日    | 近畿ブロック会 京滋                         |
| 9日    | 西多摩総会 吹奏楽部OB会総会                    |
| 9日    | 三山路会総会                             |
| 22日   | 室蘭総会 山形県総会 千葉県総会                   |
| 29日   | 北陸ブロック会 富山県総会 神奈川県ブロック会            |
| 5日    | 横濱信用金庫総会 釧路総会 青森県総会                |
| 5日    | 新潟県総会 広島県総会 相模原総会                  |
| 12日   | レスリング部OB会総会 九州ブロック会 長崎 函館総会        |
| 13日   | 宮城県総会 社労士会総会 卓球部OB会総会              |
| 17日   | 硬式野球部OB会総会                         |
| 19日   | 総会 東北ブロック会 JFE総会                   |
| 26日   | 福島県総会 鹿児島県総会 鹿兒島県総会                |
| 12月1日 | 沖縄県総会 岩手県総会 北九州総会                  |
| 12月3日 | 宮崎県総会 神奈川地区総会 山形県庄内地区会 柔道部OB・OG会総会 |
| 7日    | 川本工業総会                             |

- 平成29年 1月3日 香川県総会 平塚市総会
- 25日 三進設立発起総会
- 28日 鳥根県総会
- 29日 三洋みやも会総会 磯子区総会 茅ヶ崎・寒川総会
- 2月17日 佐世保総会
- 19日 筑豊総会
- 25日 防長総会
- 3月4日 熊本県総会
- 5日 珊瑚の会総会
- 11日 埼玉県設立総会
- 18日 愛媛県総会
- 9日 クリエイトメディアック総会
- 10日 ボクシング部OB会総会
- 衣笠アサモアセミナール神湘会総会

**その他卒業生の集い**

- 平成28年 9月17日 山梨中央銀行宮陵会

**新規設立地域組織**

- 三進宮陵会
- 埼玉県宮陵会

**設置承認取り消し地域組織**

- 長野南信
- ニューヨーク会
- 東京大田連合会
- 横浜市役所
- 横浜市役所
- 川崎市役所
- 豊商會
- 東京電気管理技術者協会神大
- 京浜昭八
- 六士会
- 十六師走会

新地域組織代表者

函館宮陵会

46 経 杉崎 和紀

沖縄県宮陵会

52 建 阿佐慶正秀

珊瑚の会

35 法 宮井 行徳

写真研究部OB会

48 経 合沢 正純

表彰者

●功績表彰

本部関係

30 経 平 22 経 博前

狩野 七郎

(元会長・監事・理事・  
財政委員長)

●功労表彰

本部関係

40 応化 吉村 時子

(元副会長・理事)

41 法 橋本 正俊(元理事)

43 貿・平 22 経 博前

宇久田進治

(元専務理事・理事)

地域組織関係

37 貿 川口 秀男

(元福井県宮陵会会  
長)

38 経 片山 龍朗

(元佐世保宮陵会会  
長・事務局長)

40 工経 中川 眞澄

(元熊本県宮陵会会  
長・副会長・事務局長)

●感謝表彰

本部関係

50 法 和田 敏光(元理事)

地域組織関係

43 法 橋爪 修三

(北見宮陵会会長・元  
副会長)

44 建

高橋 智徳  
(元秋田県宮陵会会  
長・幹事)

39 応化

福原 勝

(元宮城県宮陵会副  
会長)

39 工経

井上 修一

(元宮城県宮陵会副  
会長)

34 機

桜田 寿一

(元茨城県宮陵会会  
長・水戸地区区長)

35 貿

徳島 敏弘

(元佐賀県宮陵会幹  
事長)

35 法

安達 俊昭

(元熊本県宮陵会副  
会長・理事)

38 電

富永 征男

(元熊本県宮陵会副  
会長・理事)

33 経

大川 英喜

(元戸塚・栄区宮陵会  
会長)

34 短電

桐生 忠一

(元相模原宮陵会会  
長)

34 経

菊池 則男

(元相模原宮陵会副  
会長)

24 機

岡田 輝茂

(元箱根町宮陵会会  
長)

36 貿

一戸 英輔

(元卓球部OB会会  
長・事務局長)

●特別表彰

人間科学部人間科学科3年

濱口 遥大

第64回全日本大学野球選手  
権大会 最優秀投手賞

第28回ユニバーシアード競  
技大会 優勝(日本代表)

経営学部国際経営学科2年

石川 拳大

第50回全日本サーフィン選  
手権大会 メンクラス 優勝

第44回春季全日本学生サー  
フィン選手権大会 メンク  
ラス 優勝

叙勲

春の叙勲

「瑞宝小綬章」受章

29 経 松下 武志

秋の叙勲

「旭日重光章」受章

44 法 齋藤 勁

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます

23 工経 松永 修三

元筑豊宮陵会会長

平成28年12月14日

今子 隆平

元一八会会長

平成29年1月16日

小坂谷 義夫

茅ヶ崎・寒川宮陵会  
会長 元理事

平成29年3月

本部理事会開催予定

●平成29年

5月19日(金)

6月10日(土)

7月14日(金)

9月15日(金)

11月17日(金)

●平成30年

2月3日(土)

3月3日(土)

3月24日(土)

# たしかな明日のお手伝い

《よこしん》では、地域の皆様の暮らしや事業のニーズに  
幅広くお応えして、さらに親しまれる金融機関を目指しています。

日々の業務を通じ、地域社会の発展に貢献できるよう  
努めてまいりますので、引き続きご愛顧願います。



 横浜信用金庫

URL: <http://www.yokoshin.co.jp>

〒231-8466 横浜市中区尾上町2丁目16番地1 TEL.045-651-1451(代表)

# 平成28年度 教育研究奨励助成金

| 採用者   | 研究課題  |
|---|---|
| 工学部<br>機械工学科<br>助教 鈴木 健児<br>(平5機・平7工博前)               | 「水圧用電磁比例流量調整弁の動特性向上を目的とした寸法最適化に関する研究」       |
| 経営学部<br>国際経営学科<br>特任助教 大関 由貴<br>(平11西)                | 「多文化理解促進を目指したキャンパスにおける対話の場の構築」              |
| 工学部<br>物質生命化学科<br>特別助教 齋藤 美和<br>(平17応化・平19工博前・平22工博後) | 「欠陥を導入した新奇プロトン伝導体の合成と評価」                    |
| 工学部<br>機械工学科<br>特別助教 加藤木秀章<br>(平19機・平21工博前)           | 「長期間吸水させたEV用炭素繊維/マレイン酸変性ポリプロピレンの界面せん断強度の評価」 |



## 平成28年度 一般社団法人神奈川大学宮陵会給付奨学生

### 給付奨学生

#### ■第1期

| 学部 | 学科      | 学年 | 氏名    |
|----|---------|----|-------|
| 法  | 法律      | 2年 | 中巻 星栄 |
| 経済 | 経済      | 4年 | 磯部 優里 |
| 経営 | 国際経営    | 3年 | 辻 良太郎 |
| 工  | 機械工     | 4年 | 小森優太郎 |
| 工  | 電気電子情報工 | 2年 | 大村 貴龍 |

#### ■第2期

| 学部 | 学科   | 学年 | 氏名    |
|----|------|----|-------|
| 経済 | 経済   | 4年 | 佐藤 直行 |
| 経営 | 国際経営 | 2年 | 木村 彩香 |

## 奨学金

### 大学院給付奨学生

| 研究科  | 専攻   | 課程   | 学年 | 氏名    |
|------|------|------|----|-------|
| 経済学  | 経済学  | 博士前期 | 1年 | 大友 智  |
| 人間科学 | 人間科学 | 博士前期 | 1年 | 村山 拓也 |
| 理学   | 情報科学 | 博士前期 | 2年 | 大月あゆみ |
| 理学   | 化学   | 博士前期 | 2年 | 猪狩 拓真 |
| 理学   | 理学   | 博士前期 | 1年 | 花塚 真史 |
| 理学   | 理学   | 博士前期 | 1年 | 小暮 純也 |
| 工学   | 機械工学 | 博士前期 | 1年 | 桐ヶ谷 怜 |
| 工学   | 機械工学 | 博士前期 | 1年 | 梶原滉一朗 |
| 工学   | 機械工学 | 博士前期 | 1年 | 山本 湧也 |
| 工学   | 機械工学 | 博士前期 | 2年 | 出口 巧真 |
| 工学   | 応用化学 | 博士前期 | 1年 | 小宮山海兵 |
| 工学   | 応用化学 | 博士前期 | 1年 | 千葉 裕介 |
| 工学   | 応用化学 | 博士前期 | 1年 | 石川 健太 |

### スポーツ課外活動支援特別奨学生

#### ■硬式野球部

| 学部  | 学科  | 学年 | 氏名    |
|-----|-----|----|-------|
| 法   | 法律  | 1年 | 出井 敏博 |
| 人間科 | 人間科 | 1年 | 松尾 健太 |

#### ■陸上競技部

| 学部  | 学科  | 学年 | 氏名    |
|-----|-----|----|-------|
| 人間科 | 人間科 | 1年 | 安藤 駿  |
| 人間科 | 人間科 | 1年 | 古和田 響 |

# 歴史と伝統を踏まえ 知の拠点として 更なる魅力あふれるキャンパスを!!

## 将来構想と創立100周年に向けた神奈川大学の取り組み

### 1 将来構想、第二期中期実行計画、中長期財政計画の策定

本法人は、将来構想第一期中期実行計画の成果をふまえ、2016年度～2021年度の6カ年にわたる「第二期中期実行計画」をとりまとめました。この中では、18歳人口の減少等大学を取り巻く社会的環境が厳しさを増すなか、「競争力を強化し、社会的ポジショニングを高め、魅力ある学園を構築する」ことを掲げ、学園の中期目標を基に、大学、附属学校両部門の中期目標を定め、大学、附属学校、基盤整備の各部門の中期実行計画を定めます。

学園の中期目標については、その一つとして「教育組織総合計画、教員組織総合計画、キャンパス総合計画を推進し、魅力ある学園を構築する」を掲げました。

このうち、「教育組織」については、創立100周年を見据え、「横浜」に創立された本学のこれまでの歴史と伝統を踏まえ、優秀な学生の確保、さらなるグローバル化の推進等さまざまな観点からの検討を行い、本学にもっともふさわしい競争力のある新たな教育組織の設置について、学長のもと構想を進めています。具体的には、国際文化日本学部（仮称）を2019年4月に開設することを目指し、設置に係る文部科学省への手続きに着手するとともに、後述の新たなキャンパスの開設に合わせたグローバル系学部の集約と

教育実施体制の検討を進めています。また、他の既存組織についても、教育組織や教員組織の再編を検討しています。

「キャンパス総合計画」については、横浜キャンパスマスタープランの優先順位を見直し、新国際学生寮（仮称）及び宮陵会館（仮称）の建設に着手する中、本法人の競争力を強化し、構想中の新たな学部をはじめとするグローバル系学部による教育及び研究を推進するため、本学発祥の地「横浜」のみなどみらい21地区に、新たなキャンパスを設置する構想を進めています。

### 2 キャンパス基本構想とその推進について

前述のキャンパス総合計画を策定し、推進するためには、本法人の「100年の計」である都市型のみならず、幅広いキャンパス構想及びそれに伴う本法人全体のキャンパス構想の基本方針を明確にするとともに、これらを実現するために必要なキャンパスの再配置・整備の方針、教育組織の集約・再編計画、横浜キャンパスマスタープランの見直し、財政シミュレーションに伴う財政計画・工程等を、順次策定していく必要があります。

法人全体のキャンパス構想の基本方針となる「キャンパス基本構想」については、2017年2月の理事会において承認されました。本基本構想は、学長のもとで進めている新学部等の設置、教育組織及び教員組織の総合計画

を含め、創立100周年に向け、法人・教学の連携のもと第二期中期実行計画を推進し、本学園の将来にわたる永続的發展と競争力のある魅力的な学園を創造するために、法人として、本法人のキャンパス構想の基本方針を示すものです。

キャンパス基本構想は、みなどみらいキャンパス構想を前提にした基本構想・方針であり、今後新たな時代にあふさわしいキャンパスのあり方について検討を進め、順次計画の具体化を進めるとともに、「知の拠点」としての役割を一層強化していきます。

### 3 おわりに

本法人が創立100周年に向け魅力ある学園であり続けるためには、将来構想第二期中期実行計画で掲げた諸施策について、法人・教学が一体となつて迅速に推進することが重要です。また、計画に掲げた諸施策を実現するためには、財政基盤の強化が不可欠であり、新学部及び新キャンパス設置に伴う資金計画を踏まえ、中長期財政計画を見直し、将来にわたって安定的な法人運営を目指します。

本法人は、これまでに卒業生の皆様方が築かれた歴史や伝統をもとに、常に輝いている母校であるために、教職員一同、これからも真摯に諸施策の推進に取り組んでまいります。

（神奈川大学経営政策部）

# 「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」寄付者ご芳名（敬称略）

平成二十八年二月一日〜平成二十九年二月二十八日現在

課外活動団体へのご支援を賜り誠にありがとうございました。  
 お受けいたしました寄付金は、ご指定の課外活動団体に回付し活用させていただいております。  
 校友の皆さまのご厚情に心より感謝申し上げます。

## ●アーチェリー部

大河内博夫 昭和57法  
 合計二件 六千円  
 小堀 信夫 昭和50法  
 清水 泰夫 昭和54経

## ●合気道部

合計二件 二万三千元  
 鈴木 正憲 昭和46経  
 匿名 一件

## ●アメリカンフットボール部

合計四件  
 二百四十二万五千元  
 神奈川大学アメリカンフット  
 ボール部OB会

安達 勝之 昭和59機修  
 大窪 淳仁 昭和51経  
 小林 和正 昭和37機

## ●応援指導部

合計九件 八万五千元  
 榎木田統治 昭和43経  
 萩野 聰 昭和43法  
 田村 勝義 昭和34寛  
 埴淵 正輝 特別会員  
 星野 晋 昭和53寛  
 本多 寛 平成3法  
 牧石 憲次 昭和44建  
 水野 博光 昭和49経  
 武笠 健次 昭和41法

## ●空手道部

合計八件 五万千元  
 阿蘇 司朗 昭和31電  
 阿部 清勝 昭和52電

宮嶋 和彰 昭和38工経  
 匿名 一件

大河内博夫 昭和57法  
 角田 新作 昭和33短商  
 水谷 智 昭和58寛  
 村橋 恒夫 昭和32電  
 山品 武 昭和31電  
 匿名 一件

## ●弓道部

合計五件 二万六千元  
 石塚 隆久 昭和42電  
 岡田 孝 昭和44経  
 戸ヶ崎 実 昭和37電  
 松坂 宏昭 昭和59寛  
 村山 義信 昭和43寛

## ●剣道部

合計九件  
 五万三千三百七十七円  
 朝枝 仁 昭和44法  
 加藤 岩雄 昭和38経  
 齋藤 武三 昭和34法  
 齋藤 学 平成23国経  
 高橋 征成 昭和37寛  
 登坂 重治 昭和29電  
 長谷川喜千 昭和38経  
 細田 雄司 平成元年寛  
 匿名 一件

## ●硬式庭球部

合計七件 三万三千元  
 内村 博隆 昭和50建  
 梅岡榮二郎 昭和37経  
 小沼 輝宏 昭和42法  
 坂元 真尚 昭和40経  
 高田 和明 昭和49機

## ●硬式野球部

合計四十七件  
 七十九万五千元  
 青木 勲 昭和35法  
 安達 勝之 昭和59機修  
 足立 祐一 平成24経  
 熱海 一男 昭和41機  
 荒瀬 康雄 昭和47英  
 石原 教臣 昭和41法  
 石原 稔 昭和53経  
 井手 国男 昭和34電  
 今野 昭 昭和38経  
 大門 悟朗 昭和31電  
 岡田 光一 昭和49応化  
 岡村 春庭 昭和43電  
 小川 稔 昭和45応化  
 鎌田 幸男 昭和31法  
 川内 文夫 昭和42経  
 川崎太三郎 昭和36法  
 河村 光美 昭和32機  
 菊地 正則 平成9短商  
 木村 靖志 昭和58寛  
 栗原 秀治 昭和53機  
 小嶋 寛 昭和56工経  
 小林 照男 昭和31経  
 今野 紀 昭和32電

高橋 弘 昭和29経  
 田中 敬藏 昭和54寛  
 田邊 信好 昭和34法  
 妻木 明仁 昭和57建  
 戸田 利治 昭和40経  
 西森 義博 昭和44英  
 平野 直伸 昭和55機  
 牧石 憲次 昭和44建  
 馬淵 史朗 昭和38経  
 丸山 潤治 昭和48経  
 宮嶋 和彰 昭和38工経  
 宮田 辰郎 昭和23経  
 武笠 健次 昭和41法  
 矢島 肇 昭和29寛  
 吉田 茂 昭和53経  
 若林 保 昭和47経  
 匿名 二件

## ●ゴルフ部

合計九件 五万円  
 新井 好幸 昭和31経  
 石渡 卓 昭和51寛  
 岩井 昭一 昭和46短商  
 菅野富士雄 昭和43法  
 西山 美一 昭和56経  
 松日榮英世 昭和35寛  
 宮嶋 和彰 昭和38工経  
 匿名 二件

## ●サッカー部

合計十九件 八万千元  
 五百川尚彦 平成6法  
 石渡 卓 昭和51寛  
 伊藤 薫 昭和54法  
 大石 光利 昭和48法

吉田 一憲 昭和32機  
 匿名 二件

## ●山岳部

合計八件 五万二千元  
 西條 豊明 昭和45機  
 杉本 憲昭 昭和38法  
 鈴木 忠仁 平成9国経  
 矢萩 清 昭和42寛  
 匿名 4件

## ●女子サッカー部

合計二十四件  
 二十四万千元  
 神奈川大学津久井宮陵会  
 飯田 千穂 昭和19電  
 五百川尚彦 平成6法  
 伊藤 稔弥 昭和27経  
 大竹 良一 昭和34経  
 大谷 豊司 昭和49法  
 花島 悠之 昭和39経  
 亀山 修一 昭和50英  
 小林 和正 昭和37機  
 芝田 正夫 昭和46応化  
 正一 恂 昭和37機  
 関川 広男 昭和47法  
 角田愛理奈 平成28国経  
 長嶋 幸生 昭和34経  
 成川 辰男 昭和55経  
 濱本 彰雄 昭和33経  
 松崎 孝一 昭和50経  
 元川 喜之 平成6寛  
 森 正美 平成元年法  
 山本 哲行 昭和35電  
 湯口 篤幸 昭和36寛

## ●水泳部

合計十三件 七万六千元  
 奥村 伴也 昭和23電  
 奥山 勇 昭和30経  
 狩野 七郎 平成22経博前  
 菅野 坦 昭和40電  
 立神 邦晴 昭和43応化  
 平沼 英均 昭和47電  
 真島 正夫 昭和34法  
 松永 晴夫 昭和18電  
 三島 千明 昭和46寛  
 村田 龍也 昭和39経  
 若林 保 昭和47経  
 匿名 一件

## ●柔道部

合計六件 三万四千元  
 井村 国彦 昭和42寛  
 工藤 重治 昭和28経  
 栗島 達也 昭和61寛  
 芳賀 英雄 昭和37経  
 比那 純 昭和44英  
 水谷 智 昭和58寛

## ●スキー部

合計三件 一万九千元  
 神奈川大学秋田県宮陵会  
 鹿角会  
 加藤 伸一 昭和49法  
 本多 正博 昭和52法

## ●スケート部

合計四件 四万五千元  
 神奈川大学千葉県宮陵会  
 大谷 豊司 昭和49法  
 菅野 坦 昭和40電  
 匿名 一件

## ●体操部

合計一件 一万円  
 鳥羽 良武 昭和48経

## ●卓球部

合計九件 六万八千元  
 一戸 英輔 昭和36寛  
 大友 隆雄 昭和32経  
 小野沢恭英 昭和39電  
 柏倉 幸男 昭和37経  
 河田 郁夫 昭和42経  
 久保田 覚 昭和40工経  
 住谷 英世 昭和50経  
 松崎 孝一 昭和50経  
 匿名 一件

・課外活動団体毎に、ご芳名を五十音順に掲載いたしました。  
 ・ご芳名の公表を希望されていない方については掲載しておりません。  
 ・期間内にお申し込み、ご入金の確認ができました皆さまを掲載いたしました。  
 ・金融機関の処理事情等により確認が遅れた場合は、本誌次号の掲載となります。  
 ・すのびご了承ください。

●トライアスロン部  
合計一件 一万円  
高師健太郎 平成22法

●軟式庭球部

合計九件 七万円  
陸井 隆夫 昭和41経  
小島 重藏 昭和43賃  
杉村 隆士 昭和50法  
鈴木 喬 昭和32経  
鈴木 雄誠 昭和49英  
津田 純一 昭和48経  
原田 正巳 昭和56経  
匿名 二件

●軟式野球部

合計二件 一万五百円  
今野 昭 昭和38経  
福本 俊平 昭和30電

●男子バスケットボール部

合計七件 九万八千円  
阿蘇 司朗 昭和31電  
飯澤 莊平 昭和51法  
今寺 六蔵 昭和31経  
紺野 政弘 昭和39経  
篠原 孝範 昭和46電  
宮嶋 清明 昭和43経  
吉村 芳雄 昭和38機

●女子バスケットボール部

合計七件 三十二万円  
漆原 彰 昭和47経  
黒川沙由加 平成26国経  
紺野 政弘 昭和39経  
篠原 孝範 昭和46電  
平能 孝一 昭和48賃  
匿名 二件

●バドミントン部

合計三件 九千円  
松崎 孝一 昭和50経

匿名 二件

●女子バレーボール部

合計五件 二万二千元  
伊藤 啓三 昭和36電  
大森 郁子 昭和26経  
菅沼 正行 昭和56経  
本多 正博 昭和52法  
匿名 一件

●ハンドボール部

合計一件 五千元  
匿名 一件

●平塚軟式野球部

合計一件 三千元  
水野 貞 昭和34経

●ボクシング部

合計三件 一万八千円  
桑 昭 昭和41工経  
黒田 勲 昭和39経  
村上 一夫 昭和46経

●ポデイル部

合計二件 三万円  
木谷 健一 昭和47経  
清水 茂 昭和47応化

●ヨット部

合計二件 一万千円  
狩野 七郎 平成22経博前  
匿名 一件

●ラグビー部

合計七件 五万五千元  
岩永登志男 昭和54経  
岡 深也 昭和20経  
小柳 大輔 平成14経  
更谷 欣之 平成2法  
真下 研達 昭和27経  
山内 國昭 昭和39工経

山崎 博和 昭和50経

●男子ラクロス部

合計四件 二万九千元  
高橋 浩平 平成10経工  
平出 功 平成13化博前  
榎木 雄太 平成24経  
匿名 一件

●女子ラクロス部

合計一件 五千元  
平出 功 平成13化博前

●陸上競技部

合計四百九十一件  
三百六十九万九千六百円  
神奈川大学茨城県宮陵会  
神奈川大学千葉県宮陵会  
神奈川大学津久井宮陵会  
神奈川大学南足柄宮陵会  
神奈川大学崎県宮陵会  
神奈川大学和歌山県宮陵会  
神奈川大学電気三四会  
神奈川大学陸上競技部OB会  
九州ブロック学生会参加者一同  
北越銀行宮陵会  
相澤 克之 昭和61経  
相沢 清隆 昭和29経  
相田 晃輔 昭和60経  
青木 一雄 昭和46経  
青木 賢三 昭和51経  
赤津 敏彦 昭和43経  
朝倉 幹雄 昭和38応化  
浅野 博之 昭和43賃  
朝日 正幸 昭和52賃  
阿蘇 司朗 昭和31電  
安達 好春 昭和31電  
熱海 明彦 昭和50機  
熱海 一男 昭和41機  
天野 米次 昭和43工経  
荒井 良和 昭和30経  
新井 好幸 昭和31経

荒瀬 康雄 昭和47英

荒本 邦博 昭和51経

荒家 高志 昭和41経

有賀 弘明 昭和33法

飯田 千彦 昭和19電

五百川尚彦 平成6法

池田 信明 昭和32経

池田 好正 昭和44経

石井 一成 昭和57法

石井 初夫 昭和36経

石澤 清史 昭和51電

石原 教臣 昭和41法

石原 稔 昭和53経

石渡 卓 昭和51賃

市原 昭人 昭和23電

伊藤 薫 昭和54法

伊藤 忠房 昭和36経

伊藤 稔明 昭和36機

伊藤 紀男 昭和40経

伊藤 久 昭和35経

伊藤 栄明 昭和38経

井上 隆 昭和50経

井上 俊彦 昭和41工経

榎木田統治 昭和43経

海老澤栄一 昭和40賃

遠藤 徹 昭和36法

遠藤 徹 昭和39電

及川 拓雄 昭和43経

大井 弘寿 昭和55建

大石 勝義 昭和47経

大石 浩準 昭和44賃

大石 光利 昭和48法

大門 悟朗 昭和31電

大島 治 昭和33経

大竹 鷹夫 昭和41法

大竹 良一 昭和34経

大塚 誠 昭和53経

大森 郁子 昭和26経

岡田 光一 昭和49応化

岡田 哲雄 昭和48経

岡部 政都 昭和32機

岡村 春庭 昭和43電

小川 勇人 平成3賃

小川 稔 昭和45応化

荻野 聰 昭和43法

尾崎 宏孝 昭和44経

川口 静夫 昭和31経

川口 正寿 昭和41工経

川崎 太郎 昭和36法

川崎 常治 昭和41機

川島 健治 昭和49機

川瀬舜太郎 昭和34経

川名 茂 昭和37法

川西 栄一 昭和34賃

川畑 憲雄 昭和45経

川畑 博道 昭和34法

川村 多平 昭和43経

川村 正憲 平成18法

河村 光美 昭和32機

川本 健次 昭和61応化

菅野 賢一 昭和43経

菅野 精治 昭和32法

鬼海 賢一 昭和43賃

菊竹 尉 昭和43賃

菊地 辰郎 昭和35賃

菊地 政勝 昭和36賃

菊池 洋太 平成10電

北川 仁 平成元年法

北原 末松 昭和33賃

小泉 敏男 昭和42法

香西 正敏 昭和42賃

上妻 初生 昭和56賃

小柴 聡 昭和45法

小嶋 覚 昭和56工経

後藤 常次 昭和23機

後藤 文彦 昭和39賃

小沼 輝宏 昭和42法

小林 一雄 昭和37法

小堀 信夫 昭和50法

五味 稔 昭和54経

小山 文彦 昭和61機

今田 正紀 平成16経博前

近藤 範夫 昭和38経

近藤 真伸 平成16法

近藤 光夫 昭和49法

今野 博 昭和34経

齊木 功 昭和38賃

西條 豊明 昭和45機

齊須 徳男 昭和28短機

齊藤 孟 昭和34電

齋藤 義高 昭和48英

齋間 邦彦 昭和40経

島田 義久 昭和47経  
清水 泰夫 昭和54経  
志村雄二郎 昭和45応化  
正一 恂 昭和37機  
東海林 功 昭和46経  
白取 泰樹 昭和49法  
新崎 良幸 昭和48経  
進藤 守 昭和47買  
菅沼 正行 昭和56経  
須川 潤 昭和19工経  
菅原 功 昭和31経  
菅原 良治 昭和37経  
杉浦 達夫 昭和38工経  
杉浦 靖浩 昭和39工経  
杉崎 浅夫 昭和47法  
杉本 淳 昭和55経  
杉山 久一 昭和42法  
鈴木 勝平 平成元年経  
鈴木 金治 昭和29電  
鈴木清一郎 昭和31経  
鈴木 忠仁 平成9国経  
鈴木 龍男 昭和39電  
鈴木 信男 昭和59経  
鈴木 秀佳 平成19経  
鈴木 宏 昭和29経  
鈴木 文臣 昭和50電  
鈴木 昌巳 昭和56経  
鈴木 稔 昭和44経  
鈴木 正利 昭和37機  
須藤 和男 昭和45法  
須山 宣治 昭和43電  
清田 智也 平成7英  
清野 正美 昭和44応化  
関口 悟 昭和51経  
関口 正幸 昭和39経  
瀬戸 静雄 昭和46経  
平 航人 平成7法  
平良 東明 昭和34経  
高木 定夫 昭和48経  
高木征四郎 昭和36経  
高杉 茂一 昭和45機  
高瀬 海志 平成23国経

高田 亮治 昭和54英  
高場 則夫 昭和49経  
高橋 暁雄 平成15国経  
高橋 晃 昭和63応化  
高橋恵美子 平成10短商  
高橋 清 昭和40電  
高橋 昭二 昭和42工経  
高橋 哲男 昭和48法  
高橋 弘 昭和29経  
高橋 征成 昭和37買  
高橋 實 昭和46経  
高林 義富 昭和41機  
高見 久八 昭和50法  
瀧口 敏行 昭和38買  
武貞 建男 昭和23工経  
竹俣 裕 昭和58経  
田中 敬次 昭和46経  
田中 敬藏 昭和54買  
田中 幸雄 昭和27経  
田中 卓也 昭和41経  
田中 敏夫 昭和42経  
田中 豊 平成2経  
田邊 信好 昭和34法  
谷本富士宗 昭和39法  
玉井 廣道 昭和28法  
田村 晃佑 昭和39法  
田村 弘 昭和48法  
田村 清悦 昭和63経  
中元寺松男 昭和35買  
千葉 清悦 昭和63経  
橋本 典男 昭和28経  
橋本 達也 昭和56買  
橋本 喜一 昭和45買  
橋田 耕八 昭和28経  
野田 浩 昭和41機  
野田 忠典 昭和49経  
西山 美一 昭和56経  
西森 義博 昭和44英  
西村 猛 昭和62機  
西卷 義彦 昭和51法  
西原 茂明 昭和31買  
南保 裕 昭和51法  
成川 辰男 昭和55経  
夏秋 博隆 昭和48法  
長山 浩士 平成9経  
中本 唯史 昭和46法  
中村 敬道 昭和35買  
中村 耕三 昭和40法  
永野 克美 昭和48経  
中園 貢 昭和32法  
中島 靖明 平成18機博前  
中島 啓造 昭和43機  
中島 明 昭和36電  
中越 辰幸 昭和52法  
中川 果 昭和22工経

深山 嘉伸 昭和41応化  
福井 友春 昭和34経  
福内 瑞男 昭和40買  
福尾 和雄 昭和29短商  
福島 経夫 昭和32経  
福島 桂子 昭和63英  
福田 陽一 昭和56買  
福田 節雄 昭和30経  
福田 祐輔 昭和42買  
福原 勝 昭和39応化  
藤田 雅史 平成3経  
藤本 貴子 平成元年法  
藤本 照之 昭和54応化  
藤本 正博 昭和36経  
藤原 茂史 平成元年電  
古川 岳男 昭和62法  
星田 一雄 昭和39法  
本多 寛 平成3法  
前田 達夫 昭和22経  
牧石 憲次 昭和44建  
松上 武司 昭和32経  
松下 登 昭和42電  
松野 剛 昭和41買  
松野 功行 昭和61機  
松日染英世 昭和35買  
松本 邦光 昭和53機  
松本 豊馬 昭和38買  
松本 正彦 昭和39買  
松本 幸彦 平成6法  
丸山 潤治 昭和48経  
満足 篤美 昭和40経  
三浦 敦 平成11経  
三澤 哲也 昭和36経  
水上 隆光 昭和56買  
水迫 順一 昭和38買  
水谷 智 昭和58買  
三谷 勝男 特別会員  
光村 太一 平成11国経  
峰 藤明 昭和43買  
美濃島 章 昭和56機  
宮川 善次 昭和36工経  
宮崎 邦雄 昭和24機

若林 秀明 昭和39経  
若林 義人 平成17経工  
若山 敏勝 昭和46法  
脇坂 武浩 昭和59機  
和田 尚 昭和63法  
渡辺 完世 昭和45経  
渡辺 邦雄 昭和56法  
渡辺 公平 昭和34電  
渡辺 正美 昭和49経  
渡辺 益夫 昭和31経  
匿名 七十七件  
●レスリング部  
合計九件 九万七千円  
神奈川大学鳥取因幡宮陵会  
泉 隆一郎 昭和39経  
井野 裕 昭和46電  
北野 紘一 昭和39法  
西田 享司 昭和36工経  
西森 義博 昭和44英  
峯村 亮 平成20国経  
向出 茂 昭和31買  
匿名 一件  
●FLAT  
合計一件 二千元  
匿名 一件  
●ウインドサーフィン部  
合計一件 一万円  
高村 伸司 昭和61買  
匿名 一件  
●アドベンチャークラブ  
合計二件 二万円  
高橋 嗣明 昭和52法  
橋本 晃邦 昭和54電修  
匿名 三件  
●劇団「河原乞食」  
合計三件 一万二千元  
匿名 三件  
●サイクリング愛好会  
合計一件 一万二千元  
金澤 優太 平成25法  
匿名 三件  
●茶道研究部  
合計六件 三万円

宮崎 実 昭和53経  
宮嶋 清明 昭和43経  
富田 辰郎 昭和23経  
向出 茂 昭和31買  
武笠 健次 昭和41法  
村上 朋正 昭和31経  
村上 秀雄 昭和49経  
村田 龍也 昭和39経  
目黒 英昭 昭和37経  
望月 享 昭和42電  
元吉 弘貴 平成9法  
百瀬 俊彦 平成28自治  
矢島 肇 昭和29買  
安田 政夫 昭和30短商  
柳沢 秀幸 平成6工経  
柳沢 康弘 昭和32経  
山我 千夏 平成8経  
山上 禎子 昭和26法  
山岸 敬明 昭和41買  
山崎 和夫 昭和22法  
山崎 昌治 昭和38機  
山下 泰宏 昭和31機  
山品 武 昭和31電  
山田 武 昭和23経  
山田 房康 昭和48買  
山田 賢 昭和41経  
山田 吉修 昭和40電  
山本 茂樹 昭和57電  
山本 久男 昭和34経  
横山 知巳 昭和20機  
横山 盛雄 昭和49機  
吉川 純 昭和56機  
吉川 一憲 昭和32機  
吉田 敬一 昭和59工経  
吉田 曠二 昭和36機  
吉田 親司 昭和23経  
吉田 則道 昭和46法  
吉村 一男 昭和44経  
吉村 芳雄 昭和38機  
米木 稔 昭和45法  
米山 隆 昭和54機  
若林 保 昭和47経

匿名 一件  
●カレッジサウンズオーケストラ  
合計四件 二万八千元  
淵上 徹 昭和61電  
安元 武史 昭和60法  
匿名 二件  
●管弦楽団  
合計七件 六万五千元  
清水 武次 昭和40機  
田中 敏 昭和23経  
西森 義博 昭和44英  
西脇 幸二 昭和53買  
本多 正博 昭和52法  
松野 剛 昭和41買  
匿名 一件  
●ギターアンサンブル部  
合計一件 一万円  
匿名 一件  
●混声合唱団フルアンジェ  
合計三件 七千元  
船越 勝衛 昭和32経  
湯澤恵美子 昭和56西  
匿名 一件  
●軽音楽部  
合計一件 五千元  
田中 敏 昭和23経  
匿名 三件  
●茶道研究部  
合計六件 三万円



|             |             |             |               |             |              |   |                               |                              |   |  |  |                                      |            |             |              |             |              |             |            |   |  |                                  |   |                                    |  |  |                                  |                                |   |  |             |             |             |             |             |             |             |                      |  |                                  |                               |   |   |                                  |
|-------------|-------------|-------------|---------------|-------------|--------------|---|-------------------------------|------------------------------|---|--|--|--------------------------------------|------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|------------|---|--|----------------------------------|---|------------------------------------|--|--|----------------------------------|--------------------------------|---|--|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------------------|--|----------------------------------|-------------------------------|---|---|----------------------------------|
| 桂川 幹司 昭和42経 | 小沼 輝宏 昭和42法 | 竹内 洵 昭和37買  | 角田 裕昭 昭和39買   | 村橋 恒夫 昭和32電 | 匿名 一件        | ●写真研究部<br>合計三件 一万八千円<br>橋田 耕八 昭和28経<br>橋本 喜一 昭和45買<br>服部 晃典 昭和56経 | ●JAZZ研究会<br>合計一件 五千円<br>匿名 一件 | ●ジャズ研究所<br>合計一件 五千円<br>匿名 一件 | ●将棋部<br>合計二件 二万三千元<br>大和田芳朗 昭和49電修<br>野田 忠典 昭和49経 | ●書道部<br>合計三件 一万八千円<br>西東 弘文 昭和57経<br>福本 俊平 昭和30電<br>益田 和典 平成4法 | ●神大フェスタ実行委員会<br>合計三件 一万四千円<br>植木 清明 昭和40経<br>鈴木 健史 昭和55法<br>藁島 慎一 平成20経営博前 | ●吹奏楽部<br>合計二十一件 十二万六千円<br>青木 勲 昭和35法 |            |             |              |             |              |             |            |   |  |                                  |   |                                    |  |  |                                  |                                |   |  |             |             |             |             |             |             |             |                      |  |                                  |                               |   |   |                                  |
| 朝日 正幸 昭和52買 | 大石 勝義 昭和47経 | 柏倉 幸男 昭和37経 | 狩野 七郎 平成22経博前 | 近藤 範夫 昭和38経 | 芝田 正夫 昭和46応化 | 高橋恵美子 平成10短商  | 高橋 清 昭和40電                    | 田中 敏夫 昭和42経                  | 田山 祥一 昭和62法                                       | 中元寺松男 昭和35買  | 手塚 勝美 昭和42法  | 西森 義博 昭和44英                          | 原 政宏 昭和45経 | 肥田 俊明 昭和43経 | 藤本 照之 昭和54応化 | 船木 一彦 昭和43経 | 前田 益生 昭和40短商 | 松本 豊馬 昭和38買 | 吉川 崇 昭和42経 | ●鉄道研究部<br>合計二件 一万五千元<br>橋川 昌弘 昭和41応化<br>古川 岳男 昭和62法 | ●美術研究部<br>合計二件 一万円<br>清水 弘 昭和42経<br>和田 尚 昭和63法 | ●舞踏研究部<br>合計一件 千円<br>窪田 正篤 昭和44電 | ●放送研究会K.B.A.S<br>合計四件 三十六万円<br>秋山 繁 昭和45経<br>池田 好正 昭和44経<br>宮川 忠弘 昭和43経 | ●漫画・イラスト研究サークル<br>合計一件 千円<br>匿名 一件 | ●ロスカトス<br>合計三件 九千円<br>小林 知久 昭和45経<br>匿名 二件 | ●ワンダーフォーゲル部<br>合計五件 四万二千元<br>秋山 敦史 平成8経<br>遠田 恒雄 平成5買<br>安田 憲治 平成5経<br>匿名 二件 | ●NUSA<br>合計一件 六千円<br>柴田 一喜 昭和50法 | ●手話サークル303<br>合計一件 千円<br>匿名 一件 | ●法律家のたまご<br>合計二件 一万千円<br>細谷 憲二 昭和45法<br>匿名 一件 | ●英語研究部(E.S.S)<br>合計十三件 四万六千円<br>石井捷三郎 昭和44買<br>伊藤 紀男 昭和40経<br>大橋亜矢子 平成22人科 | 近藤 範夫 昭和38経 | 東海林 功 昭和46経 | 武井 秀雄 昭和31買 | 戸田 利治 昭和40経 | 中谷 正明 昭和43買 | 松本 正彦 昭和39買 | 三浦 俊輝 平成28英 | 宮田 起男 昭和45買<br>匿名 二件 | ●会計学研究部<br>合計三件 二万円<br>狩野 七郎 平成22経博前<br>今田 正紀 平成16経博前<br>匿名 一件 | ●中国研究部<br>合計一件 千円<br>池田 好正 昭和44経 | ●横浜倉碧法律会<br>合計一件 五千円<br>匿名 一件 | ●航空工学研究部<br>合計四件 一万七千円<br>嶋 祥伍 昭和53電<br>鶴 正剛 昭和31電<br>匿名 二件 | ●内燃機関研究部<br>合計三件 一万二千元<br>本田 進 昭和48機<br>吉川 純 昭和56機<br>吉田 曠二 昭和36機 | ●メカニカルデザイン部<br>合計一件 五千円<br>匿名 一件 |

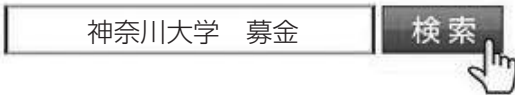
◎総合計 九百七十六万二千四百七十七円 (八百六十三件)

### 「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」募集要領

- 募金対象者 本学教職員、卒業生、在学生のご父母、一般、法人・団体等
- 募金額 1口 1,000円 (1団体1口以上1,000円単位)  
※賛助する課外活動団体を指定していただきます。
- 申込方法 ①②いずれかの方法でお申し込みください。

#### ①インターネットを利用

神奈川大学公式ホームページにアクセスしてください。  
<http://www.kanagawa-u.ac.jp/>



#### 〈決済方法〉

クレジットカード、インターネットバンキング (Pay-easy) が可能です。

#### 〈クレジットカード決済〉

下記はご利用可能なクレジットカードです。



#### 〈Pay-easy決済〉

インターネットバンキングまたはATMでお振り込みいただけます。  
※ペイジーマークのついている金融機関でご利用いただけます。



(主要60銀行、250信用金庫、その他)

#### ②専用払込取扱票を利用

神奈川大学総務部募金課までご連絡ください。郵送させていただきます。

### ◆お知らせ◆

2016年12月から新しく3団体が課外活動団体に認定されました。よろしくお願ひします。

- ・ウインドサーフィン部
- ・アカペラサークルJACK
- ・平塚祭実行委員会

次の団体は、団体名称が変更になりました。

- ・ラクビー部  
(旧：ラクビーフットボール部)
- ・漫画・イラスト研究サークル  
(旧：まんが研究サークル)

※活動内容は、大学公式ホームページにてご案内しています。

トップ画面 ≫ キャンパスライフ ≫ 課外活動

#### 【お問い合わせ先】

学校法人神奈川大学総務部募金課  
TEL.045-481-5661 (内線2155)  
FAX.045-481-2741  
E-mail bokin-jml@kanagawa-u.ac.jp

## 4 お申込から受講までの流れ

- Step 1** Webでお申込(5月上旬～) <http://www.kugs-trial.jp/>
- Step 2** 受講可否の通知をメールでお送りします。
- Step 3** 受講 欠席の場合は必ず御連絡をいただきます。

## 5 2017年度前学期開講予定講座 (4月下旬に決定します)

| 研究科        | 講座名                   |
|------------|-----------------------|
| 法学研究科      | 年金制度を考える!             |
|            | 政策法務講座 (基礎編)          |
|            | 政策法務講座 (実践・応用編)       |
| 経済学研究科     | 無知と文明のパラドクス           |
|            | 西洋経済史の視点―「大塚史学」以降の変遷― |
| 外国語学研究科    | 学習英文法の再構築             |
| 歴史民俗資料学研究科 | 水田文化の提唱 ―水田漁撈とは何か―    |

## 6 2016年度開講講座一例

- 講座名：船の民俗学
- 講師：昆 政明 (神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科特任教授)
- 講座概要：船は古来より物資輸送の手段として重要な位置を占めてきました。特に江戸時代には、弁才船に代表される多くの廻船が、全国津々浦々を結び、河川や湖沼の内水面交通と連結して、非常に効率的な水上交通ネットワークが形成されていました。また、船は漁撈活動に欠かせないもので、近年まで日本各地で伝統的木造漁船が活躍していました。  
本講座では、船を通して交通交易や漁撈の変遷や広がり考察すると共に、船体構造や造船技術の面から東アジアとの関わりについても解説します。

## 7 お問い合わせ窓口

|  |   |  |
|--|---|--|
| 大学院<br>トライアルコース<br>担当  | <b>横浜キャンパス 教務課</b>  | <b>湘南ひらつかキャンパス 平塚教務課</b>   |
|  | 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1<br>Tel:045-481-5661(代)(平日9:00~16:00)<br>Fax:045-481-2793 | 〒259-1293 平塚市土屋2946<br>Tel:0463-59-4111(代)(平日9:00~16:00)<br>Fax:0463-58-9688 |
| MAIL: <a href="mailto:trial-staff@kanagawa-u.ac.jp">trial-staff@kanagawa-u.ac.jp</a> |   |  |

母校の大学院で学びませんか

# 大学院トライアルコースのご案内

神奈川大学大学院では、大学院で学ぶことの具体的な意味やその方法をより多くの方々に知っていただくことを目的として、「神奈川大学大学院トライアルコース」を2009年度より開講しています。大学院に興味をお持ちの方、将来進学を検討されている方は無料で受講が可能です。

## 1 特徴

- (1) 受講は無料……………大学院レベルの講義を無料で提供しております。
- (2) 講座は土日中心……………社会人の方でも受講が可能です。
- (3) 充実した講師陣……………本大学院の専任教員、各分野で活躍するゲスト講師が担当しております。

## 2 トライアルコース実施予定研究科のご案内

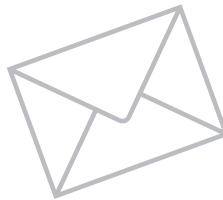
|            |   |
|------------|---|
| 法学研究科      | 雇用・社会福祉、環境や人権問題、国家システムや国際システムのあり方などをはじめ、日本社会や国際社会が抱える諸課題について、総合的に研究をサポートできる教員スタッフが充実しています。日本の法制度や政策課題などに関する分析能力と、自らの判断で行動できる資質を身につける機会を、年齢・経験・出身などが多様なみなさまに提供します。   |
| 法務研究科      | 法務研究科は、市民の日常生活を支える法律専門家の育成をめざしています。地域の身近な法律問題に取り組む「町医者」ならぬ「町の弁護士」が、自己責任社会では大いに必要とされるからです。私達がごく日常的に遭遇するさまざまな問題に市民感覚で接することができる法曹の育成が、本法科大学院の第一の目標です。  |
| 経済学研究科     | 研究に求められることは、経済の様々な領域において、現実が提起している問題をつかみ、理論、歴史、実証などの方法でそれに接近して解き明かすことです。本研究科は、経済、経営、ビジネスの研究を通じて思考力を鍛え知識を蓄えることにより、専門研究者や、応用力と実践力を備え、社会の様々な分野で活躍する専門職業人を育成することを目的としています。  |
| 外国語学研究科    | 本研究科は、高度の外国語能力を基盤とし、言語、文化、文学、歴史、言語教育の分野に関する優れた専門知識と研究能力と広い視野とを身につけて国際的な職業人・教育者・研究者として活躍できる人材の育成を目的としています。   |
| 人間科学研究科    | 人間科学の多様な分野における専門的で応用的な思考と専門知識及び技術を身につけた高度な専門職業人として社会に貢献できる人材の育成、優れた創造的研究及び教育活動を行うことができ、多様な社会の要請に応じて社会の価値創造に貢献し得る知的人材の育成を目的としています。   |
| 歴史民俗資料学研究科 | 本研究科は1993年に設置された日本で初めての資料学研究科です。日本は、高度経済成長期から続く開発やそれに伴う自然破壊により、地域に伝来する文字資料や、民具・凶像などの非文字資料が散逸する危機的状況にあります。そうした背景から本研究科では、歴史資料と民俗資料の両方を正確に理解し、実証的に分析でき、かつ蒐集・保存する能力をもった研究者を育成し、日本の歴史学・民俗学研究的限界を突破しようという目標を掲げてきました。 |

## 3 2016年度受講者の声

- 今回初めて参加させて頂きましたが、とても講義の内容も充実しており、貴重な勉強の機会を得ることができました。また興味のある講義があれば参加させて頂きたいです。
- 各教授の研究内容を知ることができ、より学びを深めたくなりました。トライアルコースに参加させていただき、感謝しております。

# 地域組織だより

- 北海道ブロック会(旭川)  
 東北ブロック会(福島県)  
 北陸ブロック会(富山県)  
 近畿ブロック会(京滋)  
 中国ブロック会(鳥取伯耆)  
 四国ブロック会(高知県)  
 九州ブロック会(長崎)  
 神奈川ブロック会(戸塚・栄区・南区・保土ヶ谷・旭区・箱根町・平塚市)
- 福岡総会  
 筑豊総会  
 北九州総会  
 佐賀県総会  
 熊本県総会  
 大分県総会  
 鹿児島県総会  
 沖縄県総会  
 同学会大連総会  
 磯子区総会  
 神奈川区総会  
 南区総会  
 保土ヶ谷・旭区総会  
 戸塚・栄区総会  
 横浜北総会  
 港南区総会  
 相模原総会  
 秦野市総会  
 箱根町総会  
 平塚市総会  
 西多摩総会  
 南足柄総会  
 三浦半島総会  
 津久井総会  
 茅ヶ崎・寒川総会  
 J F E 総会  
 三洋みやも総会  
 神奈川大学学内総会  
 川本工業総会  
 横浜信用金庫総会  
 クリエイトメディック総会  
 社労士会総会  
 三十路会総会  
 珊瑚の会総会  
 三進学院総会  
 ボクシング部OB会総会  
 陸上競技部OB会総会  
 バスケットボール部OB会総会  
 空手部OB会総会  
 柔道部OB・OG会総会  
 レスリング部OB会総会  
 ラグビー部OB会総会  
 卓球部OB会総会  
 ヨット部OB会総会  
 学士山岳会総会  
 硬式野球部OB会総会  
 写真研究部OB会総会  
 男子ラクロス部OB会総会  
 衣笠・アサマゼミナール神相会総会



- ① 大学・宮陵会からの出席者
  - ② 開催場所
  - ③ 参加人数
  - ④ 開催コメント
  - ⑤ 活動(年間予定)
- ※神奈川大学・宮陵会は省略致しました。



北海道ブロック会  
 (旭川)  
 平成28年9月17日(土)

① 理事長 正野 幸延  
 副会長 宇野 峰雪

事務局 宮内 弘美  
 秘書室 関口 絢子  
 旭川トヨヨーホテル  
 42名

② ブロック会議と地域組織総会の同日開催で参加会員増を期待したが思惑通りにはならなかった。会員のうち70歳以上が1/4、60歳以上は70%を超えたことから今後の組織活動に不安があるが、個々の声かけ運動等により会員増を図ることが確認された。

③ 役員会  
 総会  
 北海道ブロック会開催  
 ゴルフコンペ  
 宮陵会地域組織ホームページ更新  
 会員名簿更新

① 理事長 正野 幸延  
 秘書室 関口 絢子

東北ブロック会  
 (福島県)  
 平成28年11月19日(土)



神奈川大学宮陵会  
 第30回東北ブロック大会  
 平成28年 神奈川大学福島県宮陵会

② 副会長 宇野 峰雪  
 専務理事 春原 正二郎  
 郡山ビューホテルアネックス

① 理事長 正野 幸延  
 秘書室課長補佐 矢ヶ崎 春菜  
 副会長 古川 勝彦  
 事務局 宮内 弘美

北陸ブロック会  
 (富山県)  
 平成28年10月29日(土)

① 学長 兼子 良夫  
 学長室次長 新倉 一禎  
 会長 大場 憲治  
 副会長 宇野 峰雪  
 専務理事 平能 孝一  
 理事 多湖 秀明

近畿ブロック会  
 (京滋)  
 平成28年10月2日(日)

① 常務理事 小林 孝吉  
 秘書室長 馬場 忠志

中国ブロック会  
 (鳥取伯耆)  
 平成28年7月2日(土)

- ① 福島県宮陵会総会の開催
- ② 東北ブロック会への参加
- ③ 地区会議の開催(県北・県中・会津・いわき)
- ④ 箱根駅伝終了後、役員会の開催
- ⑤ チャリティーゴルフコンペ兼花見の開催

- ① 総会に合わせて講演会、懇親会を開催した。出席者からは「久しぶりに難しい話を聴けて懐かしかった。神奈川大学もこんな研究をするようになったんだな、今後に期待したい。」といったことが聞かれた。また、子供アリーダーによる大学への応援もあり、出席者には十分楽しんでもらえた。
- ② 総会への出席者が減ってきていることから、総会にて宮陵会本部で作成したホームページを活用していくことが決まった。

- ① 船乗場会議室及び琵琶湖遊覧船「ミシガンクルーズ」
- ② 60名(62名予定2名欠席)
- ③ 第2回近畿ブロック会ということで、少し趣向を変えて滋賀県の琵琶湖の遊覧船「ミシガンクルーズ」を会場として開催した。兼子学長に「神奈川大学の将来像」の講演をして頂き、その後、遊覧船「ミシガン」船上での懇親会を行った。心配した天気にもめぐまれ、イベントとしては良かったと思われる。しかしホテルなどでの開催と違い慣れないことが多く、ブロック内の各地域組織及び本部宮陵会に迷惑をかけることが多々あったことは反省点である。無事に終了したことでよしとしたい。

③ 県総会 25名  
 東北ブロック会 49名

④ 今年度の福島県総会は東北ブロック会とあわせての開催となりました。まず、県総会にて新会長村上昌弘氏の挨拶後、事業報告や収支決算報告等が議事され承認されました。若手会員の参加拡大と年会費徴収が今後の課題としてあがりました。県総会終了後、東北ブロック会議「東北6県参加」が開催され、正野理事長から神奈川大学の新しいキャンパス構想や女子学生の確保、学生の活躍等、宇野副会長から平成30年には宮陵会館の建設の話がありました。その後、各県宮陵会会長から活動報告がなされ、次期開催県が秋田県と決定した経緯を説明し承認されました。その後、記念講演として前福島県知事佐藤雄平氏により、秘書から政治家になった苦労話を聞かせていただき、終了後交流会にて前棚倉町町長藤田幸治氏の首頭で乾杯し、アトラクションのフラダンスを見ながら旧交を温めました。最後に箱根駅伝シード権獲得を祈願し、校歌を斉唱して盛会の内に終了しました。



③ 39名(富山県26名 石川県・福井県13名)



船乗場会議室及び琵琶湖遊覧船「ミシガンクルーズ」

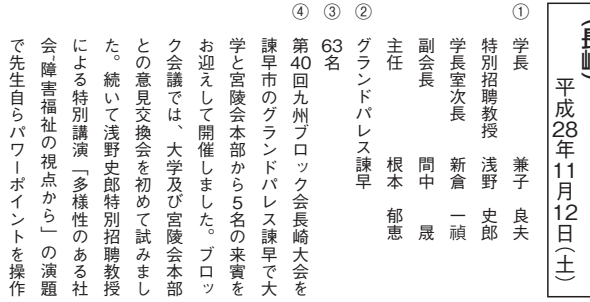


① 常務理事 小林 孝吉

④ 四国ブロック会  
(高知県)

平成28年9月17日(土)

① 副会長 間中 晟  
事務局 根本 郁恵  
米子ワシントンホテルプラザ 46名  
② 本年度も大学、宮陵会より4人の来賓をお迎えし、第28回総会並びに中国ブロック会、合同懇親会が開催されました。近年は山陰地区から母校へ進学する学生が少なくなっており、寂しい気持ちもありますが、定年後にUターンで故郷に帰ってこられるOBもおられるので、ぜひ本会に参加いただけるよう、声掛けをしていきたいと思っております。また、今回で9回目を迎えるOB特別講演会では、日南町長増原聡様、丸京製菓(株)代表取締役 鷺見浩生様、ご両名のご活動を拝聴しました。また、10月に行われる箱根駅伝予選会の応援に有志一同で馳せ参じようと盛り上がったひと時でした。

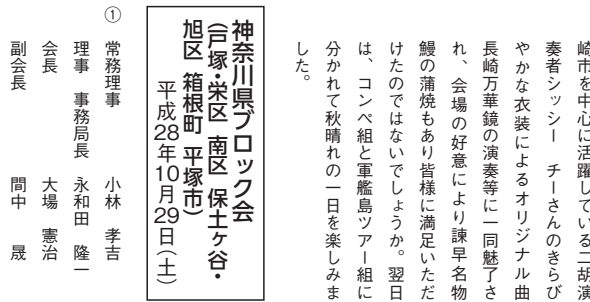


① 学長 兼子 良夫  
特別招聘教授 浅野 史郎  
学長室次長 新倉 一禎  
副会長 間中 晟  
主任 根本 郁恵  
グラウンドパレス諫早 63名  
② 第40回九州ブロック会会長大会を諫早市のグラウンドパレス諫早で大学と宮陵会本部から5名の来賓をお迎えして開催しました。ブロック会議では、大学及び宮陵会本部との意見交換会を初めて試みました。続いて浅野史郎特別招聘教授による特別講演「多様性のある社会 障害福祉の視点から」の演題で先生自らパワーポイントを操作

④ 九州ブロック会  
(長崎)

平成28年11月12日(土)

① 副会長 古川 勝彦  
専務理事 佐藤 武  
ホテル日航高知旭ロイヤルホテル 57名  
② 4年ぶりの開催となった四国ブロック会であったが、大学、宮陵会、愛媛県、香川県、徳島県各宮陵会に多大なご協力を頂き、半数以上を県外よりご参加いただいた。また、高知県も例年より多い参加をいただき、女性会員も3名出席頂けた。  
③ 就任祝賀会及びゴルフコンペ 2月13日  
④ 松澤先輩―日本建築家協会 高知地域会長  
野口先輩―株式会社宗石建設工業所 代表取締役  
7月13日  
⑤ 成田副会長―入交石油株式会社 代表取締役  
平成29年  
8月 神奈川大学父母懇談会出席  
9月 高知県宮陵会総会及びゴルフコンペ

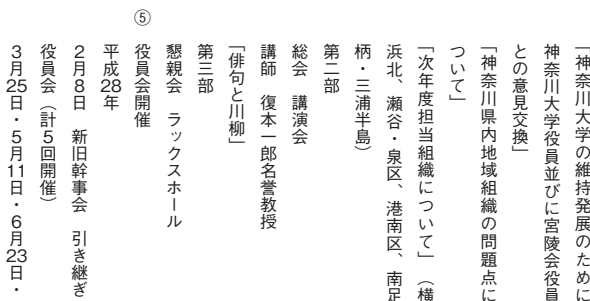


① 常務理事 小林 孝吉  
理事 事務局長 永和田 隆一  
会長 大場 憲治  
副会長 間中 晟

④ 神奈川県ブロック会  
(相模原市・南区・保土ヶ谷・旭区・箱根町・平塚市)

平成28年10月29日(土)

① 軽妙な語り口で進行し、あっとい間の1時間でした。せっかくの先生の講演ですので、長崎県出身の在学生の父母の方にも本部から案内を出しましたが参加者はいませんでした。懇親会には、浅野先生にも参加して頂き、先生を囲んで談笑の輪が広がりました。長崎市を中心に活躍している二胡演奏者シッシー チーさんのきらびやかな衣装によるオリジナル曲長崎万華鏡の演奏等により魅了され、会場の好意により諫早名物鰻の蒲焼もあり皆様に満足いただけたのではないのでしょうか。翌日は、コンベ組と軍艦島ツアー組に分かれて秋晴れの日を楽しみました。

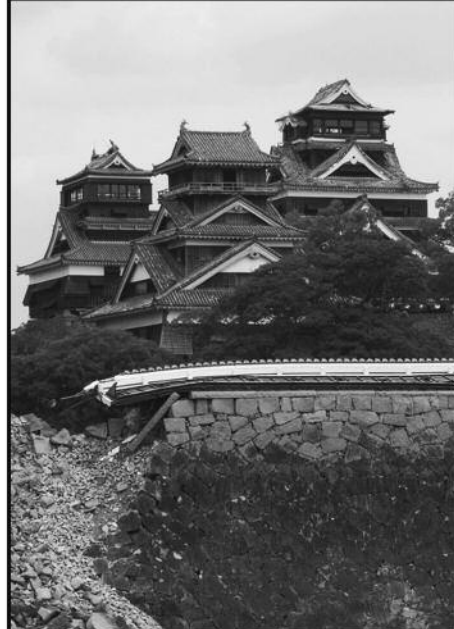


② 副会長 宇野 峰雪  
横浜キャンパス 1号館301室・3号館B104室 19号館ラックスホール 93名  
③ 昨年に続き「第2回(平成28年度)神奈川県ブロック会」を今年度は戸塚・栄区、南区、保土ヶ谷・旭区、箱根町、平塚市、の各宮陵会が主管して、3部構成にて次のように実施しました。  
第一部 ブロック会議・出席者20名 議題 「神奈川大学の維持発展のために神奈川大学役員並びに宮陵会役員との意見交換」 「神奈川県内地域組織の問題点について」 「次年度担当組織について」(横浜北、瀬谷・泉区、港南区、南足柄・三浦半島)  
第二部 総会 講演会 講師 復本 一郎名誉教授 「俳句と川柳」  
第三部 懇親会 ラックスホール 役員会開催  
平成28年 2月8日 新旧幹事会 引き継ぎ役員会(計5回開催)  
3月25日・5月11日・6月23日・

④ 神奈川県ブロック会  
(相模原市・南区・保土ヶ谷・旭区・箱根町・平塚市)

平成28年10月29日(土)

⑤ 昨年同様「第2回(平成28年度)神奈川県ブロック会」を今年度は戸塚・栄区、南区、保土ヶ谷・旭区、箱根町、平塚市、の各宮陵会が主管して、3部構成にて次のように実施しました。  
第一部 ブロック会議・出席者20名 議題 「神奈川大学の維持発展のために神奈川大学役員並びに宮陵会役員との意見交換」 「神奈川県内地域組織の問題点について」 「次年度担当組織について」(横浜北、瀬谷・泉区、港南区、南足柄・三浦半島)  
第二部 総会 講演会 講師 復本 一郎名誉教授 「俳句と川柳」  
第三部 懇親会 ラックスホール 役員会開催  
平成28年 2月8日 新旧幹事会 引き継ぎ役員会(計5回開催)  
3月25日・5月11日・6月23日・



熊本地震へのご支援ありがとうございます。

# 神奈川大学熊本県宮陵会 会員一同

昨年の4月14日から16日にかけて震度7を観測する大地震が前震、本震と続き、熊本県熊本地方、阿蘇地方、大分県中部にかけ被災しました。全国の皆様からは暖かい励ましの言葉をいただき感謝いたします。頂いた義援金は、会員の被災状況により見舞金として配分させていただき、復興を目指します。



### 札幌総会

平成28年5月21日(土)

- ① 総務部長 原田 浩行  
会長 大場 憲治
- ② 札幌プリンスホテル国際館バミール  
62名
- ③ 午後4時から開催された総会は、佐藤隆良会長の挨拶に続き来賓として出席された原田浩行総務部長より大学の近況についてご挨拶があり、宮陵会より大場憲治会長がお祝いの言葉と宮陵会の現況等を報告されました。続いて平成27年度の事業報告、決算報告会計監査報告、平成28年度の事業計画、予算計画が説明され、審議の結果全会一致で承認されました。引き続き行われた講演会は、穴田哲夫名誉教授(北海道出身、工学部卒大学院一期生)の神奈川大学40年の歩みのテーマで興味深いお話でご講演いただきました。懇親会は、父母懇談会で来られていた大学関係者、父母の参加によりスタ



神奈川大学札幌宮陵会 平成28年度総会・懇親会

ートしました。札幌宮陵会の男声アカペラコーラス・サスピシャスフロイデのコーラスにはじまり、ビンゴゲーム等のアトラクションで賑やかな楽しい時間を過ごし、最後に恒例の出席者全員による校歌斉唱、記念写真撮影で終了しました。二次会は、会場を2階のトップオブプリンスに移し、盛会のうちに全てを終了しました。総会の模様はHPにアップしておりますので覗いてみて下さい。

### 函館総会

平成28年11月12日(土)

- ⑤ 父母懇談会に参加  
講演会
- ④ 5月 平成28年度総会 講演会
- ③ 7月 親睦ゴルフ大会
- ② 9月 北海道ブロック会(旭川) 12月 忘年会 1月 新年会
- ① 管財部長 金丸 壽男  
会長 大場 憲治
- ② ホテルテトラ本館
- ③ 23名
- ④ 久々の好天と暖気に恵まれて、9時半スタートのゴルフイベントスタートしました。(8名参加)



神奈川大学 函館宮陵会

夜には、大学OBの経営するホテルテトラにて総会・懇親会が始まり、大学より金丸管財部長、宮陵会より大場会長の出席を頂き、貴重な講話を聞かせて頂きました。終始、和やかな歓談で終わりました。今回平成5年卒の金見君が新入会員として入会して頂き、幹事として感謝しております。なお、会長及び事務局長の交代が決まりましたので、ご報告いたします。

### 帯広総会

平成28年7月22日(金)

- ⑤ 来年度は北海道ブロック大会の当番地区でもあり、万全を期すよう努力する覚悟です。
- ④ 副会長 間中 晟
- ③ ホテルグランテラス帯広 12名
- ② 会員12名の参加を得て、7月22日に定例総会を開催しました。総会では活動報告等の議題も決まり、会員が近況等を報告し無事終了しました。
- ① 役員会開催
- ② 北海道ブロック会参加
- ③ 定期総会開催

### 室蘭総会

平成28年10月22日(土)

- ⑤ 役員会開催
- ④ 北海道ブロック会参加
- ③ 定期総会開催
- ② 1. 役員会開催
- ① 図書館事務部長 堀江 美由紀  
専務理事 平能 孝一  
鳥辰本店(室蘭市) 20名
- ② 宮陵会の平能専務理事、大学から図書館事務部長堀江様より駅伝予選会での成績、有望な選手についてや大学の近況、これから目指していくところ等の紹介・報告が披露されました。昨年立ち上げた地



で、期待していただきたい。」とのことでした。

### 釧路総会

平成28年11月5日(土)

- ⑤ 活動紹介  
7月にゴルフコンペを開催。パークゴルフは参加者不足で中止でした。来年は古小牧と対抗ゴルフでも合同での開催を考えております。会長より「北海道ブロック会報告で理事長との意見交換をさせていただきました。OBの願いとして母校の発展を期待しますがその意味でも大学のレベルを上げる努力をしていただきたいと要望しました。理事長からは少子化で受験生が減少傾向にあるので、大学側としても優秀な教授陣の紹介も含めて、若者に人気のみならず広い地区での新しい学部の新設を提案している。横浜市への誘致の参加が今後の本学の特徴となる構想としての位置づけをしているの
- ④ 事務局次長 専務理事 佐藤 武  
釧路センターキャッスルホテル 14名
- ③ 平成28年11月5日(土)に、会員14名の参加を得て、2016年度神奈川大学釧路宮陵会の総会、懇親会を開催しました。淀川一會長の総会挨拶に続き平成27年度収支決算報告の後、本部より来て頂いた宮陵会専務理事の佐藤武氏より、大学のこと、箱根駅伝のこと等についてお話を頂きました。山内國昭副会長の乾杯の音頭で懇親会に入り、青春の思い出を大いに語り合い親交を深めました。最後に校歌斉唱を行った後、札木稔顧問の一本締めで、再び会うことを約束し総会、懇親会を終了しました。
- ② 事務局次長 専務理事 佐藤 武  
釧路センターキャッスルホテル 14名
- ① 研究支援部長 村川 浩幸  
専務理事 春原 正三郎  
グランドホテルニュー王子 17名



2016年度 神奈川大学釧路宮陵会総会・懇親会

### 古小牧総会

平成28年5月28日(土)

- ⑤ 来賓として村川部長様、春原専務理事様にご臨席賜り、総勢17名にて総会を開催いたしました。土屋会長の挨拶に続き、ご来賓より大学並びに宮陵会の現況や今後についてのご説明をいただきました。議事審議では、46年機械卒の桑本昭平新会長が満場一致で選出されました。その後懇親会、二次会と親交を深め、今年度も和やかに総会を終了しました。
- ④ 来賓として村川部長様、春原専務理事様にご臨席賜り、総勢17名にて総会を開催いたしました。土屋会長の挨拶に続き、ご来賓より大学並びに宮陵会の現況や今後についてのご説明をいただきました。議事審議では、46年機械卒の桑本昭平新会長が満場一致で選出されました。その後懇親会、二次会と親交を深め、今年度も和やかに総会を終了しました。
- ③ 事務局次長 専務理事 佐藤 武  
紋別セントラルホテル 16名
- ② 今年度の総会は神奈川大学・宮陵会からのご臨席を賜り紋別市での開催となりました。総会の議事に入る前にご来賓の佐藤専務理事より北見宮陵会橋爪会長に、宮陵会規定に基づき感謝表彰の授与がありました。役員改選の年でしたが、出席者のご理解もあり短時間で審議終了して7月14日北見市で開催される「ホクレン・ディス



### 北見総会

平成28年7月9日(土)

- ⑤ 事務局次長 専務理事 佐藤 武  
紋別セントラルホテル 16名
- ④ 今年度の総会は神奈川大学・宮陵会からのご臨席を賜り紋別市での開催となりました。総会の議事に入る前にご来賓の佐藤専務理事より北見宮陵会橋爪会長に、宮陵会規定に基づき感謝表彰の授与がありました。役員改選の年でしたが、出席者のご理解もあり短時間で審議終了して7月14日北見市で開催される「ホクレン・ディス
- ③ 事務局次長 専務理事 佐藤 武  
紋別セントラルホテル 16名
- ② 今年度の総会は神奈川大学・宮陵会からのご臨席を賜り紋別市での開催となりました。総会の議事に入る前にご来賓の佐藤専務理事より北見宮陵会橋爪会長に、宮陵会規定に基づき感謝表彰の授与がありました。役員改選の年でしたが、出席者のご理解もあり短時間で審議終了して7月14日北見市で開催される「ホクレン・ディス



平成28年度  
神奈川大学青森県宮陵会総会

⑤ 平成28年8月  
会員に北見宮陵会平成28年度総会資料及び会員名簿を送付予定  
平成28年9月  
北海道ブロック会出席予定(旭川市) 4名参加予定

**青森県総会**

平成28年11月5日(土)

- ① 内部監査室長 増子 義典  
専務理事 春原 正三郎
  - ② わいん倶楽部
  - ③ 14名
  - ④ 今年の総会は青森市・わいん倶楽部に14名の会員が集まり開催されました。
- 11月5日の土曜日、大学からは増子義典内部監査室長、宮陵会より春原正三郎専務理事の出席を頂き



平成29年度  
神奈川大学青森県宮陵会総会

⑤ 平成29年1月 地区毎新年会

- ④ 4月 役員会
- ③ 8月 地区毎ビアパーティー
- ② 11月 東北ブロック会
- ① 12月 地区毎忘年会

**岩手県総会**

平成28年11月26日(土)

- ① 学修進路支援部第二部(就職) 事務部長 能重 幸夫
- ② 専務理事 平能 孝一
- ③ 盛岡市「盛岡グランドホテル アネックス」
- ④ 岩手県会員25名

今年度は「いわて国体」の開催で1月、村竹啓恒氏(27年人間科学卒・元岩手県体協)がショートトラック成年男子1,000Mで見事優勝。岩手県勢ではV第1号となり、大いに盛り上がりました。3月に有志で祝勝会を開催。8月には神大スケート部が盛岡で合宿。恒例のビアパーティーに参加してもらい、岩手県宮陵会会員と交流を深めました。定時総会は今



平成28年度  
神奈川大学秋田県宮陵会懇親会

⑤ 平成29年1月の新年会を初めて由利本荘地区で開催予定。

- ④ 2月 新年交歓会
- ③ 5月 リクレーション交流会(ゴルフコンペ・ボウリング等)
- ② 8月 納涼ビアパーティー(岩手県出身3年・4年生にも案内)
- ① 11月 定時総会

**秋田県総会**

平成28年5月21日(土)

- ① 事務局次長 専務理事 佐藤 武
- ② アキタパークホテル
- ③ 4名
- ④ 総会は、定刻の午後4時に始ま

年も昭和19年専門学校卒の菅原一郎氏(岩手支部初代支部長)や4代目、5代目の支部長経験者が出席して旧交を温めました。残念ながら今回は珍しく若手の参加が少なく少し寂しいところもありましたが、世代を超え、大いに語り、大いに飲んで、最後は全員輪になって母校校歌を高らかに斉唱し、大団円にて終了しました。平成31年は「岩手県宮陵会創立70周年」の節目の年になります。今年度から少しずつ準備をしていきますので、引き続きご指導、ご協力の程、宜しくお願いいたします。



平成28年度  
神奈川大学秋田県宮陵会懇親会

⑤ 22名

- ④ 前年度に通常総会を毎年5月開催に決めたが、会員の仕事上関係する他の総会と重なるため、来年度の総会を7月または9月に開催することにした。新規参加者を増やすため、平成29年1月の新年会を初めて由利本荘地区で開催予定。
- ③ 5月21日(土) 総会開催
- ② 場所…アキタパークホテル
- ① 6月25日(土) 鹿角地区総会

**秋田県鹿角地区会**

平成28年6月25日(土)

- ① なし
- ② 鹿角パークホテル
- ③ 4名
- ④ 総会は、定刻の午後4時に始ま

り、東北ブロック会の報告に続いて秋田県宮陵会の活動報告となりました。鹿角会の報告は、最初に9月13日大里浩秋名誉教授による「湖南シンポジウム」の内容の発表に続き、2月23日から31日までの間当市花輪スキー場で開催されたインカレ・スキーでの神大スキー部活動報告と選手激励会の報告となりました。決算、予算は原案決定を行い、役員改選は全員再任となりました。



秋田県宮陵会鹿角会総会

⑤ 1. 県内4地区の積極的な活動を行い会員との交流を図る。

- ④ 2. 50周年記念イベントに向けた役員会の開催
- ③ 3. ホームページ立ち上げによる情報収集
- ② 4. 在学生と保護者との交流
- ① なし

**山形県総会**

平成28年10月22日(土)

- ① 事務局次長 勇 真一郎
- ② 専務理事 春原 正三郎
- ③ ベルフォーレ新庄 玉姫殿
- ④ 20名

第48回神奈川大学山形県宮陵会平成28年度総会が県内4地区から20名の出席を得、また大学からは勇事務局次長、宮陵会からは春原正三郎専務理事兼事務局長を迎え決算報告及び平成29年度の活動計画・予算案等の承認を得無事終了、そ



第48回 神奈川大学山形県宮陵会総会

⑤ 10月22日(土)

- ④ 10月22日(土) 山形県宮陵会定時総会 新庄市
- ③ 12名
- ② 鶴岡市第一コミュニティセンター
- ① なし

**山形県庄内地区会**

平成28年8月6日(土)

- ④ 10月22日(土)
- ③ 12名
- ② 鶴岡市第一コミュニティセンター
- ① なし

いつも集まる常連会員ばかり、ただ、今回は通常は宮城県若沼市で「庄内藩」という蕎麦屋さんを営んでいる小野寺一夫氏が次の仕事の下準備で酒田市の自宅へ帰省中で久しぶりの参加。岩沼での蕎麦屋さんの話、今後は九州の方で同様の仕事の夢を熱く語ってくれた事が印象に残る。来年の地区会は6〜7月頃に開催してみようかとの話も…。

**山形県置賜地区会**  
平成28年7月24日(日)

- ① なし
- ② 米沢市松川河川敷
- ③ 8名
- ④ 毎年恒例となりました置賜地区会ビアパーティーを今年も開催いたしました。晴天に恵まれ、大変賑やかで楽しい会となりました。久しぶりに20代の若い方の参加もありました。また来年も引き続き開催する予定です。
- ⑤ 毎年7月頃 ビアパーティー  
毎年10月頃 大学対抗ボウリング大会

**宮城県総会**  
平成28年11月12日(土)

- ① 人事部長 手戸 俊彰  
副会長 古川 勝彦
- ② 仙台レオパレスホテル
- ③ 29名
- ④ 宮城県宮陵会竹谷副会長の開会挨拶から始まり、浅野会長挨拶後、来賓の手戸人事部長のご挨拶がありました。80周年創立記念の話か



神奈川大学宮城県宮陵会総会

ら100周年に向けての目標・スローガンのお話があり、キャンパス造成の件やグローバル化、横浜キャンパス老朽化によるリニューアルや宮陵会館などのお話もありました。後半は入試状況・就職状況、特に地域のUターン・就活などへの取り組み(岩手地区)についての紹介がありました。古川副会長からは地域組織の活動状況についてのお話がありました。特に最近の大きな問題点である現住所の把握率の低さ(50%程度)の現状、同窓会活動への認知度や参加意識の低さからくる会費納入率の低さなど指摘されました。また会館については施工段階に入っているとの報告がありました。10年後の学生数は今の半分になるとの想定の下、会と就職課との連携に地域組織も協力いただきたいとのことでした。進行を浅野会長に変更し、議事に入りました。平成28年度事業報告、予算報告、並びに監査報告がなされました。参加者からも会費納入率の低さが指摘されました。今後の課題として白熱した議論がなされました。平成29年度事業計画並びに予算案が報告されました。やはり参加会員を増やすにはどうしたらよいか?皆で知恵を持ち寄りなければならず、今回の参加者一人ひとりが各自の環境やコミュニティで参加者を増やす努力を具体的にしていかなければならないという結論に達しました。閉会后、昭和39年工卒卒の井上修一様(株式会社カルラ代表取締役会長)から「上場までの歩み」というテーマにて講演をいただきました。税制等の話をからめながら、企業を大きくしていくためにはどうしたら良いか?また成功する為の大事な習慣、そして社員を大切にしている心構えなどについてのお話がありました。限

**新潟県総会**  
平成28年11月5日(土)

- ① 学修進路支援部第一部(教務)事務部次長 笠原 義和  
副会長 間中 晟
- ② アートホテル新潟駅前
- ③ 23名
- ④ 穏やかな秋の一日、初めての方3名を含め、総勢23名で開催いたしました。報告承認事項等議事、来賓のご挨拶、記念撮影の後、懇親



第34回神奈川大学新潟県宮陵会総会

られた30分の時間のなかででしたが特に人を育てるという事について大変貴重なお話が聞け、参加者は盛んにメモを取っていました。

- ① 「宮城県宮陵会総会」並びに「懇親会」の開催
- ② 東北ブロック会への参加
- ③ 「気仙沼・石巻・仙北・仙南」地区会議の開催
- ④ 宮陵会事業への女性会員及び若年会員の参加意識の啓蒙
- ⑤ 会員名簿の整理及び管理
- ⑥ 会員間による同業種、異業種の交流及び情報交換の促進
- ⑦ 懇親ゴルフコンへの開催(4月・10月)

会を開催。平成13年、14年卒の方が参加くださり、一層活気のある会となりました。昭和16年卒の山下英夫先輩、17年卒の鈴木藤治先輩の横浜専門学校校歌を聞き、共に歌い、再会を期してお開きとなりました。

11月 総会開催予定

**千葉県総会**  
平成28年10月22日(土)

- ① 財務部長 瀬田 高央  
副会長 古川 勝彦
- ② バイディホテル千葉
- ③ 37名
- ④ 大学から財務部長の瀬田高央氏、宮陵会から副会長の古川勝彦氏を来賓として迎えての「千葉の集い」であった。副会長立花久穂氏(英文55卒)の司会により本会会長佐藤(経53卒)より挨拶、総会を行う。はじめに物故者7名に対し参加者全員で黙祷、続いて副会長立花より千葉県宮陵会の会計及び活動報告、事務局橋本より「千葉の集い」の発送状況について説明を行い総会を終了。大学の瀬田財務部長から大学の近況、古川宮陵会副会長から宮陵会の活動等のお話をいただく。又本日のゲストとして本部署理事塚正氏、スピードスケートの佐藤浩さんにお出でいただいたので、それぞれの活動についてお話しいただき、会は大いに盛り上がった。その後各卒年での初参加者のスピーチ、顧問の矢島肇氏(寛29年卒)、大槻士郎(経36卒)のスピーチを頂き宴会を終了とする。最後に佐藤世司氏(法43卒)による応援コール、校歌を全員で歌う。来年度の再会を誓い散会となった。本年は、会の参加者が昨年に比べて10名ほど減少した。来年は同窓生を1人誘って参加者を「とにかく増やそう」という良い案もできているので、実

**茨城県総会**  
平成28年7月3日(日)

- ① 国際センター事務部長 松岡博之  
工学部准教授 赤井昭二  
事務理事 春原正三郎
- ② 三の丸ホテル
- ③ 28名
- ④ 平成28年7月3日(日)水戸市三の丸ホテルにて茨城県宮陵会総会を開催しました。参加者は28名にて総会、懇親会と楽しい時間を過ごしました。また、今回は特別講演という事で大学より赤井准教授をお招きして貴重な講義を聞かせて頂きました。本部、大学からは春原事務理事、松岡事務部長の出席を頂き大学の近況報告を頂きました。今回の県央での開催は地区会が準備の役割を多くしたことで進められました。今後はそれを加速させていきます。(地域主導)今回の良かった事は、女性会員が2名、新規会員4名の参加です。反省点は増員できていない事、多少のマンネリ化と活動不足が考えられます。



神奈川大学茨城県宮陵会総会

**栃木県総会**  
平成28年6月4日(土)

- ① 事務局長 明比 卓
- ② 宇都宮東武ホテルグランデ
- ③ 26名
- ④ 昨年度の事業報告の中で創立50周年記念事業(ホームカミングデー参加バスツアー)や、ゴルフコンパ開催等の報告を行った。また、新規会員の勧誘状況については、県議会議員・箱根駅伝選手・県庁国際課交流員(中国人)に入会案内を行っていることを報告した。ホームページについては、今回承認された新規役員を掲載することとなった。宮陵会本部からの助成金効果により女性会員7名の参加があった
- ⑤ 6月4日 総会  
7~9月 運動部等の栃木県合宿があった場合、支援(差入丸)
- ⑥ 8月6日 父母懇談会へ参加
- ⑦ 10月 第3回ゴルフコンパ
- ⑧ 12月 役員会および忘年会



神奈川大学栃木県宮陵会





**群馬総会**  
平成28年7月2日(土)

- ① 内部監査室長 増子 義典  
専務理事 平能 孝一
- ② エテルナ高崎 5Fティラール  
32名
- ③ 新役員でスタートした群馬宮陵会  
は3年目に突入しました。箱根路  
での駅伝チームの活躍を願い今年  
も会員の総意を込めてダルマを大  
学へお送りさせていただきました。  
チームに贈呈下さるようお願いし  
ました。「明るく、楽しく、元気  
よく」をモットーに頑張る所存で  
す。会員の皆様のご協力をよろし  
くお願いいたします。
- ④ 平成28年  
5月 サークル活動「親睦ゴルフ  
コンペ」
- ⑤ 7月 定時総会・懇親会エテルナ  
高崎
- ⑥ 8月 飲み会
- ⑦ 10月 サークル活動「親睦ゴルフ  
コンペ」
- ⑧ 12月 役員会
- ⑨ 平成29年  
2月 新年会

**群馬東毛総会**  
平成28年7月2日(土)

- ① 3月 役員会
- ② 専務局長次長 勇 真一郎  
専務理事 春原 正三郎
- ③ ④ 太田グランドホテル  
20名
- ⑤ 総会を始め旅行、ゴルフ、母校在  
学生の活動応援、新年会等の事業  
も滞りなく実行でき、平成28年度  
の事業計画、予算、弔慰規定も全  
員の拍手で承認。今総会にはご多  
忙の中、大学から専務局長次長、  
宮陵会からは春原専務理事様のご  
来席を頂き、大学の近況、宮陵会  
からは本部総会・地方組織の動向  
等講話を頂き大変有意義な総会と  
なった。懇親会も会長のサックス  
演奏で盛り上がり、最後に校歌の  
大合唱で閉会となった。
- ⑥ 4月 新年度第1回役員会 大学  
交流チャリティーゴルフ大  
会
- ⑦ 9月 第2回役員会
- ⑧ 10月 会員懇親ゴルフコンペ  
神奈川大学ホームカミング  
デー参加
- ⑨ 12月 第20回太田大学ジャズフェ  
スティバル



**埼玉県総会**  
平成29年3月11日(土)

- ① 理事 事務局次長 永和田 隆一  
参与 武笠 健次
- ② 専務局長 大場 憲治  
専務理事 春原 正三郎  
専務理事 平能 孝一  
理事 永田 晴彦
- ③ ④ 神奈川大学横浜キャンパス3号館  
207講堂  
32名(内来賓6名)
- ⑤ 神大・宮陵会来賓6名と埼玉県在  
住者26名が神奈川本校3号館207  
室に於いて神奈川大学埼玉県宮陵  
会設立総会を開催した。開会挨拶、  
来賓挨拶と進み、総会議事の  
うち、会則の制定、役員の選出承認、  
今後の運営事項と日程等に関し、  
和やかな中にも爾々とすべての  
議事が採択された。総会終了  
後、記念撮影を経て、19号館ラッ  
クスホールにて懇親会を開催し  
た。
- ⑥ 2017年10月を目途に、第一回  
神奈川大学埼玉県宮陵会総会を開  
催予定。場所は未定なるも神奈川



**静岡西部総会**  
平成28年9月17日(土)

- ① 事務局次長 花嶋 とみ子  
専務理事 春原 正三郎
- ② オークラクトシティホテル浜松  
29名
- ③ 総会のメインイベントは講演会  
です。今回は地元、聖隷病院の保健  
事業部の協力を得まして、保健師  
の方から「健康長寿をめざして」  
という題で、日常の生活で気をつ  
けることをお話していただきました。  
会員全員が年齢的に身につま  
される思いで真剣に身に入ってい  
ました。大変好評でした。
- ④ ⑤ 年初は新年会からスタートし、9  
月総会に向けて5月から準備を始  
めた。



**愛知みやも会総会**  
平成28年6月25日(土)

- ① 経営政策部長 相良 秀生  
副会長 間中 晟
- ② 東京第一ホテル錦
- ③ 25名
- ④ ⑤ 設立80周年記念 愛知みやも会の  
定時総会は6月25日(土) 来賓に  
経営政策部長相良秀生様、副会長  
間中晟様の出席を賜り東京第一ホ  
テル錦にて25名の出席にて開催  
いたしました。会長挨拶、来賓の紹  
介および愛知みやも会の沿革を紹  
介し、議次第に沿った議事が進  
行、各議題は報告審議のうえ満場  
一致にて可決された。今年は、昨  
年愛知県南部の懇親会を実施した  
効果があり、初参加者もあり今後  
も県内在住卒業生へホームページ  
などを活用し情報伝達を密にし、  
今以上の活性化をはかることを説  
明された。来賓挨拶では、大学、  
宮陵会それぞれの現況、将来計画  
を紹介いただき、集合写真の撮影  
の後懇親会に入り、女性シンガー  
によるアトラクションを楽しん  
だ。盛り上がりの中、歌詞カード



**岐阜県総会**  
平成28年10月1日(土)

- ① 経営政策部長 池原 治  
専務理事 平能 孝一
- ② 岐阜キャッスルイン
- ③ 25名
- ④ ⑤ 会長挨拶に続き、大学、宮陵会  
来賓の方より、それぞれ近況と今  
後についてご報告頂きました。そ  
の後、収支報告、会計監査報告と  
続き、本年は会則の一部改定が  
あり、審議の上、承認されました。



写真撮影後、懇親会に移り、初めて参加された方に自己紹介願った後、いつものようになごやかに歓談し、交流を深めました。締めで恒例となった会員のウクレレ伴奏により校歌斉唱を行い、盛況のうちに終えることができました。

平成28年10月1日  
第1回役員会開催  
次年度活動計画と概略日程を決定  
平成29年5月下旬  
第2回役員会開催  
総会準備事項の審議  
10月中旬 総会開催

**三重県総会**  
平成28年7月23日(土)

- ① 事務局次長 事務理事 佐藤 武
- ② ホテルグリーンパーク津
- ③ 23名
- ④ 本年度の総会を、例年通り津駅前「ホテルグリーンパーク津」にて開催しました。大学、宮陵会からは、佐藤武様のご臨席を賜り、現在の大学・宮陵会の現状についてのお話を頂きました。夏休みに入った最初の土曜日とあってお子様、お孫様など家族旅行行事のため、出席できない方が若干見えましたが、前年に比べ数名増加の参加数となりました。当会の林氏による交流会についての話、ならび



に岡田氏による駅伝応援エピソードを取り上げました。出席者の皆さんは元気で、それぞれ歓談に楽しい時間を過ごしました。

⑤ 目的・世代・地域を超えたネットワーク作り  
◆目標・交流会出席者毎回20名  
◆情報発信・神奈川大学、三重県宮陵会HPでの情報発信と、メールの活用を推進する  
↓アドレス登録者にはメール送受信による情報交換を行う  
↓総会報告、交流会案内・報告はHP掲載とメール配信による

・年1回会員確認も兼ねて文書にて「総会案内」及び「MINI NEWS」を送る

⑥ 6月4日 \*一般社団法人神奈川大学宮陵会 定時総会  
6月18日 総会準備他  
7月23日 総会・懇親会(ホテルグリーンパーク津)  
10月9日 \*神奈川大学ホームカミングデー  
11月6日 \*第48回全日本大学駅伝対校選手権大会(神大文場)  
11月 第39回交流会  
(平成29年)  
1月2日～3日 \*第93回箱根駅伝  
3月 第2回役員会・総会準備他  
平成28年度第15号  
MINI NEWSの発行

**大阪府総会**  
平成28年6月18日(土)

- ① 事務局次長 勇 真一郎
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ レストラン＆ラウンジ翔 31名
- ④ 今年度の総会は昨年と同様女性会員と若手会員(H27年卒)の出席



があり今後の大阪宮陵会発展においてに寄与してくれる雰囲気になってきました。総会議案では「女性の会」の提案が可決され、年度内発足に向けて活動の展開を図ることとし、担当役員も新たに選任されました。また、現役員を全員留任とし事務局を1名増で充実を図り、来年度大阪が主幹の近畿ブロック会を役員全員が一丸となって臨むこととしました。なお、本部のHP立ち上げ支援のおかげで大阪府宮陵会のHPも昨年より開設することができ、総会案内時及び総会結果報告時に今後の活動状況等を掲載していくので閲覧して下さいと再度周知しました。

⑤ 1. 平成28年度総会 平成28年6月18日(土)  
2. 近畿ブロック会に参加(近畿エリア全会員対象) 平成28年10月2日(日)  
3. 地区会(北摂会)・忘年会の開催 平成28年12月10日(土) 予定  
4. 仮称「女性の会」発足につい

て 年度内の発足に向けて活動  
⑤ 各種同好会の活動  
(1)ひろく旅する会 H29年3月淡路島方面1泊で検討中  
(2)スポーツ同好会 会長林コルフコンへの開催(年3回予定)  
6. 宮陵会関西倶楽部定例会の開催・毎月第4金曜日PM6時より  
大阪府北区 大阪駅前第一ビルB1「ジョニー・ウオーカー」にて  
7. 神奈川大学後援会主催の地区父母懇談会に出席  
平成28年7月2日 大阪第一ホテル  
◎年間を通じて、近畿地区内で開催される母校出場の諸大会への応援参加  
(サッカー、シヨートトラックスビードスケート等)  
箱根駅伝応援の集い(大阪にて)

**和歌山県総会**  
平成28年6月18日(土)

- ① 広報部長 水上 晃
- ② 専務理事 平能 孝一
- ③ ホテルグランヴィア和歌山 22名
- ④ 本年度の総会は大学から水上広報部長、宮陵会からは平能専務理事をご来賓として出席いただくことも、京滋宮陵会池田会長及び兵庫県代表の方が出席下さいました。県内会員の参加が少し減り総員22名で開催されました。病气療養中にも関わらず森川会長がご挨拶に立たれ、来賓の方々より大学の様々な観点からの紹介がありました。宮陵会からは各地域組織の活動の様子や活性化への取り組みを紹介して頂きました。京滋宮陵会の池田会長より本年10月2日に開

**兵庫県総会**  
平成28年7月18日(月・祝日)

- ① 健康科学スポーツ支援部長 大塚 順子
- ② 経済学部教授 戸田 壮一
- ③ 副会長 古川 勝彦
- ④ シーサイドホテル舞子ビラ神戸 27名
- ⑤ 今回の総会には3名の来賓が出席された。古川副会長は、会館の建設予定やホームページの立ち上げなど話され、大塚部長はこの4月に就任した兼子学長の展望などを紹介された。また、戸田壮一教授のアメリカの大統領選挙の講演



は、大変好評だった。「活動報告」県下の地域は広く、南は瀬戸内海、北は日本海に面する。そんな日本海に近い和田山駅近くのホテルで12年ぶりに新年会を開いた。5月に総会のお知らせをホームページに初めて載せた。反応は1名だけだった。県下で11月下旬シヨートラックスビード全日本選抜選手権大会が行われ、現役選手が出場したので応援に行った。また、3年ぶりに女子サッカー部が12月暮れのインカレに出場したので、勝つたびに応援に行った。

**奈良県総会**  
平成28年9月24日(土)

- ① 人事部長 手戸 俊彰
- ② 専務理事 春原 正三郎
- ③ 橿原観光ホテル 9名(含来賓)
- ④ 28年度総会は参加会員7名のもと実施。本年は第2回会員体験談「私の趣味・健康づくり」と題して講話を実施、本体験談を何とかしてシリーズ化し、1人でも多くの会員が魅力を感じるよう小さな組織なりに工夫を凝らし継続することと決定した。
- ⑤ 総会年一回 9月末～10月末



**京滋総会**  
平成28年6月19日(日)

- ① 管財部長 金丸 壽男
- 講演講師 経済学部教授 戸田 壯一
- 専務理事 平能 孝一
- ② 京都新阪急ホテル
- ③ 26名
- ④ 金丸管財部長より大学の近況説明、平能専務理事より宮陵会の現況説明をして頂いた後、総会議事に入り、昨年度の活動報告、会計報告、監査報告、本年度の活動計画、会計予算については、すべて承認されました。戸田壮一教授から「ゼロ金利とアベノミクス」と題して、興味ある演題で講演をして頂きました。講演終了後、全員で写真撮影を行いました。その後の懇親会には大阪府宮陵会より1名、兵庫県宮陵会より2名和歌山県宮陵会より1名奈良県宮陵会より1名の出席を頂き、親睦を図らせて頂きました。今年度の近畿ブロック会は、京滋宮陵会が主催しますので、PRチラシを作り、参加を呼びかけました。今年度は、総会の直近になって体調不良が4名も出てしまい、年齢に合わせた体調管理の必要性を痛感しました。
- ⑤ 1. 総会の開催



- 2. 新年会の開催
- 3. 役員会の開催
- 4. 会参加者の発掘：京都北部会の展開、滋賀北部会の準備
- 5. 神奈川大学の体育会クラブの関西地区大会時の応援
- 6. 近畿ブロック会の推進：今年度は京滋宮陵会が主管する

**広島県総会**  
平成28年11月5日(土)

- ① 健康科学スポーツ支援部長 大塚 順子
- 副会長 宇野 峰雪
- ② ホテルセンチュリー21広島 75名
- ③ 大学の大家部長からは、活躍するスポーツクラブや個人の話を、宇野副会長からは宮陵会館建設の話をして頂きました。どちらも興味深く拝聴させて頂きました。総会の後、今年の広島はカーブ一色なので、元カーブ大野寮寮長で、黒田投手や前田智徳選手を育ててこられた吉田さんから講演をしていただきました。懇親会の最初に全員で大学応援歌を歌い盛り上がりを持って進めていき、元宮面寮の寮生による昔話や寮歌斉唱、学生時代に住んでいた町の思い出話等出席者中心のイベントを行い楽しく盛り上がった懇親会となりました。
- ⑤ 第9回総会開催(11月5日)
- ・役員会(3月、9月の年2回開催)
- ・企画運営委員会の開催(年4回程度計画)
- ・役員会、企画運営委員会の合同開催(年1~2回程度計画)
- ・神奈川大学後援会主催の父母懇談会への出席
- ・「全国地域組織代表者会議」への出席
- ・中国ブロック会への参加
- ・広島県宮陵会親睦ゴルフコンペ

**岡山県総会**  
平成28年6月11日(土)

- 開催(年4回3月、9月、12月計画)
- ・若年層対象の平成会、女性対象の女子会の結成
- ① 事務局長 勇 真一郎
- 副会長 間中 晟
- ② ホテルエクレール岡山 40名
- ③ 「見よや神大 我が母校」応援歌の大合唱で総会が今年も無事終了しました。岡山から遠く離れた、横浜六角橋を懐かしみ、89歳から28歳までの幅広い世代が総勢40名集まりました。総会では、大学の近況報告、事業活動報告があり、初参加者7名の自己紹介後、懇親会に移り、和気あいあいと熱く語り合いました。
- ⑤ 同窓生との親睦とコミュニケーション
- 中国ブロック全体の友好の輪を広げる
- 行事(予定)
- 総会年1回
- 幹事会年4回
- ゴルフ大会年2回



**山口県(防長)総会**  
平成29年2月25日(土)

- ① 学修進路支援部第一部(教務) 事務部次長 吉原 勇樹
- 専務理事 春原 正三郎
- ② 山口グランドホテル 29名
- ③ 本部和学校からと2名の来賓を迎え、それぞれの近況と将来展望を詳しく聞くことができました。初めて参加してくれた3名から自己紹介、参加しての感想などを発表してもらいました。なんと1つても駅伝12年ぶりのシード権獲得、しかも総合5位という成績が大きな話題でした。今回、初めて地元元女子アナを迎えての講演も興味あるものでした。最後に長老の大先輩の音頭で校歌や応援歌を歌い、お互いの健康と活躍を誓いあい、次回の参加も約束して散会しました。
- ⑤ 平成29年
- 4月 花見ツアー(山口地区)
- 7月 役員会(地区支部創設について)
- 12月 役員会(上記経過報告)



**鳥取因幡総会**  
平成28年9月3日(土)

- ① 施設部次長 林 幸治
- 専務理事 平能 孝一
- ② 鳥取シティホテル 22名
- ③ 今回は県中部在住の会員にも呼びかけました。冒頭に池上副会長の「逝去を偲び黙祷を捧げ、新たに浜橋副会長を選出。近況報告や校歌の合唱、カラオケ大会と大盛況でした。
- ⑤ 総会 年1回
- 役員会 年2~3・ゴルフ、釣りなど交流会年2回程度



**島根県総会**  
平成29年1月28日(土)

- ① 学生生活支援事務部次長 古川 昌博
- 専務理事 平能 孝一
- ② サンプルむらくも
- ③ 26名
- ④ 総会は坪内邦至会長から、故西和夫教授が松江城の国宝指定にご苦労され、今日があるとの話、箱根駅伝で見事5位、シード権を取ったことで12年ぶりに出雲駅伝に出場できることが一番の喜びだとの話があった。来賓挨拶で平能専務

**香川県総会**  
平成29年1月3日(火)

- ① 事務局長 勇 真一郎
- ② オークラホテル高松 40名
- ③ 平成29年1月3日(火) 正午から香川県宮陵会総会を開催した。総会終了後、午後1時から懇親会を実施。箱根駅伝復路を会場大型スクリーンで応援観戦した。母校が5位でゴールしたその瞬間、会場
- ⑤ 中国ブロック会 松江開催準備委員会開催
- 出雲大学駅伝競走大会応援その他





2017日本学生トライアスロン選手権観音寺大会応援

10月 全国各地域組織代表者会議  
10月11日 第23回四国ブロック会(香川県宮陵会主催)

愛媛県総会  
平成29年3月18日(土)

- ① 事務局次長 専務理事 佐藤 武
- ② 国際ホテル松山
- ③ 15名
- ④ 大学・宮陵会から佐藤武様に出席していただき、開催しました。大学の現状、そして将来的な構想を佐藤様からお聞きし、また、各地区からの活動報告もあり、非常に有意義な総会になりました。ただ、年度末の慌ただししい時期の開催となったこともあり、出席人数が少なかったのが残念でした。

愛媛県宮陵会宇和島地区会  
平成28年9月17日

四国ブロック会(富知)  
平成28年9月27日  
愛媛県宮陵会大洲・喜多・八西地区総会



愛媛県宇和島地区総会  
平成28年6月18日(土)

- ① なし
- ② 宇和島国際ホテル

③ 7名  
④ 午後4時開催となりました。はじめに愛媛県宮陵会と四国ブロック会に關しての説明・報告がありました。宇和島地区会が発足して来年度20年という事でした。(先輩からの報告がありました)次回は記念すべき総会になるよう計画しようと思ひます。懇親会も和やかに楽しめ期し閉会しました。次回の再会を期し閉会しました。

愛媛県大洲・喜多・八西地区総会  
平成28年9月27日(火)

- ① なし
- ② 愛媛県喜多郡内子町内子3380「吞喜」
- ③ 地区側9名、県より3名、計12名
- ④ ・昨年9月の四国ブロック会からちょうど1年目の会合  
・話題その1は四国ブロック会の種々の反省(香川県からは対応した地区会に礼状が届いた話等)



・話題その2は会員が年と共に減少していく今日、母校も有名になり過ぎて、中央校となり、地方からの入学者は皆無に近い。先を考えると本会も自然消滅となつてしまつて。(会員を増やすことは不可能、そんな状況で)

③ 区会の合併の話も出る。難しい課題を話し合つてみたが結論は出ず。とにかく次回まで元気で、又、なごやかな雰囲気です終了!

福岡総会  
平成28年7月16日(土)

- ① 教育支援センター事務部長 田島 和久
- ② 副会長 古川 勝彦
- ③ グランドハイアット福岡 レッドアローズ
- ④ 今年度の九州ブロック会議が開催される長崎宮陵会会長はじめ近隣地区会長の方も多数参加して頂き、合計22名での開催となり大変盛り上がりがあった会となりました。総会では、今年4月に発生した熊本地震について熊本県宮陵会会長より被害状況を報告して頂き、改めて被害の大きさを感ぜさせられました。最近、昭和50年以前卒の先輩方の出席が減つておりとても残念です



⑤ 年1回程度の地区会  
・有志による「ぎずな公園」の掃除(年2〜3回程度)  
・地区会設立20周年記念行事(平成29年中)  
・米田先生のふるさと(論田自治会)が「村おこし」を目的に取り組み「米田吉盛氏企画展」の支援(平成29年)

念ですが新たな出席者が3名増えたことを喜ばしく思います。来年度は九州ブロック会の担当であるため先輩方や平成卒の出席者が増えるような活動を続けていきたいと思ひます。

筑豊総会  
平成29年2月19日(日)

- ① 研究支援部長 村川 浩幸
- ② 副会長 間中 晟
- ③ 料亭 佐賀屋
- ④ 平成29年神奈川大学筑豊宮陵会を開催。前会長坂井公明氏が急逝され引継を受けることなくまた前会



⑤ 神奈川大学父母懇談会  
・応援隊演奏(横浜市 ハマこい2016)  
11月 九州ブロック会(長崎)  
・応援隊演奏  
北九州宮陵会総会 応援隊  
9月 応援隊演奏(横浜市 ハマこい2016)  
9月 九州ブロック会(長崎)  
・応援隊演奏  
北九州宮陵会総会 応援隊

長がほとんど一人で処理されていたため、準備等で不手際があったかと思ひます。前回より参加者が7名少なくなつてしまつた点等。二次会も例年通り開催し、北九州宮陵会のメンバーと大学の村川氏も参加され、総会後の懇親会以上に盛り上がり、来年も又会いましょうで閉会しました。

北九州総会  
平成28年11月26日(土)

- ① 事務局長 勇 真一郎
- ② 副会長 間中 晟
- ③ ホテルクラウンパレス小倉
- ④ 今年度の出席者は北九州宮陵会から14名、福岡宮陵会、筑豊宮陵会、熊本宮陵会、求實として大学と宮陵会本部から、合計24名でした。今年度は熊本で大きな震災がありまして、宮陵会九州ブロック全体で義援金を渡しました。嬉しいこともありました。平成28年卒業の後輩が初めて出席しました。



⑤ 九州ブロック会への参加  
・北九州宮陵会総会参加  
・福岡宮陵会総会参加  
・ゴルフ親睦会の開催  
・筑豊地区在住の卒業生に大学からの情報を提供する。  
筑豊宮陵会総会の開催

- ⑤ 平成29年  
1月3日 総会・懇親会  
会報「神大レポート 第13号」を発行  
2月 第71回香川丸亀国際ハーフマラソン大会応援  
4月 役員会(6月、9月、12月にも開催予定)  
6月 宮陵会総会  
7月 夏季親睦行事  
8月〜9月 (ピアバイキング)



**佐賀県総会**  
平成28年8月7日(日)

① 会長 大場 憲治  
事務局長 専務理事 佐藤 武  
② グランデ はがくれ

「神奈川大学福岡宮陵会応援隊」が9月10日、横浜などみらいで開催された「ハマコイ2016」に出場し、北九州宮陵会からも参加しました。そのビデオが会場を大いに沸かせました。

⑤ 平成29年  
2月6日(月)  
企画委員会 事務局  
3月25日(土)  
役員会 観桜会 観山荘別館  
4月3日(月)  
企画委員会 事務局  
8月7日(月)  
企画委員会 事務局  
9月30日(土)  
九州ブロック会福岡大会  
福岡宮陵会担当  
10月16日(月)  
企画委員会 事務局  
11月4日(土)  
役員会  
ホテルクラウンパレス小倉  
11月25日(土)  
北九州宮陵会総会  
ホテルクラウンパレス小倉



**熊本県総会**  
平成29年3月4日(土)

① 経営政策部 経営政策課長 田島 睦浩

③ 16名(含む来賓)  
④ お二人の来賓のご臨席を賜り、宮陵会本部及び大学の最新情報、九州各県の情報等をご提供頂きました。議事の予算、決算等の議案は原案通り全会一致で承認されました。今回は、佐賀県宮陵会前会長の松下武志様が春の叙勲受賞、前幹事長の徳島敏弘様が宮陵会本部からの感謝表彰の受賞があり、懇親会はお二人の祝賀会を兼ねての実施となりました。若手の初参加もあり、有意義な総会でした。

⑤ 佐賀県総会(欠席者には資料の送付)  
九州ブロック会 長崎大会への参加  
最新名簿による会員の振り起こし  
・ 最新名簿による会員の振り起こし  
・ 人脈活用に関する会員相互の情報提供

**大分県総会**  
平成28年9月3日(土)

① 事務局長 花嶋 とみ子  
② 副会長 間中 晟  
③ 29名  
④ 平成28年9月3日(土)、大分市内トキハ会館にて「平成28年度大分県宮陵会総会」を開催しました。

② 副会長 古川 勝彦  
③ 鶴屋百貨店東館7階 カーネーションサロン  
④ 今回の定時総会は熊本地震からの復興・復興を祈念し、「復興元年総会」との位置付けをし、大学・宮陵会本部・各地区宮陵会よりいただきました義援金や激励に対する御礼の気持ちを込めて開催することと致しました。当日は総会に先立ち震災の報告会として、被害状況や被災者からの体験報告、義援金の使用報告を行いました。その後の総会では来賓挨拶の後、前会長の中川眞澄会員(40年工経卒)、前副会長の安達俊昭会員(35年法律卒)、富永征男会員(38年電気卒)の功労者表彰を行った後、議事に移りました。各議案の審議も承認いただき無事に総会を終了致しました。懇親会は、田尻武理事(42年経済卒)のギター演奏により幕を開け、九州各地区よりご参加いただきました地区会長よりのご挨拶、また12年ぶりにシード権を獲得しました箱根駅伝の話題等終始賑やかな宴となりました。

⑤ 毎月第三水曜日 理事会開催  
6月17日(土)  
第10回慶祝会(慶祝いの会)開催  
9月30日(土)  
九州ブロック会福岡大会参加  
・ 通年 各地区開催  
(城北、城南、人吉・球磨、天草)  
・ 通年 ホームページ運用

**鹿児島県総会**  
平成28年11月19日(土)

① 研究支援部次長 田口 澄也  
② 鹿児島東急R.Eーホテル 25名  
③ 昨年は九州ブロック会の担当であったが、鹿児島県の総会の時間が限られていた。会長、事務局長の交代の説明と全役員へのお礼を改めて行った。当日は宮陵会平能専務理事が体調不良で急遽欠席され、その分を大学の研究支援部田口次長に宮陵会と大学の近況をたっぷりお話を頂いた。また、

④ 長崎での九州ブロック会に参加  
⑤ 総会では平成27年度の報告と監査報告、28年度の計画、予算案が共に承認され、その後懇親会、会員の親睦を深めました。

① 平成28年度総会前打ち合わせのため、役員会開催  
② 大学主催の大分市内の父母懇談会に参加  
③ 大分県宮陵会総会と懇親会開催  
④ 長崎での九州ブロック会に参加



**沖縄県総会**  
平成28年11月19日(土)

① 事務局次長 専務理事 佐藤 武  
② ネストホテル那覇 15名  
③ 平成27年の総会において幹事会の設置を決定し、今回の総会に向けて定期的な会合を持って来ました。そして、今総会において長年会を牽引してきた砂邊会長から阿佐慶会長にバトンタッチし、役員も一新いたしました。



**同学会大連総会**  
平成28年9月10日(土)

① 名誉教授 大里 浩秋  
特別招聘教授 馬 興 国  
教授 出雲 雅志  
教授 孫 安 石  
教授 鳴瀬 成洋  
教授 山口 建治  
准教授 中村 みどり  
事務局次長 明比 卓  
副会長 宇野 峰雪  
② 大連華信技術交流中心  
③ 28名  
④ 今年は5周年ということで、大々的に開催しました。昨年までと同様、講演会を同時開催し、名誉教授の大里浩秋先生を講師としてお招きしました。また、大連の各大学を歴訪中の大学代表団、大連企

⑤ 2か月に1回程度幹事会を開催  
・ 半年に1回役員会を開催  
・ 6月14日(水)沖縄宮陵会親睦会を予定  
・ 夏にビーチパーティーを検討中

業見学できていた中国語学科の先生と学生たちにも参加いただきました。更に、東北财经大学と遼寧師範大学を中心に、大連の大学教授と学生も26名を招待しました。わたしたちの総会であったとともに、大学間の素晴らしい交流になりました。

⑤ 会員同士の交流会

今後は大連の大学とも交流を増やせたら良いと思っています。

(神奈川大学の大会での知名度向上に寄与したい) また、上海宮陵会との交流も行ってみたいと思っています。

磯子区総会

平成29年1月29日(日)

① 施設部長 飯田 泰弘

専務理事 春原 正三郎

② 横浜市社会教育コーナー

③ 23名

④ 平成29年1月29日(日) 午後2時

より5時まで、横浜市社会教育コーナーで磯子区宮陵会平成28年度総会が行われました。春原専務理事様、飯田施設部長様を迎え、合計23名の参加のもと、深谷事務局次長司会のもと、総会が執り行われました。まず会長より挨拶があり、続いて春原専務理事様、飯田施設部長様のご挨拶を頂きました。議事は28年度事業報告・決算報告・監査報告と進み、平成29年度の事業計画・予算計画を審議いたしました。第二部の講演会では『第四次産業革命とは』として長田賢講師より「第四次産業革命とは何か」をテーマに講演いただきました。第三部の懇親会では磯子駅前のサイゼリヤで和やかな雰囲気の中、会員相互の親睦意見交換が行われました。

⑤ 平成29年1月 通常総会

2・4・6・8・11月

定例会(磯子区杉田劇場会議室)



3月 春の親睦会兼定例会

(杉田付近)

5月 箱根親睦会兼定例会

(神大保養所)

7月 納涼会 兼 定例会

9月 工場見学会(学生懇談会)

10月 ホームカミングデー出席

12月 忘年会

平成30年1月 箱根駅伝応援

神奈川区総会

平成28年11月26日(土)

① 学生生活支援部

事務部長 松沢 隆

② 専務理事 春原 正三郎

③ 【見学会】神奈川大学横浜キャンパス29号館国際センター

④ 【総会】神奈川大学横浜キャンパス8号館41講堂

⑤ 23名

開催に際し、昨年竣工された国際センターの見学を行った。案内を職員の見学を行った。案内を参加された会員の皆さんは興味を持って見学され、質問も多くなされた。

れていた。総会では、平成27年度の活動報告及び収支決算報告を行い、全会一致で承認された。続いて、平成28年度事業計画及び収支予算案の説明を行い、全会一致で承認された。懇親会では大学よりお越しいただいた松沢様、宮陵会よりお越しいただいた春原様より大学の近況をお話いただいた。また、途中フランクソウクルの口スガトスによる演舞があり、演舞後は、12月に行われる演舞の告知をしながら会員と一緒に懇親を深め、盛会のうちに終了した。

⑤ 平成28年

6月 全日本駅伝予選会応援

7月 幹事会

10月 有志による箱根駅伝予選会応援

10月 ホームカミングデー出席

10月 神奈川県ブロック会参加

11月 神奈川区宮陵会総会

【平成29年】

1月2日・3日

駅伝応援(応援者にホッカイロ進呈)

このほか、本年度はホームページの開設を行い、広く広報活動や情報の提供を行う。

南区総会

平成28年10月1日(土)

① なし

② パブ「セリーヌ」

③ 10名(欠席2名)

④ 出席は10名でしたが、和気あいあいと総会を盛り上げることができて安堵です。一部で講演「横浜の今昔物語」開港時から日本の中心地である横浜が遠浅の海の中であつた内閣と関係(吉田新田の干拓工事後、来年で350年)の歴史的話。二部で総会(1)事業実施報告(2)会計報告(3)29年度事業実施計画(4)写真撮影。三部で親睦会(カラオケ、雑談)。



保土ヶ谷・旭区総会

平成28年6月18日(土)

① 事務局次長 専務理事 佐藤 武

② 横浜キャンパス1号館804会議室

③ 19名

④ 今年度は、久しぶりに講演会を企画し、その後、総会を行いました。総会への参加者を少しでも多くする為でしたが、昨年を少し上回る程度でした。また、今年度は役員改選の期にあたり会長、副会長1名の交代のほか、幹事が2名交代となり、若返りが図られました。今後も会員の理解と増員が図られるような新たな企画など検討していきたいと思えます。講演会は、最先端の再生医療について、専門家の萩池洋子先生をお招き



保土ヶ谷・旭区宮陵会総会

平成28年4月16日(土)

① 事務局次長 花嶋 とみ子

② 専務理事 平能 孝一

③ 宮陵会談話室

④ 12名

⑤ 宮陵会談話室において総会を開催し、懇親会は港南区との合同にて実施しました。各議案は無事に承認され、また今回初めての方も参加いただき、参加者の自己紹介と





- ① 事務局次長 花嶋 とみ子  
専務理事 平能 孝一
- ② 横浜キャンパス1号館3階会議室  
15名
- ③ 総会は庄子忠宏会長の挨拶、27年

- ④ 港南区総会  
平成28年4月16日(土)
- ⑤ 1. 事業計画を具体的に推進するために年4回の役員会
- 2. 会員相互の親睦のため旅行、ウォーキング等の趣味の会
- 3. 神奈川大学教授による文化・教養講座の開催
- 4. 鶴見川流域清掃を主体とした社会・地域貢献としての活動
- 5. 箱根駅伝の応援
- 6. 会員の親睦と勉強会の開催
- 7. 定時総会の開催
- 8. 創立10周年記念祝賀会の開催
- 9. その他大学、宮陵会が開催する行事への積極的参加



- ⑤ 1. 事業計画を具体的に推進するために年4回の役員会
- 2. 会員相互の親睦のため旅行、ウォーキング等の趣味の会
- 3. 神奈川大学教授による文化・教養講座の開催
- 4. 鶴見川流域清掃を主体とした社会・地域貢献としての活動
- 5. 箱根駅伝の応援
- 6. 会員の親睦と勉強会の開催
- 7. 定時総会の開催
- 8. 創立10周年記念祝賀会の開催
- 9. その他大学、宮陵会が開催する行事への積極的参加

**相模原総会**  
平成28年11月5日(土)



- ① 理事 事務局次長 永和田 隆一  
会長 大場 憲治
- ② 相模原市民会館
- ③ 28名
- ④ 【総会】
- 1. 会長挨拶 会長 高橋 一行
- 2. 表彰感謝表彰 元副会長 菊池則男氏に対し、神奈川大学宮陵会会長大場憲治氏より、表彰状並びに記念品が授与された。なお、同表彰者であり、元会長の桐生忠一氏は所用により欠席であった。
- 3. 来賓挨拶 宮陵会会長 大場憲治氏 大学近況報告 理事・事務局次長 永和田隆一氏
- 4. 議長選出 慣例に基づき高橋会長が選出された。
- 5. 総会議事 (1)会計報告及び経過報告・堀江会計担当から、別紙に基づき説明、また石川達会計

**秦野市総会**  
平成28年5月21日(土)



- ① 平塚事務部事務部長 辻 洋一  
専務理事 春原正三郎
- ② グランドホテル神奈中2階
- ③ 13名
- ④ 【「東光苑」】
- 1. 箱根駅伝応援・新年会 平成29年1月2日、3日
- 2. 箱根湯本駅前応援ポイント 新年会 箱根湯本駅上 かつば天国
- 3. 近隣宮陵会との交流
- 4. その他
- 5. 箱根駅伝応援・新年会 平成29年1月2日、3日
- 6. 箱根湯本駅前応援ポイント 新年会 箱根湯本駅上 かつば天国
- 7. 近隣宮陵会との交流
- 8. 総会・懇親会
- 9. その他

**箱根町総会**  
平成28年6月20日(月)



- ① 事務局次長 勇 真一郎  
副会長 間中 晟
- ② ホテルおかだ
- ③ 11名
- ④ 平成28年度総会も例年同様に、交通の便が良い場所で開催しました。回を重ねることに、出欠回答が増えますが、出席者は減少してしまいました。大学・専門学校の卒業生のうち連絡先をお届けいただいている諸先輩方は秦野市内に約916名居住されており、返信される葉書の通信欄を拝見しますと、心温まるお言葉が書かれ秦野市宮陵会の活動に対してのご支援がなお一層増していると感じます。今回の総会では出席者の自己紹介を行い、在学時代の懐かしい思い出話や、現在のご活躍の近況をご報告いただきながら、親交を温め、思い出にひたるひとときを共有いたしました。
- 5. 総会(5月21日)
- 6. 親睦旅行(1月18日~19日)
- 7. 湘南ひらつかキャンパス大学祭(平塚祭) 宮陵会出張展ブース支援
- 8. 箱根駅伝古道応援(1月2日~3日) 1月2日夕刻新年会

**平塚市総会**  
平成29年1月3日(火)



- ① 事務局次長 専務理事 佐藤 武  
ホテルサンライズガーデン
- ② 22名
- ③ 11名
- ④ 平成28年度総会を箱根湯本、ホテルおかだにおいて6月20日(月)午後6時より開催しました。大学より専務局長、宮陵会より山中副会長、南足柄宮陵会より山本会長の3名が来賓として参加していただきました。また箱根大涌谷の火山活動の情報等、3時間歓談し、盛況のうちにお開きになりました。会長選任 永峯暉夫氏から村上東司氏に変更承認。
- 5. 箱根駅伝応援
- 6. 箱根町宮陵会総会



**西多摩総会**  
平成28年10月2日(日)

- ① 研究支援部次長 田口 澄也  
副会長 古川 勝彦
- ② パレスホテル立川
- ③ 8名
- ④ 箱根駅伝予選会が地元で開催される様になって、その前に総会と集

計画を審議、承認された。懇親会では会場の大スクリーンに箱根駅伝の映像が映し出され、戦況に一喜一憂しながらの懇親会だった。会長、来賓の挨拶の後、出席者全員の前近況報告があった。今回は終始シード権内での箱根駅伝の応援であったが、例年以上に会場のボルテージが上がっていた。校歌斉唱を行った後、佐藤様が「エール」を送り終了した。

- ⑤ ・箱根駅伝の応援
- ・会員拡大の推進及び交流事業の検討
- ・宮陵会事業・大学事業への協力
- 神奈川県ブロック会参加
- 総会に参加
- 全国各地域組織代表者会議出席
- 平塚祭へ参加
- ホームカミングデーへ参加



**南足柄総会**  
平成28年6月11日(土)

- ① 事務局次長 専務理事 佐藤 武
- ② 南足柄市女性センター
- ③ 12名
- ④ 昨年度は、会員拡大を図るため、

いを開くようになりまし。参加者は少数精鋭ですが、会員からの返信ハガキでは多くの方々が当日応援に行きます。西多摩宮陵会も先輩が創設してから17年になります。我々はそれを継続することで活動をしてきました。会員の高齢化と新規会員の参加で運営されています。これからは若い会員や女性の会員を望むところです。

- ⑤ ・神奈川大学と宮陵会の発展のために協力
- ・年1回の「総会と集い」を開催(当面は9・10月)
- ・駅伝予選会のある時は会員への応援依頼
- ・年4回以上の役員と有志による定例会開催
- ・年1回の会報発行
- ・協賛費納入会員への宮陵会からの資料発送
- ・その他

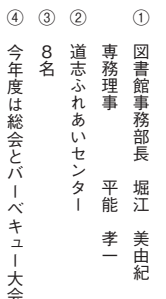


**三浦半島総会**  
平成28年6月19日(日)

- ① 大学資料編集室長 池原 治  
専務理事 春原 正三郎
- ② 横須賀セントラルホテル5階
- ③ 46名
- ④ 第一部では鈴木会長が挨拶を行い、引き続き平成27年度の事業報告、決算、監査報告、役員の改正案(現役員に新しい役員2名を加え)を審議し、さらに、平成28年度の事業計画収支予算案を審議し、原案通り満場一致で承認され

南足柄市ほか5町(大井町、開成町、中井町、松田町、山北町)の卒業生に対し、南足柄宮陵会への「加入のお願い」の通知を送付したところでありますが、引き続き、いろいろな方法で会員拡大を図る考えでありますので、力添えをお願い致します。

- ⑤ 1. 会則に基づき、名簿の整理
- 2. 会員拡大の推進
- 3. 会員相互の親睦行事の計画
- 4. 箱根駅伝競走の応援
- 5. その他、必要な事業を行う

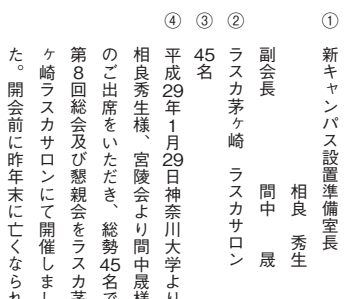


**津久井総会**  
平成28年5月15日(日)

- ① 図書館事務部長 堀江 美由紀  
専務理事 平能 孝一
- ② 道志ふれあいセンター
- ③ 8名
- ④ 今年度は総会とパーベキュー大会

ました。第2部は特別招聘教授上村大輔氏に「天然医薬リードを求めて」と題して記念講演会を1時間行っていた。一般市民3名も参加して熱心に聴講しました。第3部は、大学当局の池原治氏、宮陵会の春原正三郎氏から祝辞をいただき、開会のあいさつは中川副会長、乾杯は村田計監査の発声で宴が始まりました。今回は女性2名、平成生まれの若い卒業生も参加して楽しい一時を過ごし、最後に校歌を斉唱して、中締めは内藤副会長が挨拶し散会しました。

- ⑤ ・親睦を深めながら母校の発展に寄与し、会員増強への基盤づくりを図る。
- (具体的にはホームカミングデー、箱根駅伝の予選会及び本選、硬式野球部・サッカー部・アメリカンフットボール部等の応援、大学祭、吹奏楽部の定期演奏会等)
- ・総会及び新年会の開催(平成29年1月) 記念講演会は地域貢献の一環として一般市民可。
- ・広報活動の継続と同好会への支援
- ・「ジンドアイノベーション」と今後も連携し、さらに若い卒業生や現役学生との交流を図ると共に卒業生の参加対策を図っていく。
- ・役員会の開催(4月、9月、12月、3月の第2土曜とし、場所は各地区持ち回り)
- (必要に応じ臨時役員会を開催)

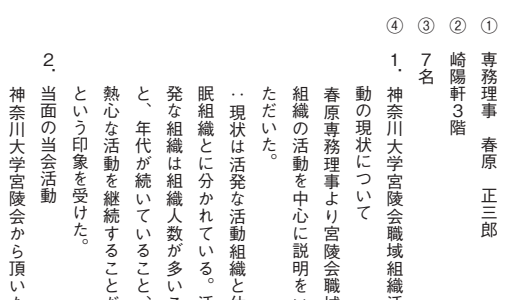


**茅ヶ崎・寒川総会**  
平成29年1月29日(日)

- ① 新キャンパス設置準備室長 相良 秀生  
副会長 間中 晟
- ② ラスカ茅ヶ崎 ラスカサロン
- ③ 45名
- ④ 平成29年1月29日神奈川大学より相良秀生様、宮陵会より間中晟様のご出席をいただき、総勢45名で第8回総会及び懇親会をラスカ茅ヶ崎フスカサロンにて開催しました。開会前に昨年末に亡くなられ

を同日に行った。総会には大学と宮陵会から幹部、役員を派遣していただき、それぞれの近況をお話いただいた。総会は津久井宮陵会の活動4項目を確認し終了した。続いて、準会員交流事業としての留学生招待パーベキュー大会を開催した。(学生参加19名)

- ⑤ 1. 会報の発行
- 2. 総会の開催
- 3. 母校への寄与(米田吉盛教育・スポーツ文化への寄付)
- 4. パーベキュー大会の開催(会員間および学生との交流親睦)



**JFE総会**  
平成28年11月17日(木)

- ① 専務理事 春原 正三郎  
崎陽軒3階
- ② 7名
- ③ 1. 神奈川大学宮陵会職域組織活動の現状について
- ④ 春原専務理事より宮陵会職域組織の活動を中心に説明をいただいた。
- ・現状は活発な活動組織と休眠組織とに分かれている。活発な組織は組織人数が多いこと、年代が続いていること、熱心な活動を継続することだという印象を受けた。
- 2. 当面の当会活動
- 神奈川大学宮陵会から頂いた

総会及び懇親会を開催すると共に神奈川大学運動部及び学生ボランティア活動を応援してまいります。

- ⑤ 総会及び懇親会を開催すると共に神奈川大学運動部及び学生ボランティア活動を応援してまいります。







⑤ 毎年度1回総会を開催

① 専務理事 春原 正三郎  
 ② 神奈川大学16号館  
 宮陵会本部談話室  
 ③ 10名  
 ④ 今年度の三洋みやも会総会は母校・宮陵会本部での開催となり、春原専務理事兼事務長をお招きして、大学や宮陵会の近況、それにスポーツ、文化等各部の活躍を伺うことができました。また久しぶりに発展著しい母校の姿を目の当たりにして改めて同窓の絆を深めた次第です。総会終了後、懇親会を開催し、今後も会員相互の交流の場として毎年度総会を開催していく旨、決意を新たにいたしました。

**三洋みやも会総会**  
 平成29年1月28日(土)

① 専務理事 春原 正三郎  
 ② 神奈川大学16号館  
 宮陵会本部談話室  
 ③ 10名  
 ④ 今年度の三洋みやも会総会は母校・宮陵会本部での開催となり、春原専務理事兼事務長をお招きして、大学や宮陵会の近況、それにスポーツ、文化等各部の活躍を伺うことができました。また久しぶりに発展著しい母校の姿を目の当たりにして改めて同窓の絆を深めた次第です。総会終了後、懇親会を開催し、今後も会員相互の交流の場として毎年度総会を開催していく旨、決意を新たにいたしました。



**神奈川大学学内総会**  
 平成28年6月10日(金)

① 常務理事 小林 孝吉  
 ② 専務理事 平能 孝一  
 ホテル横浜キャメロットジャパン  
 35名  
 ③ 今年度は、場所をホテルキャメロットジャパンに戻して総会・懇親会を定刻通り開催した。(会員199名、委任状86名、出席35名)。2015年度活動報告、会計報告、並びに監査、役員改選案、2016年度活動計画(案)・予算案(案)が審議され、いずれも賛成多数で可決した。庶務・梶山妙子(就職課)、坂上玲美(教務課)、高峰徹(平塚学生課)、古川昌博(学生課) 会計・柴田啓介(人事課)、監査・松原翔(学生課)、岡岡卓哉(管財課)の改選が承認された。すべての議案が承認され、総会は閉会となった。その後懇親会を開催した。恒例のビンゴ大会は、司会として人間科学部卒業生で吉本興業のお笑い芸人、あいすけ、さんにお願ひし、おおいに盛り上がった。内田会長による電源コンセント抜きハブリングもあつたが、年に一度の親睦をはかった。参加者62名と盛会に終わった。

① 専務理事 春原 正三郎  
 ② かながわ労働プラザ 4階 第9会議室  
 ③ 9階 味彩  
 ④ 13名  
 ⑤ 平成28年度定期総会を開催するにあたり、神奈川大学宮陵会本部より春原正三郎専務理事様をお迎えし、宮陵会の運営や母校に関する丁寧な報告を頂いた。総会は27年度事業報告・28年度事業計画を

**川本工業総会**  
 平成28年12月7日(水)

① 専務理事 春原 正三郎  
 ② かながわ労働プラザ 4階 第9会議室  
 ③ 9階 味彩  
 ④ 13名  
 ⑤ 平成28年度定期総会を開催するにあたり、神奈川大学宮陵会本部より春原正三郎専務理事様をお迎えし、宮陵会の運営や母校に関する丁寧な報告を頂いた。総会は27年度事業報告・28年度事業計画を

① 専務理事 春原 正三郎  
 ② かながわ労働プラザ 4階 第9会議室  
 ③ 9階 味彩  
 ④ 13名  
 ⑤ 平成28年度定期総会を開催するにあたり、神奈川大学宮陵会本部より春原正三郎専務理事様をお迎えし、宮陵会の運営や母校に関する丁寧な報告を頂いた。総会は27年度事業報告・28年度事業計画を

① 専務理事 平能 孝一  
 ② ブリーズベイホテル  
 ③ 31名  
 ④ 我々職員の間には在籍店舗や同期等たくさんつながりがあるかと思いますが、その中で同じ大学の同窓生という仲間つながりがあつても良いのではないかとこの趣旨により設立されました。

**横浜信用金庫総会**  
 平成28年11月4日(金)

① 専務理事 平能 孝一  
 ② ブリーズベイホテル  
 ③ 31名  
 ④ 我々職員の間には在籍店舗や同期等たくさんつながりがあるかと思いますが、その中で同じ大学の同窓生という仲間つながりがあつても良いのではないかとこの趣旨により設立されました。



① 法学部准教授 坂本 宏志  
 ② 専務理事 春原 正三郎  
 横浜キャンパス3号館207室  
 1号館806会議室

**社労士会総会**  
 平成28年11月12日(土)

① 副会長 間中 晟  
 ② 神奈川大学 1号館806会議室  
 ③ 10名  
 ④ 平成28年12月9日、宮陵会より同副会長様のご出席をいただき、第29回クリエイトメディック宮陵会の総会を神奈川大学1号館806会議室にて開催しました。総会および懇親会では、間中副会長様より大学や宮陵会の近況などをお話いただき、楽しく有意義な総会となりました。

**クリエイトメディック総会**  
 平成28年12月9日(金)



① 副会長 間中 晟  
 ② 神奈川大学 1号館806会議室  
 ③ 10名  
 ④ 平成28年12月9日、宮陵会より同副会長様のご出席をいただき、第29回クリエイトメディック宮陵会の総会を神奈川大学1号館806会議室にて開催しました。総会および懇親会では、間中副会長様より大学や宮陵会の近況などをお話いただき、楽しく有意義な総会となりました。

相談者が少なく反省の余地を残す結果となりました。来年度以降、他土業にも働きかけ、各土業のプーイスを設けて、一層盛んな出展を行ってまいります。他大学社労士会の交流は、関東の社労士会を設立している大学が集まって関東校友会連合会（仮称）を設立します。当会も積極的に参加し、より交流を深めていきたいと考えております。

**三十路会総会**  
平成28年10月9日(日)

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 神奈川大学20号館102教室
- ③ 7名
- ④ 会の解散について
- ⑤ 未定



**珊瑚の会総会**  
平成29年3月5日(日)

- ① 専務理事 春原 正三郎
- ② 神奈川大学19号館



- ③ ラックスホール
- ④ 26回定期総会を開催  
会計報告、監査報告、活動報告、3年毎の役員改選、記念撮影
- ⑤ 平成28年3月5日

- ⑤ 第25回定期総会、懇親会 大学19号館ラックスホール
- 5月23日
- ④ 神大箱根保養所1泊2日懇親会 参加者12名
- 6月15日
- ③ 「KU東北ボランティア駅伝」支援金 ¥35,000
- 7月25日
- ② 監査役 中谷正一氏通夜に参列
- 8月4日
- ① 浅草演芸ホール観笑 参加者15名
- 9月26日
- 横浜銀座ライオンにて幹事会、参加者16名

10月10日  
神大ホームカミングデー 35年卒参加者42名  
12月5日  
横浜西口、北海道にて幹事忘年会参加者19名  
平成29年1月2日3日  
箱根駅伝、各地で応援  
2月4日  
珊瑚会会長ほか次期役員について打ち合わせ

**三進宮陵会総会**  
平成29年1月25日(水)

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 三進工業株式会社
- ③ 本社・工場 本館食堂
- ④ 11名

④ 昨年末、(一社)神奈川大学宮陵会より143番目の地域組織として発足許可が理事会で承認された旨の通知を受け、急遽1月25日(水)本社2階食堂において設立発起総会を開催した。当日はご多忙の中、平能専務にご出席いただき、来賓挨拶で活動状況や将来構想をご紹介頂き、会員11名(議長への委任26名)により、落合会長が議長となり議案を審議し、満場一致で承認された。この後、手料理にて懇親交流会が和気藹々楽しんだ。



# ディーエムエスの通販物流ソリューション



物流サービスの更なる充実を図り、通販事業者様の業務効率向上・売上拡大に貢献します。

川島ロジスティクスセンター



- 最新マテハン機器**  
入庫から梱包までをオートメーション化
- フルフィルメント**  
商品撮影や流通加工など周辺業務を提供
- 販売促進サポート**  
CRMや同梱広告により売上拡大に貢献

http://www.dmsjp.co.jp   ●公式フェイスブックページ開設中 <http://www.facebook.com/DMScorp>

株式会社 ディーエムエス  
 本社 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-11 千代田小川町クスタ Tel. 03-3293-2970  
 大阪支社 〒535-0031 大阪市旭区高殿7-15-8 Tel. 06-6955-2231  
 福岡営業所 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-27 第16岡部ビル2F Tel. 092-471-7321





⑤ 平成29年4月 第2回総会  
平成30年1月  
箱根駅伝応援ツアー&新年会

**ボフシング部OB会総会**  
平成28年12月10日(土)

- ① 専務理事 平能 孝一  
神奈川県大学1号館8階 ラウンジ  
ストップオーバー1806
- ② 1. OB会会長の挨拶・池田会長 (S22卒)
2. 平成28年度決算報告、平成29年度予算案・小田吉哉 (S56卒)
3. OB会の活動について…油科 正光 (S59卒)
- ・現在、連絡先のわかっていないOBは132名。
- ・公募制推薦 (スポーツ・音楽推薦) 入学試験募集の現状 (2名決定)

- ④ 17名
- ③ 平成28年度総会はOB10名の出席で開催されました。当日は、今後の活動内容や現役側からの報告に対し活発な意見交換が行われました。総会終了後、佐藤武専務理事、陸上競技部現役部員102名を迎え、懇親会を行いました。佐藤専務理事はじめ来賓の皆様から現役部員に向けて激励のお言葉を

**陸上競技部OB会総会**  
平成28年5月29日(日)

- ② 1 事務局次長 専務理事 佐藤 武  
横浜キャンパス1号館  
804会議室
- ① 2. 公募制推薦への支援 (監督への経費の支援等)
3. 広報活動
4. OB慶弔金対応
5. 試合案内や結果報告 (メールや葉書など)

- ⑤ 1. 部への支援 (練習用具の支援・監督コーチへの指導料等)
  2. 公募制推薦への支援 (監督への経費の支援等)
  3. 広報活動
  4. OB慶弔金対応
  5. 試合案内や結果報告 (メールや葉書など)
- ・安藤幹事長と三村幹事が退任  
総会終了後には、OB、現役部員を交え、懇親会が開催されました。司会進行は引き続き、井草幹事が担当しました。池田会長、宮陵会の平能孝一専務理事、空手部の高橋総監督の挨拶後、黒田副会長 (S39卒) による乾杯の音頭、以後、歓談へと移りました。途中、何名かのOBに近況を話して頂き、海藤監督からは部活動報告、現役部員の自己紹介、最後に木村一郎OB (S31卒) の挨拶、永田 (主将) による校歌・応援歌・エール、荒井忠男OB (S35卒) による3本締めにて無事終了致しました。



- ② ① 専務理事 平能 孝一  
横浜キャンパス16号館  
宮陵会談話室

**バスケットボール部OB会総会**  
平成28年7月9日(土)

頂戴しました。総勢100名を超える参加者で、最後には校歌斉唱をし、OB・学生との交流を持つことが出来ました。



# 塗装・防水のことなら 何でもご相談ください。

マンション・戸建住宅の内・外壁改装の  
塗りかえ工事

工場の鉄骨塗りかえ  
工場床厚塗塗装  
内装工事  
ほか改修工事なんでもOK



国土交通大臣許可 (特-28) 第442号  
(社) 日本塗装工業会会員

## 株式会社 千代田

代表取締役 北野 紘一  
(神大法39卒) レスリング部OB会名誉顧問

専務取締役 北条 さとし  
(神大工学部応用化学科49卒)

神奈川レスリング協会会長  
元衆議院議員 (元内閣官房副長官)  
(神大法44卒) 斎藤 つよし

**本社** 〒240-0035  
横浜市保土ヶ谷区今井町159-201  
電話 045 (355) 6008 (代表)  
FAX 045 (355) 6011

**営業所** 東京都墨田区東向島4-39-14  
電話 03 (3614) 3583  
FAX 03 (3614) 3589

**出張所** 神奈川県足柄下郡箱根町強羅1-322-19  
電話 0460 (82) 0377

22名  
④ 総会では財政難の中、会費未納者への対策、現役への支援策、若年層の活動への参加などに対して活発な意見が出された。大学への入学年別に学年幹事を任命しているが本総会では欠員補充をして組織強化をした。学年幹事を中心に若年層の意見も積極的に取り入れ、役員の世界交代を進めていこうと締めくくった。

⑤ H28年4月～6月  
現役のリーグ戦応援  
7月 O B会定期総会開催  
8月 会報33号発行  
9月 役員会開催  
9月～11月  
現役のリーグ戦の応援  
H29年2月  
会報34号発行  
卒業生を送る会開催現役との懇親会

7月22日(土)  
O B会定時総会・女子創部40周年祝賀会

**空手部OB会総会**  
平成28年6月25日(土)

- ① 専務理事 佐藤 武
  - ② 事務局長 横濱キャンパス10号館学生食堂
  - ③ 17名
  - ④ 本年度は昨年の75周年イベント総会の翌年という事で通常の事業計画での活動となりますが、10月23日(日) 神奈川県大学空手道選手権大会を当大学体育館で実施します。大学関係者の皆様のご協力をお願いいたします。
  - ⑤ 1. 会報の発行(年一回)  
2. ホームページ  
3. 現役学生・指導者へのフォロー
- 平塚キャンパス学生及び指導者への交通費補助  
大会援助  
合宿差し入れ



平成28年度空手部OB会総会

4. 公募制推薦入学 学生募集  
5. 10月23日(日) 神奈川県大学空手道選手権大会幹事(当大学体育館にて実施)

**柔道部OB・OG会総会**  
平成28年12月3日(土)

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 大学17号館215教室
- ③ 会員14名、準会員19名
- ④ 会則に基づく定例総会を上記の通り開催し、事務局提案の議案について審議の結果、原案通りで承認された。その他として若い世代の参加促進について提案があり、事務局にて検討する事となった。
- ⑤ 1. 会報の発行(6月予定)  
2. 会員名簿の作成(更新)  
3. 地区総会の開催  
4. (愛媛県松山市予定) 柔道部への支援活動  
5. 宮陵会への参加  
6. ホームページの充実



レスリング部OB会総会  
平成28年11月5日(土)

① 専務理事 平能 孝一  
② 湘南ひらつかキャンパス1号館 201室  
③ 19名

- ④ 開催場所をひらつかキャンパスへ移して4年目と経過した。年々、活動内容や活動報告、その他、今後の活動において趣向を凝らし、内容も充実したものになった。参加人数は前年より見込んでいた増員にはならないものの会員人数増による収入が増えて決算報告で明るい話題となりました。今後、OB参加者を増やすため、積極的な活動を行い、いづれは、参加人数も大幅に増やしていけるよう努力してまいります。
- ⑤ 平成28年1月 幹部会打合せ  
3月 卒業生記念品授与  
4月 新入生歓迎会  
5月 リーグ戦観戦  
6月 幹部会打合せ  
7月 会報発行  
8月 幹部会打合せ  
9月 O B総会案内



ラグビー部OB会総会  
平成28年4月29日(金・祝日)

11月 O B総会並びに懇親会 会報発行  
平成29年1月 幹部会新年会

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 中山キャンパス
- ③ 34名
- ④ 63回目になるラグビー部総会は、専務理事の平能孝一様、理学部長の日野晶也様、名誉教授の齋藤直樹様の出席を賜り開催された。開会に先立ち、熊本地震で被災された方々に見舞い、そして物故会員に向けて黙祷が捧げられた。総会については、役員改選を含む議事案件を審議し、総て承認された。また、現在ジャパンラグビートップリーグのキャノンイーグルスでGMを務めるS55卒佐藤一弥氏より、トップリーグ、ジャパンラグビーについて普段聞くことのできない貴重なお話を頂いた。OB・現役の集合写真撮影後、ミ

- 総合ギフト事業 ・ 記念品・ノベルティグッズ・中元品・歳暮品
- 総合印刷事業 ・ 各種内祝品・名入タオル、名入うちわ・扇子
- 即日葬祭返礼品事業 ・ 有名ブランド茶詰合せ・一流メーカーコーヒー紅茶クッキーセット
- 酒類販売事業 ・ 国産・輸入各種酒類の詰め合わせセット
- 防災用品販売事業 ・ しほぶどう糖・難燃性備蓄用毛布等



創業 明治37年(1904年)  
**株式会社 カレンズ**

代表取締役 **木村 仁** (昭和48年賢卒)

〒236-0003 横浜市金沢区幸浦2-21-1 TEL (045) 784-6011(代) FAX (045) 784-6010  
http://www.calends.co.jp E-mail: info@calends.co.jp



⑤ ティングルームにて懇親会が行われ、OB・現役とも和気あいあいのなか交流を深め、有意義なひと時を共有し、幕を閉じた。

1. 年数回の役員会を開催し、会の運営全般を協議し実行する。
2. 会報は年1回発行するとともに、「現役レポート（仮称）」を検討する。
3. 会費・寄付金の徴収活動は、督促活動を含め継続して行う。
4. 現役部の維持支援体制を継続し、試合の観戦応援をする中で会員の連帯感を醸成する。
5. 地区OB会開催を推進する（北関東・東関東・神奈川・中部・関西・九州）。
6. 未連絡会員の確認活動を継続し、会員の異動情報を把握し、住所不明会員の発掘活動をする。

**卓球部OB会総会**

平成28年11月12日(土)

- ① 専務理事 平能 孝一  
横浜キャンパス19号館  
ラックスホール
- ② 67名(内準会員14名)
- ③ 本年度の総会は、神奈川大学宮陵会から大変忙しい中、平能専務理事にご出席いただき、大学の現状・宮陵会の活動などわかりやすくお話しいただきました。東郷部長先生からは、卓球部が今年度強化部の指定を受けたことに伴い、試合で結果を出すこと、学業の充実、体育会卓球部員としての節度ある行動、など今までの意識を持って稼働する必要性を説かれました。また、当会の一戸顧問に対する、宮陵会からの感謝表彰の伝達がありました。懇親会では、準会員・現役幹部も合流して楽しい一時を過ごすことが出来まし



⑤ 近隣高校招待試合の継続OB会創設50周年記念事業の継続

1. 近隣高校招待試合の継続OB会創設50周年記念事業の継続
2. 会員の現住所把握の継続
3. 会員への総会の状況説明
4. 親睦ゴルフ大会の開催(ゴルフに参加しない人を含めた懇親会を開催)
5. OB・OG親睦練習会の開催
6. 関東リーグの「応援&懇親の会」
7. 定例総会の開催

**ヨット部OB会総会**

平成28年9月3日(土)

- ① 専務理事 春原 正三郎  
葉山港会議室
- ② 27名
- ③ 今年のOB総会は兵庫県や愛知県からの参加者もあり多数のOBが集結しました。総会終了後には、OB会で購入した新艇の進水式、OBレース、クルージング、バー



⑤ 7月 新入生歓迎コンパ  
9月 O B会総会  
12月 納会  
2月 役員会

**学士山岳会総会**

平成28年6月26日(日)

- ① 副会長 宇野 峰雪  
横浜キャンパス19号館  
ラックスホール
- ② 26名(会員17名・準会員9名)
- ③ 宇野副会長のご臨席を賜り、第15回定期総会を開催した。開催に先立ち、昭和59年の山岳部存続の危機を救った阿部利信君のご冥福を祈念し、一同黙祷を捧げた。総会については、提出議案、その他の案件について慎重に審議され、すべて承認された。
- ④ ・アルパイン部門は、G&G計画達成に向け、ヒマラヤジャイアント8000m峰のマナスル登頂に向けての活動  
・クライミング部門は、ボルタリ



# ベスト資材株式会社

<http://www.best-material.co.jp>

**主要営業品案内**

- 屋根・外装工事
- サイディング用出隅及び金具製造販売

代表取締役 **杉山 久一** (昭和42年・法卒)



●本社●  
〒370-0303 群馬県太田市新田小金井町329  
TEL:0276-57-2868(代)・FAX:0276-57-0568



●首都圏営業所●  
〒270-0163 千葉県流山市南流山3-10-10 トップ南流山1F  
TEL:04-7189-7725(代)・FAX:04-7189-7726



ング国内外の大会に参戦し、国体予選の突破、ワールドカップ上位入賞を視野に入れての活動・トレイルランニング部門は、体力鍛錬、維持強化のため、神奈川県岳連が開催する大会への参戦と大会運営の協力活動

**硬式野球部OB会総会**  
平成28年11月12日(土)

- ① 専務理事 春原 正三郎
- ② 横浜キャンパス19号館
- ③ ラックスホール



**写真研究部OB会総会**  
平成28年6月11日(土)

- ④ 22名
- ⑤ 現役4年生の慰労と来季のスタッフへの激励を兼ねて、部長、監督、コーチ陣も招待して懇親会を開始した。今年は秋のリーグ戦の優勝とプロ野球・横浜ベイスターズの1位指名を受けた濱口投手のこともあり大いに盛り上がった。春、秋のリーグ戦前の激励会開催リーグ戦中の応援

- ① 専務理事 春原 正三郎
- ② 箱根保養所
- ③ 18名

例年のごとく6月第1週目の土日に箱根保養所にて総会を開催しました。現役学生部員を4名招待して、OBとの交流を続けております。午後4時から会議を行い、終了後は午後6時から懇親会。OBと学生部員との日頃は難しいコミュニケーションが箱根の地で実現。懇親会では、OBも学生も自己紹介、近況報告し、写真研究部の今後の発展に繋がるような情報交換の場にもなっています。



**男子ラクロス部OB会総会**  
平成28年7月9日(土)

- ⑤ 4月…総会の議題等SNS内の役員会コミュニティで検討
- 5月…総会の案内を会員あてに印刷して郵送
- 6月…箱根にて総会開催
- 9月…四大学展への参加のため、作品出展の呼びかけ
- 12月…「横浜四大学連合写真展」に神大OB会として出展
- …現役学生の部長交代に伴い、前部長がOB会の学生幹事として就任する制度をスタートしています

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 横浜キャンパス1号館811室
- ③ 109名

この度は平成28年7月9日に横浜キャンパスにて男子ラクロス部OB会総会、現役総会及び第29回関東学生ラクロスリーグ戦壮行会を実施しました。総会には平能専務理事にお越しいただきました。今年度から男子ラクロス部は1部に昇格いたしましたのでOB会といえども、現役生を激励ができて良い機会でした。

**衣笠アサマゼミナル神湘会総会**  
平成28年12月10日(土)

- ⑤ 7月 OB総会及び社行会新役員承認、会計及び予算承認
- 8月 OB会費徴収
- 9月～11月 リーグ戦応援
- 12月 OB戦
- 5月 横浜ダービー(OB戦)

- ① 教授 テイオフィラス・アサマ
- ② 事務局次長 専務理事 佐藤 武
- ③ BUKATSUDO HALL
- ④ 65名
- 宮陵会から正式に同期・同好組織に承認頂き、初めての総会・懇親会開催となりました。OB OGも20名の参加があり、初めて参加し

- ⑤ てくれた方も多く、顔数を今後増やしていく上でも、有意義な会となりました。
- 2015年11月28日
- 2015年度総会・懇親会(横浜赤レンガ)
- 2016年3月19日
- 学生向け就職セミナー(横浜キャンパス)
- 2016年7月7日
- OB OG交流会(渋谷)
- 2016年12月10日
- 2016年度総会・懇親会
- 2017年3月
- 学生向け就職セミナー(予定)
- 2017年7月
- OB OG交流会(予定)



人、技術。明日を拓く可能性。



**明立工業株式会社**

代表取締役社長 須藤 彰  
(昭和44年機械工学科卒業)

本社・工場 〒999-3766 山形県東根市神町西二丁目2番15号  
電話 東根 (0237)48-1626(代)  
FAX (0237)48-1625  
URL <http://www.meiritsu-kogyo.com/>

## 平成29年度 定時総会の開催について

平成29年度 定時総会を下記の日程で開催いたします。

定時総会は、平成28年度に実施しました代議員選挙で選出された代議員(社員)をもって行います。

代議員の方には、別途ご通知申し上げます。

正会員は、定時総会を傍聴することができます。

傍聴を希望される正会員の方は、卒業年次・学科、氏名、住所、電話・FAX番号等をご記入のうえ、定時総会傍聴希望と記載して、FAXもしくは郵送にて5月29日(月)までにご連絡ください。

なお、定時総会終了後の懇親会にもご参加の場合は、その旨をあわせて記載のうえ、会費として2,000円を当日ご用意願います。

62頁「卒業生情報登録・変更申請書」の用紙をご利用いただいても結構です。

### 記

- 日 時 平成29年6月10日(土) 午後3時
- 場 所 神奈川大学横浜キャンパス 16号館セレストホール
- 報告事項 平成28年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の事業内容報告の件
- 決議事項 第1号議案 平成28年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)決算承認の件  
第2号議案 役員(理事20名、監事3名)選任の件

## 事務局よりのお願い

### 住所等の変更について

登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、ご連絡をお願い申し上げます。

#### ①神奈川大学ホームページ

卒業生ひろば <http://alumni.kanagawa-u.ac.jp/> ⇒ 卒業生情報登録・変更のご案内

#### ②郵送・FAX等

62頁の「卒業生情報登録・変更申請書」に必要事項をご記入のうえ、下記の宮陵会事務局までお願いいたします。

#### ③E-mail

下記の宮陵会事務局E-mailでも変更可能です。

※登録いただきました情報につきましては、皆様の個人情報の重要性を深く認識し、「学校法人神奈川大学プライバシーポリシー」に従い適正な保護管理に努めます。

### 地域組織代表者・事務局担当者の皆様へ

県民功労、大臣表彰、褒章、叙勲等をうけられた会員の方がございましたら、事務局までお知らせください。

## 一般社団法人神奈川大学宮陵会事務局

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学内

TEL.045-481-5661 FAX.045-413-0791

E-mail [kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp](mailto:kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp)

● 卒業生情報登録・変更申請書 ●

本人照合、確認のため、以下項目は必ずご記入ください。

|              |       |        |        |
|--------------|-------|--------|--------|
| 記入日          | 年 月 日 |        |        |
| 卒業年月         | 卒業年   |        | 卒業月    |
| 卒業学部・学科      | 学部    |        | 学科     |
| フリガナ         |       |        |        |
| 氏名           | (姓)   |        | (名)    |
| フリガナ         |       |        |        |
| 卒業時氏名        | (姓)   |        | (名)    |
| 生年月日         | 西暦    | 年 月 日生 | 性別 男・女 |
| 日中確認の取れる電話番号 |       |        |        |

登録・変更する項目に  (レ点チェック) をご記入のうえ、該当する箇所のみご記入ください。

個人情報

|                                  |      |              |      |
|----------------------------------|------|--------------|------|
| <input type="checkbox"/> 氏名      | フリガナ |              |      |
|                                  | (姓)  |              | (名)  |
| <input type="checkbox"/> 住所      | 〒    | —            |      |
| <input type="checkbox"/> 電話番号    | 電話番号 |              | 携帯電話 |
| <input type="checkbox"/> メールアドレス | 種別   | 自宅 ・ 携帯 ・ 会社 |      |
|                                  |      |              | @    |

勤務先情報

|                                |      |   |    |  |
|--------------------------------|------|---|----|--|
| <input type="checkbox"/> 勤務先概要 | 名称   |   |    |  |
|                                | 所属   |   | 役職 |  |
|                                | 業種   |   | 職種 |  |
| <input type="checkbox"/> 勤務先住所 | 〒    | — |    |  |
|                                |      |   |    |  |
|                                | 電話番号 |   |    |  |

その他

|                                 |            |  |    |
|---------------------------------|------------|--|----|
| <input type="checkbox"/> ゼミ・研究室 |            |  |    |
| <input type="checkbox"/> 課外活動   | クラブ・サークル名称 |  | 役職 |

通信欄

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  |  |
|--|--|--|--|

切り取り線



学生から、ビジネスパーソンなど、いろんな人が学びに来ています。

資格が取れる講座など、土日や平日夜間も充実の約130講座！

あなたも一緒に新しい自分を見つけませんか？



生涯学習  
エクステンション  
講座

いま、  
みなとみらいで  
学べる場所、  
知ってる？

みなとみらい駅  
直結！

神奈川大学 みなとみらいエクステンションセンター〈KUポートスクエア〉

開館時間 / 10:00~21:00 (土・日曜日は 10:00~18:00) 休館日 / 月曜・祝日・大学所定の休日

●みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩約2分 ●JR根岸線・市営地下鉄 桜木町駅より徒歩約7分 横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA 14階

けーゆーぽーと 検索



# 学園拡充のあゆみ 神大発展の軌跡



1990年  
5月撮影

「平塚キャンパス」として開設当時の姿です。路線バスは正門前が終点でした。

## SHONAN HIRATSUKA



2016年  
5月撮影

校舎の増設や植栽の成長ぶりが四半世紀の流れを感じさせます。

1981年  
8月撮影



17号館建設中の姿です。グラウンド脇には旧宮面寮の建物が残っています。

# YOKOHAMA

2016年  
5月撮影



キャンパス再開発事業で大きく変貌した現在の姿です。

「建学の精神」は変わることなく脈々と継承されますが、舞台となるキャンパスは時代と共に姿を変えて拡充を続けます。  
神奈川大学発展の軌跡を、近年のキャンパスを捉えた空撮画像の比較で辿ってみてください。



**宇久田進治税理士事務所**  
 (東京地方税理士会第28726号)  
 TEL.0466-36-0627 FAX.0466-33-4892  
**株式会社 経営センター グロウ**  
 TEL.0466-36-1140

〒251-0042 藤沢市辻堂新町1-1-2  
 クロスポイント6F  
 JR辻堂駅北口徒歩3分

昭和43年 神奈川大学 貿易学科卒

[会計・税務関連]

- 税務申告、相続申告
- 会計、経理指導
- 税務相談
- 事業再生、事業閉鎖など

[GROW 関連]

- 相続シミュレーション
- リスクマネジメント
- 事業承継
- 会社設立、会社支援
- 出店計画など

～神大ロースクール卒業生が設立した法律事務所です～



左から、新開弁護士、川村弁護士、横山弁護士。

- 私たちは、神大生とその卒業生の皆様にとって、「いちばん身近な法律事務所」を目指しています。
  - 「迅速な対応」でサポートいたします。
- お気軽にご相談ください！



弁護士(神奈川県弁護士会所属)  
**新開 崇弘 / 川村 宜禎 / 横山 朗**  
 川崎市川崎区東田町6-2 ミヤダイビル5階  
 JR川崎駅東口から徒歩約7分・京急川崎駅から徒歩約5分  
 (川崎市役所本庁舎向かい)

相続・遺言

借金問題

離婚問題

借地借家

交通事故

企業法務

刑事事件

その他民事一般

ご相談・お問い合わせはこちらまで

**TEL : 044-221-5171**  
**MAIL : info@sky-law.com**

※平日夜間・土日のご相談も承ります。  
 (電話受付は、平日9:30~17:30)





刻まれる歴史、  
受け継がれる都市の記憶



本社

〒212-0058 川崎市幸区鹿島田1-1-2  
(新川崎三井ビルディング)  
TEL 044-520-0034

横浜支店

〒220-8116 横浜市西区みなとみらい2-2-1  
(横浜ランドマークタワー16階)  
TEL 045-210-9080

# 神大は、いつ来ても懐かしい……

## ■神大オリジナルグッズの注文専用サイト

湯飲み、クッキー、まんじゅう、ボールペンなどのオリジナルグッズが神大生協のホームページからご購入いただけます。

[オリジナルグッズ注文専用サイト]

<http://www.ku-coop.org/shopping/>

検索

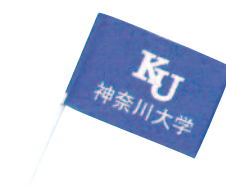
## ■OB OG会やゼミの同窓会・イベントは神大生協で

OB・OG会や仲間同士の同窓会を母校、神奈川大学で開催してみませんか？皆さまのご利用をお待ちしております。

[お申し込み・ご相談]

TEL:045-481-3600 担当 岡崎

E-Mail:seikyoku@ku-coop.org



神奈川大学生生活協同組合

TEL : 045-481-5688 E-Mail : seikyoku@ku-coop.org